

官報

號外 昭和六年二月四日

第五十九回 衆議院議事速記第九號

昭和六年二月三日(火曜日)

午後一時十六分開議

議事日程 第八號

昭和六年二月三日

午後一時開議

質問

一 足尾銅山鑛毒ニ關スル質問(栗原彦三郎君提出)

二 經濟的困難ニ關スル質問(尾崎行雄君提出)

三 國民精神作興ニ關スル質問(山下谷次君提出)

第一 震災被害者ニ對スル租稅ノ減免猶豫等ニ關スル法律案(政府提出)

第二 國際決濟銀行ニ租稅等ヲ課セザルコトニ關スル法律案(政府提出)

第三 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第四 郵便法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第五 鐵道船舶郵便法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第六 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第七 市制中改正法律案(若宮貞夫君外四名提出)

第八 町村制中改正法律案(若宮貞夫君外四名提出)

第九 北海道會法中改正法律案(若宮貞夫君外四名提出)

第十 治安警察法中改正法律案(末松權一郎君外三名提出)

第十一 治安警察法中改正法律案(山枅儀重君外二名提出)

第十二 治安警察法中改正法律案(安藤正純君外十名提出)

第十三 樺太ニ衆議院議員選舉法施行ニ關スル法律案(東武君外一名提出)

第十四 樺太ニ衆議院議員選舉法施行ニ關スル法律案(鶴澤宇八君外二名提出)

第十五 公娼制度廢止ニ關スル法律案(三宅磐君外十名提出)

第十六 辯護士法中改正法律案(北浦圭太郎君外三名提出)

第十七 中央卸賣市場法中改正法律案(藤田若水君外四名提出)

第十八 違警罪即決例中改正法律案(二松定吉君外二名提出)

第十九 行政執行法中改正法律案(一松定吉君外三名提出)

第二十 家祿賞典祿給與未濟ニ關スル法律案(末松權一郎君外四名提出)

第二十一 度量衡法中改正法律案(一松定吉君提出)

第二十二 計量士法案(一松定吉君提出)

第二十三 未成年者飲酒禁止法中改正法律案(長尾半平君外二十四名提出)

第一讀會

○議長(藤澤幾之輔君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記官朗讀)

一 議員ノ異動左ノ如シ

兵庫縣第二區選出議員山本平三郎君死去セラレタリ

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

國際決濟銀行ニ租稅等ヲ課セザルコトニ關スル法律案

(以上二月三十一日提出)

米穀法中改正法律案

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

刑事補償法案

(以上二月三十一日提出)

一去三十日貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ

郵便法中改正法律案

鐵道船舶郵便法中改正法律案

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

刑事訴訟法中改正法律案

提出者

一 松 定吉君 小久江美代吉君

八並 武治君 原 夫次郎君

杉浦 武雄君

利息制限法中改正法律案

提出者

一 松 定吉君 小久江美代吉君

八並 武治君 原 夫次郎君

杉浦 武雄君

民事訴訟法中改正法律案

提出者

村岡 吾一君 藤田 若水君

春島東四郎君 小山 令之君

(以上二月二十九日提出)

衆議院議員選舉法改正法律案

提出者

志賀和多利君 若宮 貞夫君

星島 二郎君 井上 孝哉君

兒玉 右二君 西岡竹次郎君

(以上二月二日提出)

航空法中改正法律案

提出者

八代吉松間鐵道電化速進ニ關スル建議案

提出者

深水 清君 小山 令之君

春島東四郎君 三浦 虎雄君

帝國議會ノ會期繰下ニ關スル建議案

提出者

産兒調節ニ關スル建議案

提出者

蠶絲業國策樹立ニ關スル建議案

提出者

植原悦二郎君 林 七六君

加藤 知正君 青木 精一君

筑波山霞浦ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

提出者

常總鐵道買収ニ關スル建議案

提出者

小貝川改修速成ニ關スル建議案

提出者

北方拓發ニ關スル建議案

提出者

木下成太郎君 飯村 五郎君

松實喜代太君 板谷 順助君

佐々木平次郎君 三井 德實君

東條 貞君

北海道拓殖促進ニ關スル建議案

提出者

木下成太郎君 東 武君

松實喜代太君 板谷 順助君

板谷 順助君 三井 德實君

東條 貞君

(以上二月三十一日提出)

大臺ヶ原山及大峰山脈ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

提出者 岩本 武助君

(以上二月二日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

東京市交通機關ノ整理統一ニ關スル質問主意書

提出者 田川大吉郎君

帝室ノ御安泰ト治安維持法ノ關係ニ付テノ質問主意書

提出者 尾崎 行雄君

滿洲殊ニ間島ニ關スル質問主意書

提出者 宮川 一貫君

(以上二月三十日提出)

思想問題ニ關スル質問主意書

提出者 川口 義久君

蠶絲業ニ關スル質問主意書

提出者 加藤 知正君

(以上二月三十一日提出)

内務司法兩大臣ニ對スル選舉取締及綱紀肅正ニ關スル質問主意書

提出者 名川 侃市君

北海道拓殖問題並漁業問題ニ關スル質問主意書

提出者 坂谷 順助君

(以上二月二日提出)

一政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員栗原彦三郎君提出足尾銅山鑛毒ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員山下谷次君提出國民精神作興ニ關スル質問ニ對スル答辯書

(以上二月三日受領)

足尾銅山鑛毒ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

昭和五年十二月二十六日

提出者 栗原彦三郎

足尾銅山鑛毒ニ關スル質問主意書

足尾銅山ニ於ケル鑛毒並鑛毒ノ被害ハ現

内閣組閣以來鑛毒豫防命令ニ依ル施設上ノ監督相當嚴重ナルト鑛業主モ亦注意スル所アルカ如ク其ノ被害モ漸次輕微トナリツツアリト雖未タ以テ往年ノ大被害ト年多少被リツツアル被害トニ對スル被害地方人民ノ恐怖心ヲ全ク除去スルニ足ラス日鑛毒豫防命令施設ニ對スル鑛業主ノ施行上ノ親切ヲ認ムル能ハス爲ニ被害地方人民ハ安心シテ農業ニ從事スル能ハサルハ頗ル遺憾ナリ

之ヲ鑛毒被害ノ上ヨリ見レハ足尾銅山ニ於テハ從來暴風雨等ニ因ル洪水ノ際明治三十年五月二十七日付ヲ以テ當局カ鑛業主ニ命シタル足尾銅山鑛毒豫防命令ヲ無視シ往往砒素、膽礬其ノ他ノ激毒ヲ含有スル毒水ヲ渡良瀬川ニ放流シ之カ爲屢鑛業者ト下流被害地方人民側ノ銅山監視委員トノ間ニ爭論ヲ生シ來リシカ本年七月三十日ヨリ八月三日ノ暴風雨ニ依ル大洪水ノ時ノ如キモ足尾銅山ニ於テハ沈澱地ノ堤塘ヲ破壊シ毒水ヲ盛ニ渡良瀬川ニ放流シツツアル現狀ヲ發見セラレ人民側警察側鑛業者三者間ニ於テ大捫著ヲ惹起シタルハ當時ノ新聞通信等ニ依リテ最明瞭ナリ

斯ノ如キ所爲ハ鑛業者主腦部ノ關知セサル所ニシテ末輩ノ所爲タルハ吾人モ之ヲ認ムルモ而モ之カ爲ニ本年ハ晩春ヨリ初夏ニ互リテ鮎其ノ他ノ淡水魚族カ渡良瀬川ニ繁殖シ沿岸人民ハ非常ニ喜ヒツツアリシニ其ノ毒水放流ノ結果夫等ノ魚族ハ一時ニ死滅シタルノミナラス渡良瀬川ノ流入スル赤麻沼ニ於テハ水草ト稱スル水草全部枯死シ水中ニテ腐敗消滅シ盡シタルヲ以テ從來此ノ水草ヲ採取シ唯一ノ肥料トシテ農業ヲ經營セル赤麻村地方農民ハ非常ニ困難セルノ事實アリ

料地ノ大自然林ノ煙害枯死ヲ多少緩和シ得ルニ拘ラス鑛業從業員等ハ自己ノ都合ヲ專一ニシ此ノ重大ナル事業道德ヲ無視シ奧日光御料林ニ當然被害多カルヘキ惡氣流ノ際ニ却テ熔鑛作業ヲ盛ニスルノ場合等アルカ如シ日光ノ地ハ言フ迄モナク全世界稀有ノ景勝地ニシテ帝國國立公園ノ王座ニ坐スヘキ所ナルカ若此ノ儘放任セムカ此ノ大勝地ニ多大ノ景趣ヲ添ヘツツアル自然林ノ死滅ハ其ノ勝景ヨリ幽邃ノ情趣ヲ減殺シ遂ニ國立公園ノ資格ヲモ奪フコトナルヘキハ吾人ノ最憂慮ニ堪ヘサル所ナリ

以上鑛毒煙毒ノ二方面ヨリ觀察シタル結果ニ見ルモ單ニ作業上ノ道德ト親切ト注意トニ依リテモ鑛毒煙毒ノ被害ヲ輕減シ得ルコト極メテ確實ナリ

故ニ政府ハ足尾銅山ニ常設鑛山監督官ヲ派シ日日作業ヲ監督シ鑛毒流下ノ憂ヲ除キテ被害地方民ノ人心ヲ安定セシメ又煙毒ニ付テモ氣流ノ方向等ニ注意シテ作業セシメ世界ノ勝地ニシテ關東一帶ノ水源地タル密林地帶ヲ保護スルノ必要アリト信ス政府ノ所見如何

昭和六年二月三日

内閣總理大臣臨時代理 男爵幣原喜重郎

外務大臣 男爵藤澤幾之輔殿

衆議院議長栗原彦三郎君提出足尾銅山鑛毒ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員栗原彦三郎君提出足尾銅山鑛毒ニ關スル質問ニ對スル答辯書

鑛毒煙毒ニ關スル質問ニ對スル答辯書 昨年七月末暴風雨ノ際ニハ沈澱池ヲ破壊シタルコトナク唯鑛水路ノ一部ニ支障ヲ來シタルハ遺憾トスル所ナルモ當時應急處置其ノ宜シキヲ得破損箇所ニ對シテハ特ニ充分ナル工事ヲ施サシメ且一般鑛水路ニ對シテモ爾後斯ル支障ヲ惹起セザル様嚴重ナル監督ヲナシツツアリ

又往年鑛毒煙害ヲ御料林ニ及シタル事實アルニ鑑ミ煙害ヲ除却輕減シ得ベキ施設ヲ鑛業者ニ命ジ爾來之ガ防止ニ努メツツアリテ現在ニ於テハ殆ンド被害ヲ與フル處ナキモノト認ムルモ今後ノ狀況如何ニヨリテハ氣流ノ方向其ノ他ニ注意シテ作業セシメ遺憾ナキヲ期スルモノトス

之ヲ要スルニ足尾銅山ニ於ケル除害設備ニ就テハ屢監督官ヲ派遣シ其ノ運用ニ關シ嚴重取締ヲ勵行シツツアルモノナルヲ以テ特ニ常設監督官ヲ設クルノ必要ヲ認メズ

昭和六年二月三日

商工大臣 俵 孫一

國民精神作興ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

昭和六年二月二十六日

提出者 山下 谷次

國民精神作興ニ關スル質問主意書 近時我カ國民思想ノ動搖混亂ノ著シキモノアリ殊ニ最近政府ノ極端ナル緊縮消費節約ニ因リ爲シテ各般ノ經濟機能ノ破壞セラレト共ニ國民生活ノ不安ト脅威トハ其ノ極ニ達シ慘狀宛ラ關東大震災直後ニ似タルモノアリ爲ニ此ノ間ニ乘シテ危激或ハ我カ國體ト相容レサル思想ヲ宣傳スル者アリ淫蕩好ムテ民ヲ惑ハス風潮ヲ醸成スル者アリ國民ノ義務觀念衰ヘテ剛健ナル精神地ヲ拂テナク世相日ニ險惡ヲ加ヘ思想ノ頹廢實ニ今古未曾有ノコトニ屬ス今ニシテ國民精神ヲ作興シ國體觀念ヲ培養スルニ非スハ國家ノ前途轉々寒心ニ堪ヘサルモノアリ

一 去三十一日 常任委員補選結果左ノ如シ
第四部選出
豫算委員 片山哲君(西尾末廣君補選)

一 去三十一日 議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル
常任委員左ノ如シ
第二部選出
豫算委員 宮崎 高四君

第八部選出
豫算委員 中山 貞雄君

第九部選出
豫算委員 堤 康次郎君

第一部選出
請願委員 青木 亮貫君

第二部選出
請願委員 大野 伴陸君

第九部選出
請願委員 青山 憲三君

一 昨二日 常任委員補選結果左ノ如シ
第二部選出
豫算委員 前田卯之助君(宮崎高四君補選)

第八部選出
豫算委員 宮脇長吉君(中山貞雄君補選)

第九部選出
豫算委員 青木亮貫君(堤康次郎君補選)

第一部選出
請願委員 長塚忠策君(青木亮貫君補選)

第二部選出
請願委員 岸田正記君(大野伴陸君補選)

第九部選出
請願委員 井上知治君(青山憲三君補選)

一 昨二日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
特別會計ニ於ケル營業費ニ關スル法律案
(政府提出) 外六件委員
辭任申出 縣郎君 補闕淺原 健三君

一 昨二日 議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル 常任委員左ノ如シ
第五部選出
豫算委員 森田 政義君

一 去一月三十一日 第七部選出 決算委員 山本 平三郎君 死去セラレタリ

○議長(藤澤幾之輔君) 是ヨリ會議ヲ開キ
マス——鈴木英雄君病氣ニ付キ、二月三日
ヨリ二月十七日マデ請假ノ申出ガアリマス、
許可スルニ御異議アリマセヌカ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メ
マス、之ヲ許可致シマス、只今御報告申上
ゲマシタ通り、議員山本平三郎君ハ、去ル
一月三十一日逝去セラレマシタ、洵ニ痛惜
哀悼ノ至リニ堪ヘマセヌ、議長ハ先例ニ依
リマシテ、弔詞ヲ贈リマシタ、此段御報告
致シマス、此際廣岡宇一郎君ヨリ發言ヲ求
メラレテ居リマス、之ヲ許シマス——廣岡
宇一郎君

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メ
マス、之ヲ許可致シマス、只今御報告申上
ゲマシタ通り、議員山本平三郎君ハ、去ル
一月三十一日逝去セラレマシタ、洵ニ痛惜
哀悼ノ至リニ堪ヘマセヌ、議長ハ先例ニ依
リマシテ、弔詞ヲ贈リマシタ、此段御報告
致シマス、此際廣岡宇一郎君ヨリ發言ヲ求
メラレテ居リマス、之ヲ許シマス——廣岡
宇一郎君

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メ
マス、之ヲ許可致シマス、只今御報告申上
ゲマシタ通り、議員山本平三郎君ハ、去ル
一月三十一日逝去セラレマシタ、洵ニ痛惜
哀悼ノ至リニ堪ヘマセヌ、議長ハ先例ニ依
リマシテ、弔詞ヲ贈リマシタ、此段御報告
致シマス、此際廣岡宇一郎君ヨリ發言ヲ求
メラレテ居リマス、之ヲ許シマス——廣岡
宇一郎君

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メ
マス、之ヲ許可致シマス、只今御報告申上
ゲマシタ通り、議員山本平三郎君ハ、去ル
一月三十一日逝去セラレマシタ、洵ニ痛惜
哀悼ノ至リニ堪ヘマセヌ、議長ハ先例ニ依
リマシテ、弔詞ヲ贈リマシタ、此段御報告
致シマス、此際廣岡宇一郎君ヨリ發言ヲ求
メラレテ居リマス、之ヲ許シマス——廣岡
宇一郎君

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メ
マス、之ヲ許可致シマス、只今御報告申上
ゲマシタ通り、議員山本平三郎君ハ、去ル
一月三十一日逝去セラレマシタ、洵ニ痛惜
哀悼ノ至リニ堪ヘマセヌ、議長ハ先例ニ依
リマシテ、弔詞ヲ贈リマシタ、此段御報告
致シマス、此際廣岡宇一郎君ヨリ發言ヲ求
メラレテ居リマス、之ヲ許シマス——廣岡
宇一郎君

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メ
マス、之ヲ許可致シマス、只今御報告申上
ゲマシタ通り、議員山本平三郎君ハ、去ル
一月三十一日逝去セラレマシタ、洵ニ痛惜
哀悼ノ至リニ堪ヘマセヌ、議長ハ先例ニ依
リマシテ、弔詞ヲ贈リマシタ、此段御報告
致シマス、此際廣岡宇一郎君ヨリ發言ヲ求
メラレテ居リマス、之ヲ許シマス——廣岡
宇一郎君

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メ
マス、之ヲ許可致シマス、只今御報告申上
ゲマシタ通り、議員山本平三郎君ハ、去ル
一月三十一日逝去セラレマシタ、洵ニ痛惜
哀悼ノ至リニ堪ヘマセヌ、議長ハ先例ニ依
リマシテ、弔詞ヲ贈リマシタ、此段御報告
致シマス、此際廣岡宇一郎君ヨリ發言ヲ求
メラレテ居リマス、之ヲ許シマス——廣岡
宇一郎君

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メ
マス、之ヲ許可致シマス、只今御報告申上
ゲマシタ通り、議員山本平三郎君ハ、去ル
一月三十一日逝去セラレマシタ、洵ニ痛惜
哀悼ノ至リニ堪ヘマセヌ、議長ハ先例ニ依
リマシテ、弔詞ヲ贈リマシタ、此段御報告
致シマス、此際廣岡宇一郎君ヨリ發言ヲ求
メラレテ居リマス、之ヲ許シマス——廣岡
宇一郎君

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メ
マス、之ヲ許可致シマス、只今御報告申上
ゲマシタ通り、議員山本平三郎君ハ、去ル
一月三十一日逝去セラレマシタ、洵ニ痛惜
哀悼ノ至リニ堪ヘマセヌ、議長ハ先例ニ依
リマシテ、弔詞ヲ贈リマシタ、此段御報告
致シマス、此際廣岡宇一郎君ヨリ發言ヲ求
メラレテ居リマス、之ヲ許シマス——廣岡
宇一郎君

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メ
マス、之ヲ許可致シマス、只今御報告申上
ゲマシタ通り、議員山本平三郎君ハ、去ル
一月三十一日逝去セラレマシタ、洵ニ痛惜
哀悼ノ至リニ堪ヘマセヌ、議長ハ先例ニ依
リマシテ、弔詞ヲ贈リマシタ、此段御報告
致シマス、此際廣岡宇一郎君ヨリ發言ヲ求
メラレテ居リマス、之ヲ許シマス——廣岡
宇一郎君

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メ
マス、之ヲ許可致シマス、只今御報告申上
ゲマシタ通り、議員山本平三郎君ハ、去ル
一月三十一日逝去セラレマシタ、洵ニ痛惜
哀悼ノ至リニ堪ヘマセヌ、議長ハ先例ニ依
リマシテ、弔詞ヲ贈リマシタ、此段御報告
致シマス、此際廣岡宇一郎君ヨリ發言ヲ求
メラレテ居リマス、之ヲ許シマス——廣岡
宇一郎君

レルコトニ付キマシテ、私共尠カラズ期待
ヲ持テ居リタ次第アリマス、然ルニ去ル
一月十五日ニ發病セラレマシテ、爾來療養
ニ努メラレマシタガ、藥石效ナク、遂ニ去
ル一月三十一日ニ逝去致サレマシタコト
ハ、洵ニ痛嘆ノ至ニ堪ヘマセヌ、茲ニ謹シ
ク同君ニ對シ深ク哀悼ノ意ヲ表スル次第
アリマス(拍手)

○議長(藤澤幾之輔君) 議場内ノ秩序ニ付
テ一言致シマス、申スマデモゴザイマセヌ
ガ、演説ヲナサル、諸君ニ於カセラレマシ
テハ、其用語ニ御注意ニナリマシテ、又他
ノ諸君ハ御五ニ演説ヲ靜肅ニ傾聴セラレマ
シテ、無事ニ議事ヲ進メラレンコトヲ希望
致シマス、殊ニ發言ノ通告ヲセラレマシタ
方デモ、議長ノ許可ナクシテ演壇ニ登リ、
又ハ濫ニ議席ヲ離レ、速記席附近ニ立寄
テ、速記ノ妨害トナルヤウナ行爲ノゴザイ
マセヌヤウニ、特ニ御注意ヲ願フデ置キマ
ス(拍手)堀部久太郎君カラ議事進行ニ關ス
ル發言ヲ求メラレテ居リマス——堀部君

○堀部久太郎君 簡單ナ事柄デアリマスカ
ラ、自席カラ發言ヲ致シマシテ、議長ニ御
伺ト御願フ申上ゲマス

○議長(藤澤幾之輔君) 登壇ヲ求メマス
(堀部久太郎君登壇)

○堀部久太郎君 私ハ……(内證話ヲシテ
ハイカヌ)ト呼フ者アリ)私ハ議長ニ御伺
ヲシ、又御願ヲスルノデアリマスルカラ、却
テ尻ヲ向ケルヨリモ、議長ニ向テ直接申
上ゲタガ方宜カラウト信スルノデアリマス
(多勢ニ尻ヲ向ケテハイカヌ)ト呼フ者ア
リ)御伺致シマスル共第一ノ事柄ハ、昨年ノ
臨時議會ノ終リニ、私ハ議長ニ一ツノ御伺
ヲ致シテ居リタデアリマスルガ、遺憾ニモ
當時本議場ガ混亂ニ陥リマシタノデ、議長
ノ御意思ヲ確メルコトガ出来ナカッタノデ、
今日改メテ議長ニ御伺ヲ申上ゲタイノデア
リマス、ソレハ昨年豫算委員會ニ於テ、安

達内務大臣閣下ガ其御演説中ニ、失言ガア
タト云フコトデ、御自分デ御取消ニナツ
タデアリマスガ、其際ニ鷺野代議士ノ發言
中ニモ穩カナラヌ言葉ガアツタト云フノデ、
森田委員長ガ御取消ヲ御命ジニナリマシ
テ、鷺野君ハ自分ノ失言ヲ取消サレタノデ
アリマス、所ガ速記録ニ鷺野君ガ議長カラ
命ゼラレテ取消サレタ所ノ失言ハ抹消サレ
テ居リマスガ、安達内務大臣閣下ガ御自分
デ御取消ニナツタ所ノ失言ハ、明記サレテア
リマシタカラ、當時議長ニ對シテ斯ウ云フ
場合ニハ、何レモ議事録カラ御抹消下サレ
テハ如何カ、議長ノ思召ハドウデアアルカ
ト云フコトヲ伺ウタノデアリマス、デハ衆
議院ノ先例案第五百九十四項ニアル、「議
院法第八十七條ニ依リ議長ヨリ取消ヲ命
ゼラレタル發言ハ速記録ニ記載セサルコトハ
衆議院規則ノ命スル處ナルモ國務大臣、政
府委員及議員ノ自ラ取消シタル言辭モ當日
ノ速記録ヨリ抹消スルヲ例トス」ト云フ先
例ニ依ッテ、其御處置ヲ御執リヨ願フタ
ノデアリマス、デ其後ドウヤウニ議長ハ御取
計ヒ下スタカハ存ジマセヌガ、議長ノ此
點ニ付テノ思召ヲ伺フテ置キタイノデア
リマス

ソレカラ第二ニ——是ハ議長ニ特ニ御願
ヲ申上ゲルノデアリマスルガ、第二ニ去ル
二十三日此本會議決質問、續行中ニ、三土
サンノ御演説後デアリマシタガ、與黨ノ御
方カラ懲罰ノ動議ヲ提出サレマシテ、議長
ハ採決ヲ起立ニ御問ニナツタ、所ガ何レカ
ラデアリマシタカ、異議ノ發言ガアツタ
ノデ、再ヒ議長ハ記名投票ニ依ッテ採決ヲナ
サツタデアリマス、私ハ動議提出ノ動機ガ
ドウデアツタトカ、或ハ善イトカ惡イトカ
云ウヤウナコトハ、一言モ申上ゲルノデハナ
イノデアリマス、又其際ニ異議ノ申出ガア
タト云フコトモ、私ハ是非ヲ申スノデハ
ナイノデアリマスガ、兎ニ角今日國民ガ甚
シク惱ンデ居ル際ニ、本議場ニ於テアンナ

事柄ニ斯ル御手数ヲ繰返サレ、サウシテ時
間ヲ空費スルト云フヤウナコトハ、色々
御都合ガ皆様ニアタノデアリマセウガ、甚
ダ遺憾デアリマス、又深刻ニ帝國議會ノ威
信ヲ傷ケタコトガ甚ダ少ナカラズト存ジマ
シテ、残念ニ堪ヘマセウガ、要スルニア
當時議長ハ公平ヲ期シテオイデニナタ、所
ガ、御設置ハ餘リ御念ガ入り過ギタヤウ
ニ私ハ思ヒ、又私ハ敢テ議長ノ責任ヲ云々
スルノデヤナクテ、若シ議長ノ責任ヲ問フ
ナラバ、吾々議員モ亦議員トシテアノ際ニ
ハ責任ヲ負ハナケレバナラナカッタと思フ
カラ責メマセウガ、今後ハ議長ガ獨自ノ御
考ニ依テ事ヲ御處理下サツテ、十分ニ議長
トシテノ權能ヲ御發揮下サルト云フコトヲ
切ニ御願ヲ申上ゲタイノデアリマス

第三ニ……(簡單々々ト呼フ者アリ)皆
議事進行ニ關シテ居リマス……重要法案ガ
ナイト云フ理由デ、過日本會議ヲ休ムコト
ニナリ、本會議ハ僅カ一日ダケ休シタニ過
ギマセウケレドモ、前後ヲ通ジマスト四日
間モ休シタ、委員外ノ議員ハマルデ停會ヲ
命ゼラレタヤウナ感ガアリ、假令政府提出
ノ重要法案ガナクモ、議員皆サンノ御提
出ノ議案中ニハ可ナリ重要ナ、寧ろ民意ニ
附ウタ大切ナ議案ハ、與黨ノ方カラモ野黨
ノ方カラモ澤山出テ居ルノデアリマス、現
ニ今日ノ日程ヲ拜見スルト、サウ云フ議案
ハ可ナリ澤山上程サレテ居リマス、仍テ私
ハ議長ニ今後貴重ナ時間ヲ成ベク浪費下サ
ラヌヤウ、御戒心ヲ御願申上ゲタイノデア
リマス

ソレカラ第四ニ御願申上ゲタイ、議長ノ
御人格ヲ御精神ハ十分吾々ハ理解シテ居リ
マス、私ダケデハナク、皆様モ此處ニオイ
デノ議長ニ對シテハ、十分ニ敬意ヲ御拂ニ
ナツテ居ルト私ハ確信スルノデアリマス
ガ、當議場デ議事ノ進行ノ際ニ、何時モ書
記官長ガ紙片ニ認メラレテ、ソレヲ議長ガ
御讀ニナツテ議事ヲ進行セシメラレテ居ル

ノデアリマス(善イコトデハナイカ)ト呼
フ者アリ)決シテ惡イコト、ハ申サヌ、嘗
テ私ハ田舎ノ町長ヲ致シテ居リマシタ、此
町村長ト云フヤウナ者ハ、町長ナリ村長ガ
本職デアリマシタ、町村會ヲ開キマシタル
場合ニ、議長ハ實ハ本職デナイカラ、斯ル
場合ニ於キマシテハ氣ノ利イタ、或ハ慣レ
タ助役ノ指導ヲ受ケルコトハ多イ例デアリ
マスルケレドモ、當議場ニ於ケル議長ハ、
實ニ是ガ御本職デアル、ダカラ丁度書記官
長ガ議長ノ口ヲ藉テ議場ヲ支配サレテ居
ルヤウナ觀ガアル、之ヲ私ハ甚ダ遺憾ニ存
ジマスノデ、ドウカ議長ニ此邊ノ一切ノ處
置ニ付テ、今後一入御工夫ヲ御願申上ゲタ
イト思フノデアリマス

ソレカラ私ハ副議長ニ御警告ヲ一言申上
ゲタイノデアリマスガ、ソレハ副議長ガ此
議長席ニ御著キニナツタトキニ、私共ガ其御
様子ヲ拜見シテ居リマスルト、副議長ノ御
注意ガ何時モ遠クニ及ンデ居ラヌ、近クニ
集テ居ルト云フコトデアリマス、ソレハ
ドウ云フコトデアアルカト云フト、登壇者ガ
アル場合ニハ、議長ノ御注意ガ殆ド其登壇
者ニ集テ、後カラ頻ニ注意ヲ加ヘラレル、
是デ非常ニ私ガ見テ居ル所デハヤリ惡イヤ
ウニ想像スルノデアリマス、ソレカラ甚ダ
失禮ナ申分デアリマスガ、議長ノ頭腦、眼
鼻、口、耳モ半面シカ御働ニナツテ居ラヌ
ヤウニ思ヒマス、ソレハドウ云フコトカト
云フト、若シ或ル方面ニ多少ノ騷擾ガア
テモ、御耳ガ一向働イデ居ラヌ、他方ニ於
テ少シデモ騷グト、鋭敏ニ其方ヘ頭モ目モ
耳モ働ク、ソレハ頭ノ御作用デモアリマセ
ウガ、議長ノ職責上下ウモ適當デナイヤウ
ニ思ヒマス、ソレデ私ハ副議長ニ甚ダ御無
禮ナ申分デアリマスガ、ドウゾ御注意ヲ
此議場全體ニ行渡ラセ、餘リ近クノミニ御
集中下サラナイデ、又頭ノ御働キ、耳ノ御
働キ、目ノ御働キ、口ノ御働キ、總テヲ頭
ノ半分ヲ使ハズシテ、其兩面全部ヲ御使ヒ

下サルト云フコトヲ御願ヲ申上グルノデア
リマス
ソレカラモウ一ツ議長ノ御意嚮ヲ承テ
置キタイノデアリマス、ソレハ議長ハ此議
場内ノ守衛諸君——警備ノ守衛諸君ヲ撤廢
ナサル、御意思ガナイイカ、又非常ナル場合
ハ是ハ格別デアリマスルガ、大抵ノ場合ニ
於テ此守衛諸君ヲ澤山ニ入レル、或ハ議長
ノ御考デ何某ヲ退場セシムルト云フヤウナ
場合ニハ、是ハ二三ノ守衛ノ手ヲ要スルデ
アリマセウガ、多數ノ守衛ヲ此議場ニ引入
レルコトハ、御見合セニナルコトハ出來ナ
イダテウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリ
マス、去ル二十七日ノ議場ニ於キマシテ、
不幸ニモ騷擾ヲ生ジ、其際此周圍ニ議員諸
君ガ大分御集リニナツタノデアリマス、所ガ
殆ド同時ニ忽チ現レタ守衛諸君ノ頭數ヲ、
私ガ數テ數ヘテ居ルト二十四アツタ、ソコ
デ私ハ此所ニ出テ居ラレタ御方ガ何派ノ御
方カ、何處ノ御方カハ存ジマセウガ、其議
員方ノ頭數ヲ數ヘルト、ヤハリ二十四デ、
偶、不思議ニモ一致シタ、ソレデ其二十四人
ノ御方々ニ事ヲ任セテ置ケバ靜カニ治マル
所ヘ、餘計ニモ二十四人ト云フ倍數ノ頭數
ガ殖エタガ爲ニ、私ハ其騷擾ガ激化シタノ
デハナイカト深ク感シタノデアリマス、ソレ
デ私ハ議長ガ或ハ退場デモ御命ジニナル時
ニ、其人ガ之ヲ聽入レナイナラバ、二三ノ
守衛ニ命ジテ御出シニナレバ宜イノデ、強
テ澤山ノ守衛ヲ繰込マス必要ハ更ニナカラ
ウト思ハレマスシ、又喧嘩ト云フモノハ留手
ガアルガ爲ニ却テ騷ガシクナル、ダカラ若
シ議長ガ守衛ノ力ヲ借ラナケレバ、此議場ノ
統制ヲ保チ得ナイト云フ思召ナラバ、甚ダ
失禮デアリマスガ、議長ハ斷然御辭任ニナ
ルノガ然ルベキデアル、此澤山ノ議員諸君
ノ中ニハ、必ズヤ守衛ナクシテ本議場ノ統
制ヲ保タル、方ガ幾ラモアルト思ヒマス
ガ、若シモ其人ガ俺ハ厭ダト云ウテ誰モ辭退
サレルナラ、不肖私ガ議長ヲヤツテモ宜シ

イ、以上ノ御尋ニ對シテ議長ノ御意見ヲ承
レバ幸デアリマス

○議長(藤澤總之輔君) 堀部君ニ御答致シ
マス、第一ノ御問ハ、前議會ノ時ノ事柄ニ
關シテデアリマシタ、是ハ其當時直チニ取
消シタコトニナツテ居ルト思ヒマスガ、舊イ
事デアリマスカラ、念ノ爲ニ取調ベル事ニ
致シマス、ソレカラ起立ヲ以テ採決ノ場合
ニ、尙ホ記名投票ヲ致スト云フコトハ、時
間ヲ要スルコトハ勿論ノ次第デアリマス
ガ、併ナガラ起立ノ採決ニ對シテ異議ガア
リマスレバ、是ハ當然茲ニ出デナケレバナ
ラヌノデアリマスカラ、是ハ御諒承ヲ戴キ
タイモノデアリマス、ソレカラ去ル三十一
日ニ本會議ヲ開キマセンカトコトハ、御承
知ノ通り當日ハ豫算委員會ガ開カレテ居リ
マシテ、其上ニ大キイ委員會ガアリマシテ、
尙又貴族院モ開會セラレテ居リマシテ、ソ
コニ尙ホ本會ヲ開クコト云フコトニナリマス
ト、實行上甚ダ困難デアツタモノデアリマス
カラ、議長ハ日程ヲ作ラナカッタノデアリマ
ス、ソレカラ議長、副議長ノ上ニ付テノ御
意見ガアリマシタガ、是ハ議長、副議長共
ニ、誠心誠意ヲ以テ、公平ニ事ヲ執テ居ル
積リデアリマスカラ、是亦御諒承ヲ戴キタ
イ、ソレカラ守衛撤廢ニ付テノ御意見モア
リマシタガ、是ハ目下ノ所ハ其意思ガナイ
ノデアリマス——是ヨリ質問ニ入りマス
ガ、第一ノ栗原彦三郎君ノ提出セラレマシ
タ、足尾銅山鑛煙毒ニ關スル質問ニ付テハ、
政府カラ答辯ガ出デ居リマス、山下谷次君
ノ國民精神作興ニ關スル質問ニ付テモ同様
デアリマス、尾崎行雄君提出ノ經濟的困難
ニ關スル質問ニ付テハ、御本人ヨリ延期ノ
申出ガアリマス、更ニ栗原彦三郎君カラ、
足尾銅山鑛煙毒ニ關スル質問ニ對スル意見
ノ陳述ニ付テ、發言ヲ求メラレテ居リマス、
之ヲ許シマス——栗原君

一、足尾銅山鑛煙毒ニ關スル質問ノ答辯
ニ對スル栗原彦三郎君ノ意見

〔栗原彦三郎君登壇〕

○栗原彦三郎君 私が足尾銅山ノ鑛煙毒並ニ煙毒ニ關シテ、政府ニ提出シタ質問ニ對シテ、商工大臣ヨリ答辯ガ參リマシタケレドモ、此答辯ニ満足スルコトガ出來セヌガ故ニ、簡單ニ意見ヲ陳述致シマス、私が政府ニ陳述致シマシタ要點ハ、現内閣ガ組織セラレテ今日ニ至ルマデハ、其取締ハ段々嚴重ニナリテ參リマシテ、洵ニ宜シノデアリマスルケレドモ、遺憾ナガラ營業主其者ガ鑛業ヲ爲スニ當テ、誠心誠意ヲ以テ政府ノ豫防命令ヲ遵守致サナイ、即チ營業上ノ不親切ノ爲ニ、往々ニシテ鑛煙毒並ニ煙毒ノ害ヲ與ヘテ居ル、ソレガ爲ニ前年アノ非常ニ大ナル鑛煙毒ノ害ヲ被ツタ所ノ、鑛煙毒被害地方ノ人民ト、又多少ナリトモ年々鑛煙毒並ニ煙毒ノ害ニ依リマシテ、被害ヲ受ケテ居ル所ノ人民ハ、安心シテ農業ニ従事スルコトガ出來ナイト云フ狀態ニアルコトハ、甚ダ遺憾デアアル、殊ニ鑛煙毒被害ノ上カラ之ヲ見マシレバ、從來暴風雨ガアツタヤウナ場合ニ於キマシテハ、足尾銅山ノ營業主ハ常ニ最モ大切ナル所ノ沈澱池ヲ破壊致シマシテ、渡良瀨川ニ鑛煙毒ヲ流シ込ムデアリマス、何故ニ此鑛煙毒ヲ流シ込ムカト申シマスレバ、政府ノ明治三十年五月二十七日ニ、時ノ鑛山監督局長カラ、足尾銅山主ノ古川市兵衛氏ニ命令ヲ致シタ、其條項ノ一箇條ニ依リマスルト、毎日二萬貫ヲ下ラザル所ノ石灰ヲ、銅山カラ流レ出ス所ノ毒水ニ攪拌致シマシテ、之ヲ沈澱池ニ於テ沈澱サシテ、綺麗ナ水ニナリテカラ、渡良瀨川ニ流シ出スト云フコトニナリテ居ルデアリマスルガ、此二萬貫ノ石灰ヲ毎日利用シテ、命令通りニ之ヲ行フト云フ場合ニ於テハ、非常ニ手數ガ掛ルデアリマスルカラ、銅山營業主ハ此手數ヲ免レル爲ニ、大洪水ノ際ニハ必ズ沈澱池ノ一部ヲ破壊致シマシテ、毒水ヲ其儘流シ出スデアリマス、現昨年ノ七月二十八日カラ八月二日ニ亙リマスル所ノ大

雨ニ依リテ、相當ノ洪水ガアツタデアリマスルガ、其時ニ沈澱池ノ一部 只今答辯書ヲ見マスルト、沈澱池ノ分デハナイ、毒ヲ流ス所ノ水路ノ一部デアルト申シテ居リマスルガ、兎ニ角其處ヲ破壊致シマシテ、渡良瀨川ノ一部ニ毒ヲ流シ込シタデアリマス、此現狀ヲ目撃致シマシテ、被害民及ビ私共カラ足尾銅山ニ派遣シテ居リマスル所ノ、私設監督員ハ此現狀ヲ擱ヘテ、鑛業主ニ抗議ヲ申込ミ、同時ニ警察官ノ出張ヲ願ヒマシテ、ドウ云フ譯デスウ云フコトヲヤルノデアアルカト云フコトデ、大鬧著ヲ起シタデアリマス、其結果ドウナツタカト申シマスルト、渡良瀨川ハ昔ハ非常ニ魚ノ棲ミダ川デアリマシタガ、鑛煙毒事件以來、非常ニ魚族ガ少クナツタデアリマシタガ、昨年ノ四五五月頃カラ僅ニ鮎ガ渡良瀨川ニ見エルヤウニナツタト云フコトデ、地方民ハ非常ニ喜ンデ居リマシタデアリマシタガ、此八月二日マデノ間ニ沈澱池ヲ破壊シテ毒ヲ流シタ、ソレガ爲ニ渡良瀨川ニハ一匹ノ魚モ居ナクナレバ、水蟲マデ悉ク死ンデシマツタト云フコトニ相成ツタデアリマス、又渡良瀨川ノ水ガ流レ込ミマスル所ノ赤麻沼、周回七里モアリマスル所ノ大キナ沼デアリマシテ、此沼ニハ水藻ト稱スル一種ノ藻ガ發生致シテ居リマシテ、此沼ノ近隣ノ農村ニ於キマシテハ、此水藻ヲ取テ肥料ト致シマシテ、金肥ナドハ買ハナイテ農業ヲヤツテ居リタデアリマシタガ、渡良瀨川ニ毒ヲ流シタ結果ト致シマシテ、昨年ハ此水藻ガ悉ク枯レテ腐リテシマヒマシテ、是ガ爲ニ其地方ニ於ケル所ノ農民ハ非常ニ迷惑ヲ致シタデアリマス、此事ハ新聞ノ記事並ニ通信等ニ依リテ最モ明瞭デアアルガ、斯ノ如キコトハ必ズシモ政府ガ默認シタノデナカラウシ、又鑛山主ガ之ヲ爲サシメタノデモナイノデアラウケレドモ、末輩ノ徒ガ之ヲスルモノデアリマシテ、假ニ末輩ノ徒ガ之ヲシタモノト致シマシテモ、被害民ノ受クル所ノ被害ハ甚大

デアリマスルガ故ニ、左様ナコトノナイヤウニシテ貰ハナケレバナラナイト云フノガ私ノ質問ノ第一點デアツタデアリマス、更ニ之ヲ煙毒ノ方面カラ見マスレバ、今、日光ハ皆様モ御承知ノ通り日本ノ國立公園ト致シマシテ、之ニ國際的ノ設備ヲ施シマシテ、今ヤ世界屈指ノ遊園地ナルコトニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、此日光ノ天然ノ美ヲ保テ居リマスル所ノ周圍ノ天然林ハ、煙毒ノ爲ニ年々非常ニ勢ヲ以テ枯ラサレテ居ルノデアリマス、若シ此儘ニ放任シテ居ルヤウナコトガアリマスナラバ、此日光ノ國立公園ガ假ニ出來タト致シマシテモ、其天然ノ美ヲ保テ居リマスル所ノ樹木ト云フモノハ、悉ク無クナツテ禿山ニナツテシマツ場合ニ於テハ、國立公園トシテノ價值ガ根本ニ失ハレテシマフモノデアアル、ソレノミナラズ此煙毒ノ爲ニ關東全體ノ水源地トナツテ居リマスル所ノ利根川、渡良瀨川ノ水源林ハ、悉ク枯死シテシマヒマシテ、何年カノ後ニハ關東地方ハ非常ニ旱害ヲ被ラナケレバナラヌト云フコトハ、最モ明瞭デアリマス、此故ニ此煙毒ヲ豫防セシムル所ノ方法ヲ十分ニ講ジテ貰ハナケレバナラナイ、其方法ト云フモノハ現在以上ノ煙毒除外ノ設備ハ、今日ノ科學知識ニ於テ出來ナイト、斯ウ言ウテ居ルノデアリマスルケレドモ、鑛山主ガ若シ營業ノ上ニ誠心誠意ガアルナラバ、此被害ヲ免ル、コトガ出來ルデアリマス、即チ煙毒ト云フモノハ煙デアリマス、風ニ從テ各地ニ飛散スルモノデアリマスルガ故ニ、風ノ向キガ日光御料林ノ方ニ行カナイ日ヲ選ンデ、既ニ今日マデ枯レ盡シテアル方面ニ向テ煙毒ガ飛バヤウナ風ノ方向ノ日ニ、多ク焙鑛爐ニ火ヲ入クト云フ氣流ノ方向ノ日ニハ焙鑛爐ニ火ヲ入レナイト云フヤウナ方法ニ致シマスレバ此煙毒ヲ免ル、コトガ出來ルノデアアルニ拘ラズ、鑛山主ハ多ク氣流ノ全ク日光ニ向ク

ヤウナ日ニノミ多ク焙鑛爐ニ火ヲ入レテ居ルノデアリマス、焙鑛爐ノ日々火ヲ入レテ居ルノデハナイ、時ニハ休ム時モアルノデアルケレドモ、ソレハ氣流ガ彼等ノ營業ニハ都合ガ好イガ、日光ノ樹木ハ枯レト云フヤウナ氣流ノ日ニ、非常ニ多ク營業ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、是ガ爲ニ煙毒ガ益、甚シクナルノデアリマス、此故ニモウ一息嚴重ニ監督ヲシナケレバ、此害ヲ除クコトガ出來ナイノデアリマスルガ故ニ、政府ハ常設監督官ヲ足尾ニ置ク考ハナイカト云フコトガ、私ノ質問ノ要點デアリマシテ、常設監督官ヲ足尾銅山ニ置ク必要ハナイカ、私ハ必要ヲ感じテ居ルガ、政府ハ之ヲドウ考ヘテ居ルカト云フコトガ、私ノ質問ノ要點デアアルノデアリマス、然ルニ政府ガ之ニ對スル所ノ答辯ハ洵ニ遺憾至極デアツデ、吾ガ徹頭徹尾満足ノ意ヲ表スルコトノ出來ナイ答辯デアリマス

此答辯ノ要點ニ依リマスルト、昨年七月ノ末暴風雨ノ際ニハ、沈澱池ヲ破壊シタコトハナイ、唯毒水ヲ通ズル路ノ一部ヲ支障ヲ來シタルハ遺憾トスル所ナルモ、當時應急ノ處置其宜シキヲ得、破損ノ箇所ニ對シテハ特ニ十分ナル工事ヲ施シメ、且ツ一般鑛水路ニ對シテモ爾後斯ル支障ヲ惹起セザルヤウ嚴重ナル監督ヲ爲シツ、アリ、又往年鑛煙毒ノ害ヲ御料林ニ及シタル事實ハアルガ、煙害ヲ除去スベキ施設ヲ鑛業權者ニ命ジ、爾來是ガ防止ニ努メツ、アリ、現在ニ於テハ殆ド被害ヲ與フル虞ナキモノト認ムルモ、今後ノ狀況如何ニ依リテハ氣流ノ方向其他ニ注意シテ、作業セシメ、遺憾ナキコトヲ期スルモノトス、之ヲ要スルニ足尾銅山ニ於ケル除害設備ニ付ハ、監督官ヲ派遣シ、其運用ニ關シ嚴重取締ヲ勵行シツツアルヲ以テ、特ニ常設監督官ヲ置クノ必要ヲ認メナイト云フ答辯デアリマス、恐ラク政府ガ斯様ニ答辯ヲ爲サレタノ付テハ、只今ノ當路者ハ足尾銅山ノ鑛煙毒問題ト云フ

モノニ付テ、十分ノ知識ヲ持テ居ラナイカラ、斯様ナ答辯ヲシタモノデアルト考ヘルモノデアリマス、此故ニ私は足尾銅山ノ鑛毒ガ現在如何ナル程度ニ及ンデ居ルカト云フコトヲ茲ニ申上ゲマシテ、此答辯ガ甚ダ遺憾デアルト云フ理由ヲ明カニシタイト考フルモノデアリマス

諸君、足尾銅山ハ明治ノ初年カラ其鑛業ヲ行テ居ルモノデアリマスルガ、明治二十九年ニ非常ノ大洪水ガアリマシテ、其明治二十九年ノ大洪水ニ因リマシテ足尾銅山ニ堆積致シテ居リマシタ所ノ砒素、丹礬、其他ノ猛烈ナル所ノ毒ヲ有シテ居ル所ノ泥土ガ一時ニ下ヘ流レ出シマシテ、栃木、群馬、埼玉、茨城、千葉、東京ノ一府五縣十五郡百三十五箇町村ト云フモノガ甚大ナル害ヲ被リマシテ、其當時ニ於テ最モ被害ノ盛デアリマシタ群馬縣ノ新田、邑樂、山田ノ三郡、栃木縣ノ足利郡、下都賀郡、及ビ埼玉縣ノ北埼玉郡ノ一部デアリマスル所ノ川邊、利島、或ハ茨城縣ノ猿島郡ノ一部デアリマスル所ノ古河附近等ニ於キマシテハ、全ク一粒ノ米、一粒ノ麥ヲモ田畑カラ收穫スルコトノ出來ナイト云フ狀態デアッタバカリデナク、屋敷ニ在リタ所ノ樹木モ悉ク枯レシマフツ云フヤウナ、非常ナ悲惨ノ狀態ニ在リタノデアリマス、之ヲ田中正造翁ナドノ熱心ナル運動ニ依リマシテ、政府モ此害ノ甚シキヲ認メマシテ、遂ニ當時ノ大隈兼任農商務大臣ハ、鑛山局長ヲシテ五月二十七日ニ足尾銅山鑛毒豫防命令書ト云フモノヲ發セシメタ(何年デスカ)ト呼フ者アリ)明治三十年五月二十七日——此明治三十年五月二十七日ニ發シマシタ所ノ豫防命令ニ依リマシテ、古河市兵衛氏ハ當時三百餘萬圓ノ經費ヲ投ジテ沈澱池ヲ造リ、或ハ此鑛毒ガ粉ニナツテ飛ブ所ノ粉鑛採集器ト云フヤウナモノヲ据付ケル所ノ施設ヲ致シマシテ、兎ニモ角ニモ鑛毒ガ大シタ勢ヲ以テ下ノ方ニ流出サナイト云フコトニ相成テ居ルノデ

アリマス、併ナガラ年々何千萬圓ト云フ利潤ヲ得ル所ノアノ大キイ足尾銅山ノ營業デアリマスガ故ニ、少クトモ一日ニ何萬立方坪ト云フ丹礬砒素ヲ含有スル所ノ多クノ毒泥ガ堆積致スノデアリマシテ、現在ハ坪數ニ致シマシテ三百七十餘萬立方坪ト云フ、此猛烈ナル毒泥ガ十七箇所ノ毒泥堆積所ト云フモノニ堆積致シテ居ルノデアリマス、大抵ノ毒デアリマスナラバ明治三十年カラ積ミ始メマシタ所ノ堆積所ノ如キハ、既ニ三十四年ニ相成リマシテ、其間或ハ日ニ曝サレ、或ハ雨ニ或ハ雪ニ曝サレテ居ルノデアリマスカラ、其毒ガ餘リ猛烈ナモノデナイナラバ、草ノ一本位ハ生エナケレバナナリノデアリマスガ、明治三十年カラ、沈澱致シテ居リマス其ノ毒山ニ對シテハ、マダベン／＼草一本モ生エテ居ナイノデアリマス、斯ウ云フ猛烈ナル毒ガ三百七十餘萬立方坪ト云フモノガ渡良瀬川ノ水源地、而モ川ノ直グ上ニ堆積所ヲ造テ居リマシテ、此ノ石垣一ツノ上ニハ此毒泥ガ堆積致シテ居ルノデアリマスカラ、若シ一朝山津波等ガアリマスカラ、此毒泥ガ再ビ渡良瀬沿岸並利根川沿岸ニ洪水ト共ニブチ撒カレマシテ、往年ノ如キ鑛毒被害ノ慘狀ヲ見ルト云フコトハ、最モ明カナ事ニナツテ居ルノデアリマス、一面ニ於テハ此重大ナル危險ガアルバカリデナク、更ニ又年々此渡良瀬川ノ水ヲ灌漑致シテ居リマス群馬縣ノ山田郡、或ハ新田郡、邑樂郡、栃木縣ノ足利郡ノ一部ノ田ニ對シテハ、相當ノ害ヲ及シテ居ルノデアリマス、ドノ位ノ害ヲ及シテ居ルカト申シマスレバ、先ヅ一段ニ付テ平均二俵位ノ減收ヲ來サセテ居ルノデアリマス、ソレハ何ノ爲デアアルカト云ヘバ、田ニ水ヲ掛ケマス、其田ノ三分ノ一位ニハ一寸位ノ毒砂ガ積ムノデアリマス、其毒砂ノ積シタ所ハ精々伸ビテモ稻ガ五寸カ一尺シカ伸ビナイノデアリマスカラ故ニ、一段ニ付テ平均二俵位ノ害ヲ被テ居ル、

此害ヲ被テ居ル外ニ、時々此沈澱池ヲ打壤シテハ毒ヲ流シ出スノデアリマスカラ故ニ、渡良瀬川ハ魚ガ獲レナクナル、赤麻沼ノ魚モ獲レナクナリ、藻モ取レナクナルト云フノデ、現在ニ於テモ相當ノ被害ヲ與ヘテ居ルノデアリマス

更ニ又鑛毒ノ方面カラ申シマス、是亦猛烈ナルモノデアリマシテ、現在群馬縣利根郡ノ一部ト、栃木縣ノ上都賀郡ノ一番山奥ノ方ニ當テ居リマス方面ハ、一體ニ關東ニ於ケル密林地帶デアリマス、此密林地帶ガアルガ爲ニ或ハ鬼怒川或ハ大谷川、或ハ渡良瀬川、或ハ利根川等ノ水源トナリマシテ、此水源ニ依テ關八州ノ地ヲ潤シテ居ルノデアリマスカラ、此水源地帶ハ今ヤ非常ノ勢ヲ以テ樹木ガ鑛毒ノ爲ニ枯レツ、アルノデアリマス、鑛山局ノ役人ナド今ハソナ害ハナイナドト申シテ居リマスガ、現ニ足尾銅山ニ住ンデ居リマス人ニ言ハセルト鑛山局ノ役人ヨリハ山ニ住ンデ居ル鳥ヤ獸ノ方ガ大變利口ダト云フデ居ル、ドウ云フ譯デ鑛山局ノ役人ヨリモ鳥ヤ獸ノ方ガ利口デアアルカト言ヘバ、鳥ヤ獸ハ今日ハ斯ウ云フ風ノ向デアアルカラ、此氣流デハ必ズコッチノ方ヘ鑛毒ガ飛ンデ來ルト思ヘバ、獸モ鳥モ其方面ニハ皆居ナクナツテ風上ニ行テ居ル、然ルニ此氣流ト云フモノニ少シモ注意ヲシナイデ、將來世界ノ國立公園トナルベキ所ノ日光ノ樹木マデヲモ枯シテ、平氣デ居ル鑛山局ノ役人ハ鳥ヤ獸ヨリハ馬鹿デハナイカト、斯ウ云フデ居ルノデアリマス、斯様ナ次第デ私ガ常設監督官ヲ足尾ニ置イテ貰ヒタイ、置クノガ當然デアルト云フ意味ハ、其日々ノ仕事ニ向テ監督ヲサレナケレバナラナイト云フ必要ガアルカラデアリマス、現在ノヤウニ一箇月ニ一度ヤ二度鑛山局ノ役人ガ廻テ行テ、料理屋ノ二階デ監督シテ居、タノデハ、實際ノ監督ガ行ハルベキモノデハナイノデアリマス、此非常ナ被害ガアルノニ拘ラズ、常設監督官ヲ置ク必要ガ

ナイナドト言フニ至ッテハ、驚入ッタ次第ト謂ハナケレバナラヌノデアリマス、殊ニ只今ノ答辯書ニ依リマス、本年七月末日ノ暴風雨ノ際ニハ沈澱池ハ破壊シナカッタ、鑛水路ノ一部ニ支障ヲ來シタノダト云フノデアリマスガ、苟モ政府ノ答辯トシテ、此機ガ傷ンダノデハナイ、端／＼ガ少シ傷ンデ、毒ガ流レタト云フヤウナ答辯デアッテ、洵ニ驚入ッタ答辯ト謂ハナケレバナラナイノデアリマス、ドウシテ毒ヲ流ス所ノ鑛水路ノ一部ガ沈澱池デアリマスカラ、苟モ商工省ノ方々ハ此位ノコトハ御存ジデナケレバナラナイノデアリマス、更ニ現在ニ於テハ殆ド被害ヲ與フル憂ハナイ、斯ウ云フテ居リマスガ、只今申シマシタヤウニ鑛毒ノ方面ニ於テモ、鑛毒ノ方面ニ於テモ、十分ニ害ガアルノデアリマス、唯將來十分ニ作業ニ注意シテ遺毒ナキヤウニ期スルト仰シヤリマスケレドモ、監督ガ不十分デドウシテ遺毒ナキコトヲ期スルコトガ出來ルノデアリマセウカ、私ハドウシテモ是ハ常設監督官ヲ置クヨリ外ニ途ガナイト思フノデアリマス要スルニ現内閣ノ諸公、殊ニ此方面ニ携ハラレテ居ル方々ハ、誠心誠意ニ此監督ヲシテ下サルコトハ事實デアリマス、前

ノ田中義一氏ノ内閣ノ時ノ如キハ毒ヲ流シ放題、勝手次第デアッテ、私ガ嘗テ質問書ヲ提出シテ其答辯ヲ追ッタ時ニ、田中義一君ノ如キハ、日光ノ御料林ヲ枯ラスト云フコトハ畏多クハナイカト云フ質問ニ對シテ、畏多クハナイト云フ答辯ヲシテ居ルノデハナイカ(拍手)木曾御料林ニ次ガ所ノ大切ナ日光ノ、アノ御料林ノ枯レルコトガ、畏多クハナイト云フヤウナ答辯ヲシテ居ルヤウナ政友會内閣時代ヨリハ、確ニ其監督ノ上ニ於テ相當進ンデ居ルコトハ明瞭デアリマスルケレドモ、遺憾ナガラ銅山ニ對スル知識ガ十分デナイカラ、斯様ナ御答辯ヲサレタト考ヘマスルガ故ニ、政府ハ宜シク更ニ十分ナル調査ヲサナイマシテ、是非監督官ヲ置ク

ヤウニ御願致シタイノデアリマス(拍手)

○議長(藤澤義之輔君) 山下谷次君カラ意見ノ陳述ヲ申出デアリマス。山下谷次君

國民精神作興ニ關スル質問ノ答辯ニ對スル山下谷次君ノ意見

〔山下谷次君登壇〕

○山下谷次君 政府ニ對シマシテ、國民精神作興ニ關スル所ノ質問書ヲ出シテ置キマシタ、而モ其質問書ニハ書面デナクテ、口頭必ズ御答下サルヤウニト云フコトヲ、書添ヘテ居ラタノデアリマス。今日突然書面ヲ以テ答辯ガアッタノデアリマス。

此頃議會ハ時代トハ申シナガラ、多クハ物質文化ノ方ノコトバカリ議サレテ、大抵ノ場合精神文化ノコトヲ打忘ラレテ居ルノデアリマス、ソコデ斯ノ如キ問題ハ、本

議場ニ於キマシテ十分政府ト意見ヲ闘ハス必要ガアルト私ハ考ヘテ居タ、併ナガラ今日マデ其機會ハナシ、若モ私ノ質問書ニ對シテ口頭御答下サルナラバ、ソレニ對シテ又再質問モ出來マシテ、相當ナ問題ニナ

ルト思ヒマシタケレドモ、書面ヲ以テ答辯セラレテ、ドウモ的ノナイ所ヘ矢ヲ放ツ譯ニハ行カヌデアリマシテ、寔ニ遺憾ニ存

ズル次第デアリマス、併ナガラ一顧自分ノ質問ノ趣意ノ大體ヲ申上ゲマシテ、諸君ノ御清聴ヲ煩ハシタイト思フデアリマス。

近頃ノ思想ノ險惡ナルコトハ諸君ノ御承知ノ通りデアリマス、殊ニ最近ニ於キマシテハ、不景氣ガ絶頂ニ達シマシテ、國民ハ

生活ノ脅威ヲ受ケ、生命ノ不安ヲ感ジテ居ル時デアリマス、ソコデ以テ丁度關東ニ於ケル震災直後ノ有様ガ、日本全體ニ擴張セ

ラレテ居ルト云フヤウナ状態ニナッテ居ル、此時ニ於キマシテ、所謂共產主義者ナルモ

ノハ中々活動ヲ致シテ、種々ナ事象ガ現ハレテ居ルコトハ、諸君ノ御承知ノ通りデア

リマスガ、是ハ一々其例證ヲ舉ゲルコトハ、國家ノ爲ニ甚ダ宜シクナイト思フカラ省略

致シテ置キマス、唯吾々ガ政府ニ要求スル

ノハ、現在アル所ノ此事例ヲ彼此レ申上ゲルノデハナクテ、ドウシテ國民精神ノ作興ヲ圖ルカト、私ハ思ウテ居タノデアリマ

ス、斯ウ言ヘバ國民精神ノ作興ヲ圖ル爲ニ中學校ノ改善ヲヤルトカ、師範學校ノ改善ヲヤル位ノ答辯ダラウト思ヒマシタ、案

ノ如クソレガ答辯書ノ中ニハイッテ居ル、師範學校ノ改善ヤ中學校ノ改善デ、國民精神ノ作興ヲヤレルモノデハナイ、全ク屬僚的答辯デアアルノデアリマス(拍手)私ガ思フニハ、此所謂國民精神ヲ作興致ス、即チ思想ヲ善導致シマスルニハ、何ガ一番最モ正確デアッテ、遲イヤウデ早イノハ何デア

カト申シタナラバ、教育ノ改善デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)

諸君、私ガ申上ゲルマデモナク、佛蘭西革命當時ニ、所謂政治國難、經濟國難ガ襲來致シテ居ル其時ニ、三人ノ革命發頭人ガ種々相談ノ結果、教育ノ改善ガ第一デア

ルト云フコトニ定マッタコトハ、諸君御承知ノ通りデア

アル、獨逸ガ戰敗致シマシテ、今日マデ僅ニホカナリマセヌガ、殆ド國難ガ同復致シタ、是ハ何ニ原因ヲナシテ居ルカト申シタナラバ、教育ノ改善ノ結果デア

ルトハ、諸君御承知ノ通りデアリマス(拍手)

次ニハ在學中ノ試驗デアリマス、是ハドウナッテ居ルカト云フト、一科ガ四十點以上、平均六十點、此制度ガ日本ノ今日ヲシテ、總テニ國難ニ直面セシメテ居ル所ノ原因ヲナシテ居ルノデアリマス、何トナレバ人間ハソレノ個性ヲ持ッテ居リマスガ、今

日ノ此制度ハ本人ガ持ッテ居ル所ノ秀デタル個性ハ抑付ケテシマッテ、出來ナイモノヲ上ゲルヤウナコトニナッテ居ル、私ハ之ヲ名

付ケテ、今日ノ教育ハ凡ハ化教育ト謂フ、此凡人ニ化スル教育チヤ、オ前ハ數學ガ出來ルカラ數學ヲヤルナ、漢學ガ出來ヌカラ漢學ヲヤレト云ウテ、出來ルモノハヤラサズニ置イテ、出來ナイモノヲ無理ヤリヤラシテ居ル、ソレヲ若シモ教育者ガ出來ル所ヘ

主ナル力ヲ注ガシテ、出來ナイ所ノ學科ノ如キハ、常識ヲ得ルト云フ位ノ程度デキッテ行ッたらドウカト思フ(拍手)然ルニ天性伸ビル所ハ切ッテシマフ、是ハ私ハ生徒教育トモ言ッテ居ル、生徒ハ奇麗ニ摘ンデ行ケバ、翌年ニナッテ中々ピンノト出テ來ルガ、ソレヲ剪ッテシマフ即チ人間ノ伸ビル所ハ剪ッテシマッテ、伸ビナイ所ノモノヲ、殊更針金ヤ絲等デ以テ之ヲ吊上ゲテ、伸バサウト云フヤリ方デアルカラ、大ナル人物ガ出ナイノデアリマス、故ニ此在校中ノ試驗制度ハ、所謂一科目デモ抽デタモノガアッタナラバ、卒業サシテ社會ニ出スガ宜シイ、其一學科デ以テ相當一家ヲ作ルコトハ出來ルノデアリマス、然ルニ今日ノ在學中ノ試驗ハ、多クハ凡ハ化教育ノ標準ヲ現シテ居ル、生徒教育其儘ヲ現シテ居ルト云フコトデアリマスカラ、日本ニ於テハ大ナル人物ガ出ナイノデアリマス

次ニハ職業試驗デアリマスガ、只今デモ各種ノ試驗ガアル、藥劑師試驗、辯護士試驗、高文ノ試驗ト云フノガアリマスガ、是等ハ皆相當ナル資格ヲ有スル者ガ受ケルコトニナッテ居ルノデアリマシテ、ソレニ大ナル弊害ガ伴ッテ居ル、之ヲ三種カ四種カノ、所謂國家試驗制度ヲ設ケマシテ、其資格ノ如何ニ拘ラズ、本人ノ希望シタル試驗ヲ受ケサス制度ニシタナラバ、眞ニ實力ノアル人ガ世ニ出ルコト、思フデアリマス

ソレカラ次ニハ此卒業ニ伴フ特權、竝ニ在學中ノ特權ノ撤廢デアアルノデアリマス、在學中ニハ徵兵延期ノ特典ガアル、或ハ中學ヲ卒業スレバ普通文官ニナル特權ガアル、斯ノ如キコトハ、甚ダ都合デアアル、徵兵延期ト云フコトハ、一種ノ徵兵忌避デア

ルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ政府ガ法令ヲ以テ定メルナド、云フコトハ大ナル間違デアル、是ハ相當ナ年齡ガ來タ時ニハ、試驗ヲ受ケテ及第スルナラバ兵隊ニ入ルガ宜シイ、ソレデ始メテ國民皆兵ノ實ガ舉ル

ノデアリマス、在校中ノ特權ハ全部無クシ、
故ニ卒業ニ伴フ特權モ廢スル、東ニ角大學
ヲ卒業スレバ學士號ヲ貰ヘルト云フノデ、
其金看板ガ欲シサニ、自分ノ資力モ體力モ
學力モ考ヘズニ、無暗ニ大學ヲ志望スル者
ガ多イノデアリマスガ、此特權ヲ無クシテ
シマツタナラバ、自分ガ自分相應ノ教育ヲ
受ケルト云フ本質ニ立廻リ得ルト、私ハ考
ヘテ居ルノデアリマス（拍手）殊ニ甚シイノ
ハ、學校卒業ノ免狀ガナケレバ、試験ヲ受
ケルコトガ出來ナイト云フヤウナ制度ニ
ナツテ居ル、例ヘバ高文ノ試験ヲ受ケル時デ
モ、大學デアルトカ、或ハ高等學校、專門學
校、或ハ小學校ノ正教員ノ免狀ヲ持テ居ラ
ナケレバ受ケルコトガ出來ナイ、是ハ所謂
金持バカリハ試験ヲ受ケルコトガ出來ルケ
レドモ、眞ニ獨學シテヤツ者ハ、遂ニ高文
ノ試験ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フ狀態デ
アリマス、故ニ是等ハ宜シク門戸開放ヲ致
シマシテ、下ナタデモ資格ナクシテ望ム所
ノ試験ガ受ケラレルヤウニ改正ヲシナケレ
バナラヌ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

次ニ教育ノ改良ノ一ツト致シマシテ、義
務教育年限ノ延長ヲヤルコトデアリマス、
是ハ多年ノ宿題デアリマスレドモ、今
ニ是ガ實行ガ出來ナイ、外國デハ八年或ハ
九年、或ハ十二年モガ義務教育年限ニナ
テ居ル所ガアリマスガ、日本ガ假ニ八年ト
致シマシテモ、外國ノ兒童ガ習フノト、日
本ノ兒童ガ習フノトハ、其結果ニ於テ餘程
ノ違ヒガアル、日本ノ語學ハ面倒デアリマ
シテ、西洋ノ語學ハ簡單デアリマス、面倒
ナモノヲ八年間ヤツデモ、日本ノ兒童ハ得
ル所ガ少イ、之ニ反シテ外國ハ八年、九年
ノ年限デアルノニ、日本ハ六年ト云フ年限
デアル、其爲ニ非常ニ外國ノ兒童ト日本ノ
兒童ハ、小學校ノ卒業成績ガ違フト云フコ
トニナルノデアリカラ、是非トモハ年限
ヲ延長スル必要ガアル、サウスルト必ズ是
ハ經費ノ問題ニ關係シテ來ルノデアリマス

ガ、私ガ最初申シマシク教育ノ根本改善ノ
一ツトシテ、私學ヲ本體ト致シテ、少ク
モ大學ヲ私立ニ委シテシマフ、唯茲ニ例外
ガアルノハ理科デアルトカ、工科デアルト
カ云フモノハ、サウハ行カヌガ、其他ノモ
ノハ全部私立デアルコトガ出來ルノデアリ
マス、サウシタナラバ少クモ國家ノ經費
ハ四千萬圓以上ニ達フノデアリマス
ニ出來ルコト、考ヘテ居ルノデアリマス
次ニハ補習教育ト青年訓練ヲ合併スル必
要ガアル、小學校ヲ卒業スルノハ十三歳或
ハ十四歳デアリマスガ、青年訓練所ニ入ル
ノハ十六歳デアリマス、此間ノ二年或ハ三
年ハ、補習教育ヲ受ケル者モアレバ、受ケ
ナイ者モアル、又政府ニ於キマシテモ、補
習教育ニハ僅ニ二百五十萬圓、青年訓練所ニ
ハ百萬圓ノ金以外ハ出シテ居ナイ、國民ノ
方モ餘リ乘氣ニナツテ居ラナケレバ、政府ノ
方モ餘リ乘氣ニナツテ居ラナイ、ソコデ之ヲ
合併致シマシテ、相當ノ經費ヲ投ジテ、小
學ヲ卒業シテ徵兵ニ行クマデハ、國家ノ義
務トシテ之ヲ教育スル必要ガアルト考ヘテ
居ルノデアリマス（拍手）

次ニハ此様ナ教育ノ改善ヲ圖ラントスル
ニハ、最後ノ問題ト致シマシテ、私ハ教育
令ノ法律化ヲ主張致シテ居ル、ソレハ教育
ト云フモノハ、經費ハ議會ニ提出シテ、議
會ノ協賛ヲ經テ居ルケレドモ、其仕事ヲス
ル所ノ根本デアル教育令ト申スモノハ、文
政審議會ニ付シテ勅令デ以テ發布致シテ居
ルノデアリマス、諸君ノ御承知ノ通り文政
審議會ガドウ云フ性質ノモノデアツテ、此會
ガ天下ヲ率先シテ指導スル權威アル會デア
ルカナイカハ、私ガ申上ゲルマデモナイノ
デアリマス、其處ハ諸君ノ勅令ガ出ル、餘
程時代遅レノモノデアル、サウシテ置イテ、
常ニ使フ所ノ經費ハ兩議院ノ協賛ヲ經タモ
ノデアリマス、洵ニ矛盾致シテ居ル、故ニ
小學令モ、中學令モ、高等學校令モ、大學

令モ、帝國議會ニ提出致シテ、諸君ノ御審
議ニ依リマシテ決定致シ、ソレニ依ツテ文
部省ガヤル所ノ經費ヲ兩院ガ協賛スルコト
ガ最モ適當デアリ、且ツ適切ナル教育ガ出
來ルト思フノデアリマス（拍手）
次ニハ教育上ニ於テ、今日眼ノ前ニアル
所ノ事ヲ如何ニスルカ、是モ質問ノ一ツデ
アツタデアリマス、一昨年ノ七月頃カラノ
不景氣ハ、大切ナル子供教育スル學校ニ
マデモ甚大ナル影響ヲ及ボシテ居ルノデア
リマス、甚シキニ至ツテハ、先ヅ小學校カ
ラ申上ゲマスガ、小學校ノ如キモ、今マデ
ハ適齡兒童ノ就學率ハ九割九分六厘ト云
テ居、タノデアリマス、然ルニ昨年ハ七十
万人カラノ不就學兒童ガアツタノデアリマ
ス、本年ハ百萬ヲ超過スルドラウ、此不就
學即チ小學校ニ行カヌ子供、如何ニシ
テ政府ハ教育シテ行クカ、之ニ費ス經費ハ
五十萬圓アルト思ヒマスガ、百万人ノ不就
學兒童ガ出來タ時ニ、一人前五十錢ヨリ外
當ラヌノデアリマスカラ、到底百万人ノ不
就學兒童ヲ教育シテ行クコトガ出來ナイノ
デアリマスガ、政府ハ之ニ付テドウ云フ考
ヲ持ツテ居ルカヲ伺フノデアリマス

次ハ中等學校程度ノモノデアリマスガ、
中學校ノ如キモ生徒ノ數ハ甚シイ所ハ半減
致シテ居ル、少クトモ二三割ハ減ジテ居ル
ノデアリマス、經費ノ上ニ於キマシテモ非
常ナル收入減デアリマス、此間新聞ノ報ズ
ル所ニ依レバ、九州帝國大學ダケノ收入ノ
減ガ三萬圓デアルトカ書イテアリマシタヤ
ウナ按配デ、所謂帝大デストラモ斯ノ如ク收
入ハ減ジテ居ルノデアリマスカラ、其他ノ
學校ノ收入ノ減ジテ居ルコトハ明カナノデ
アリマス、之ヲ如何ニシテ政府ハ救済スル積リ
デアルカト云フノガ、私ノ質問ノヤハリ一
ツデアルノデアリマス

ガ行ツテ居ルノニモ拘ラズ、今日ハ小學校教
員ノ俸給ハ初任級モ減ジタ縣ガ多シ、初任
級デナクテモ、一般ニ或ハ二割或ハ三割モ
減ジテ居ル處ガ段々アルノデアリマスガ、
是等ニ對シテハ政府ハドウ云フ考ヲ持ツテ
居ルノデアアルカ、是ガヤハリ私ノ質問ノ趣
意デアリマス
斯ノ如ク教育ヲ大改良致シマシテ、國民
精神ノ作興ヲ圖ラナケレバナラヌ、之ニ引
續キマシテ、國民精神ノ作興ヲ圖ルニハ、
ヤハリ生活ノ安定ヲ與ヘナケレバナラヌ、
今日國民全體ガ生活ノ不安ヲ感ジテ居ルコ
トハ、是ハ申上ゲルマデモナイコトデアリ
マス、特ニ學校ヲ卒業シタ者デ生活ノ不安
ヲ感ジテ居ル者ガ非常ニ多イノデアリマ
ス、今年ノ三月ハ大學並ニ專門學校ノ卒業
生ガ何万ト出マスガ、恐ラクハ二割トハ片
付カナイダラウト思フテ居ルノデアリマス、
此殘ル所ノ八割、國家ガ何億ト云フ金ヲ投
ジテ教育シタ所ノ此人間ヲ遊バスニ付テ、
文部大臣ハ如何ナル考ヲ持ツテ居ルカ、此所
謂學校ヲ卒業シタ者ヲ遊バスト云フコト
ハ、是ハ所謂思想ノ上カラ申シマシテデ
モ、國家觀念ノ上カラ申シマシテデモ、甚
ダ是ハ穩當デナイカラ、之ヲ如何ニシテ救
済スルヤ、如何ナル方法ヲ有スルヤト云フ
コトガ私ノ質問ノ一ツデアアルノデアリマ
ス

次ニハ思想善導、即チ國民精神ノ作興ハ
先ヅ上位ニ在ル人ガ實踐躬行シテ以テ其範
ヲ示スト云フコトガ、最モ大切デアアルノデ
アリマス、然ルニ實ニ今日ノ狀態ヲ見マス
ト云フト、朝野兩黨ト言ヒタイガ、斯ウ云
フ問題ハ黨派ニ關係ガナイノデスカラ、暫
クノ間御清聴ヲ御願致シタイト思ヒマス、
如何ナル事ガ今日ノ世相ニ現ハレテ居ル
カ、甚ダ民政黨ノ方ニハ都合ガ惡イ事デア
ルカモ知レスケレドモ、是ダケ言ハシテ戴
キタイ、ソレハ國民精神ノ作興ヲ唱ヘテ居
ル、殊ニ其國家觀念ト云フヤウナ事ニ付キ

マシテハ、天下ノ標的トナテ居ル所ノ現
陸軍大臣ノコトハドウデアリマス、約一年
間モ職務ヲ行ハズシテ居ル、他ノ軍人ハ半
年モ病氣デアタナラバ休職ドコロデハナ
イ、職ヲ除ケラレテシマフノデアリマス、
即チ此國民精神作興ノ中心トナル所ノ人
ガ、十箇月モ一年モ俸給ヲ只貰テ居タト
云フヤウナコトハ、國民精神作興ノ上ニ至
大ナル影響ガアルコト、思フノデアリマス
(拍手)又諸君ハ選舉ニ臨ンデ演説ヲ爲サ
テ……洵ニマダ生々シイ問題デアリマス
ガ、國民精神ノ作興ハ現政府ノ十大政策ノ
中ニモ入テ居ル、ソレガ此選舉ノ前、一昨
年ノ春頃カラシテ賣動ト云フコトヲ頻ニ唱
ヘテ居ル新聞ニモ頻ニ出タ、私ハ思フニ丁
度其當時ハ教化總動員ヲヤツテ運動ヲ致シ
テ居リマシタガ、百ノ教化總動員ヲヤルヨ
リハ、賣動ナド、云フ記事ヲ新聞ニ掲ゲル
ト云フコトガ、非常ナル害デアルト私ハ言
タ事ガアル(拍手)他ノ鐵道問題ノ如キハ新
聞ノ記事ヲ差止メタ、新聞ノ記事ヲ差止メ
テ置キナガラ、此賣動ノ如キハ新聞ノ記事
モ差止メズシテ盛ニ新聞ニ書カシテ置イ
テ、一方ニ教化總動員ノ運動ヲシテ居ル、
是程矛盾ナコトハナイ、天皇ノ大權ヲ犯シ
ツ、モ、之ヲ新聞ニ書カシテ、サウシテ一
方デ教化總動員ヲヤツタ所ガ、是ハ國民精神
作興ノ上ニ三文ノ値打モナイト思フノデア
ル、丁度其時ニ私ハ十月ノ十二日デアリマ
ス、私ノ選舉區ニ於テ丁度演説ヲシタ、ナ
ゼ當局ハ之ヲ新聞ノ掲載ヲ止メナイノデア
ル、鐵道問題ヲ止メテ置イテ、是程大切ナ
ル國民精神作興ニ重大ナ影響アルモノヲ
掲ゲルト云フノハ不都合デアルト言ウテ演
説ヲシタ、其翌日賣動ト云フコトガ新聞
ニ掲載ガ禁止サレタノデアリマス、然ルニ
諸君ハ今日非常ナル所ノ所謂勝利ヲ得ル武
器ニ之ヲ御使ヒニナシヤウデアリマスガ、
若シ之ヲ以テ勝利ヲ得ル(武器ニ使フ)ノナ
ラバ、失禮ナガラ民政黨ハ大ナル間違デア

リマス

ソレカラシテ、サウ云フヤウナ例ヲ申上
ゲマシタナラバ限リガナイケレドモ、一ツ
申上ゲナケレバナラヌコトガ殘テ居ル、共
産黨事件ノ公判廷ニ於ケル模様ハドウデア
リマス、所謂共產黨員ガ革命ノ歌ヲ法廷デ唱
ヘテ、判事ノ言フコトヲ聽カヌ、之ヲ又政府ハ
其儘打ッチャテ置クト云フコトハ、甚ダ私ハ
陛下ノ代理デアリマス、代理ヲ以テ裁判シ
テ、ソレニ反抗ヲスルノナラ、直チニ以テ
斬捨テ、差支ナイダラウト思ヒマス(ソ
ナ法律ガ何處ニアルカト呼フ者アリ)天
皇陛下ニ法律ナドハナイ

ソコデ私ハ國民精神ノ作興ヲ圖ルノニハ、
第一ニ教育ノ大改善ヲ圖ルコト、次ニハ
學校ヲ卒業シタ一般ト申シタイケレド
モ、是ハ文教ニノミ限リテ居リマスカラ、即
チ學校ヲ卒業シタ者ニ相當ノ職業ヲ全部ニ
與ヘルヤウニスルト云フコト、第三ニハ
國民全體ノ上位ニ在ル、目上ニ在ル者ガ實
踐躬行、以テ範ヲ國民ニ垂レテ、國民精神
ノ作興ヲ圖ラナケレバナラス、斯ウ思ウテ
居ルノデアリマス、是ガ私ノ今回ノ質問ノ
大體ノ趣旨デアリマス、今日ハ是デ失禮致
シマス

○議長(藤澤幾之輔君) 是ヨリ日程ニ入リ
マス、日程第一及第二ハ便宜一括議題ト
ナスニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メ
マス——日程第一、震災被害者ニ對スル租
稅ノ減免猶豫等ニ關スル法律案、日程第
二、國際決濟銀行ニ租稅等ヲ課セザルコト
ニ關スル法律案ノ兩案ヲ一括シテ第一讀會
ヲ開キマス——小川政務次官

第一 震災被害者ニ對スル租稅ノ減免
猶豫等ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

震災被害者ニ對スル租稅ノ減免猶豫
等ニ關スル法律案

第一條 政府ハ震災(昭和五年十一月二
十六日ノ震災及之ニ伴フ火災ヲ含ム以
下同ジ)ニ因ル被害者ノ震災地ニ於テ

納付スベキ昭和五年分ノ三種所得稅

第三期分、同第四期分、個人ノ營業收
益稅第二期分及乙種資本利子稅第二期

分ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ輕減
又ハ免除スルコトヲ得

第二條 政府ハ震災ニ因リ著シク利用ヲ
妨ゲラレタル土地ニ付命令ノ定ムル所

ニ依リ其ノ地租ヲ免除スルコトヲ得

第三條 政府ハ震災地ニ於テ納付スベキ
昭和六年分ノ三種所得稅、個人ノ營

業收益稅及乙種資本利子稅ニ限リ課稅
ニ關スル申告及申請並ニ課稅標準ノ決

定ニ關シ命令ヲ以テ特例ヲ設クルコト
ヲ得

第四條 政府ハ第一條又ハ第二條ノ規定
ニ依リ輕減又ハ免除セラルル租稅ニ付

其ノ處分ノ確定スルニ至ル迄税金ノ徵
收ヲ猶豫スルコトヲ得

第五條 第一條及第三條ノ震災地ハ命令
ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 第一條又ハ第二條ノ規定ニ依リ
輕減又ハ免除セラルル租稅ハ法令上ノ

納稅資格要件ニ關シテハ輕減又ハ免除
セラレザルモノト看做ス

前項ノ規定ハ直接縣稅ニシテ震災ニ因
リ輕減又ハ免除セラルルモノニ付之ヲ

準用ス

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二 國際決濟銀行ニ租稅等ヲ課セザ
ルコトニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

國際決濟銀行ニ租稅等ヲ課セザルコ
トニ關スル法律案

グ協定ニ基キ獨逸國ノ支拂フ年金ヨリ
成ル國際決濟銀行ノ資金及投資並ニ之ヨ
リ生ズル收入ニハ一切ノ租稅其ノ他ノ公
課ヲ課セス

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(政府委員小川郷太郎君登壇)

○政府委員(小川郷太郎君) 茲ニ議題トナ
リマシタ震災被害者ニ對スル租稅ノ減免猶
豫等ニ關スル法律案ノ説明ヲ致シマス、昨

年十一月二十六日ノ伊豆地方ニ於ケル震災
ノ被害ハ相當ニ激甚デアリマシテ、被害者

ニ對シテハ洵ニ同情ニ堪ヘナイ次第デアリ
マス、幸ニシテ火災ガ少カッタノデ、全體ト

シマシテハ其被害ハ比較的輕微デアリマシ
タガ、國稅納稅者等ニシテ損害ヲ受ケタル

者モ少クナイノデアリマス、即チ家屋ノ倒
潰、火災、其他營業用ノ用品、原料品ノ毀

損シタル等ノ爲ニ租稅ノ負擔力ノ減殺セラ
レタルモノ、アルコトハ、申スマデモナイ

コトデアリマス、納稅者ノ負擔力ノ減殺セ
ラレタル場合ノ救濟方法ニ關シテハ、現行

法中ニモ全然其規定ガナイ譯デアリマス
スガ、震災ノ如キ非常災害ニ對應スル方法

ト致シマシテハ十分デナイ憾ガアリマシ
テ、從來モ租稅ノ減免及ビ徵收ノ猶豫等ニ

付テ、特ニ救濟ノ方法ヲ講ジタルコトガア
ルノデアリマスガ、今回モ亦特別ニ是ガ救

濟ノ方法ヲ講ズルノ必要ヲ認メマシタノ
デ、本案ヲ提出シタル次第デアリマス、何卒

御審議ノ上速ニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ
希望致シマス(拍手)

次ニ議題トナツテ居リマスル國際決濟銀
行ニ租稅等ヲ課セザルコトニ關スル法律案

ニ付テ説明致シマス、世界大戰後「ヴェルサ
イユ」平和條約ニ基キ、獨逸國ハ舊聯合國

ニ對シ、賠償金ヲ支拂フテ居ルノデアリマ
スガ、其支拂ノ額及ビ支拂方法ニ付キマシ

テハ、種々問題ヲ生ジテ居リマシタノデ、
之ヲ解決スル爲メ關係各國ハ昭和四年二月

ニ財政專門家委員會、即チ「ヤング」委員會ヲ設置シマシテ、其對策ヲ研究セシメ、其報告ニ依テ同年八月以來、和蘭海牙ニ於テ會議ヲ開キ、昨昭和五年一月二十日ニ至リ、海牙協定ナル條約ヲ締結シマシタ、同條約ノ重要ナル一項目ハ、國際決済銀行ナル銀行ヲ設立シ、同行ニ於テ獨逸國ノ支拂フ賠償金ヲ受入レマシテ、之ヲ各債權國ニ分配スルト云フコトデアリマシテ、從來關係債權國ノ機關タル賠償委員會ヲ取替テ居リマシタ事務ヲ同行ニ移シタノデアリマス、此國際決済銀行ノ獨逸國ノ支拂ヨリ生ズル資金及ビ投資ニ關シテハ、海牙協定ノ條約國ハ一切ノ租税其他公課ヲ課セザル爲メ、必要ナル措置ヲ執ルト云フコトニナツテ居リマスノデ、我國ニ於キマシテモ法律ヲ制定致シマシテ、同協定ノ趣旨ニ副ヒタイト考ヘマス、何卒速ニ御協賛アラントヲ御願致シマス（拍手）

○議長（藤澤幾之輔君） 質疑ヲ許シマス—— 深澤豐太郎君

〔深澤豐太郎君登壇〕

○深澤豐太郎君 簡單ニ御質問ヲ申上ゲマス、昨年十一月二十六日ノ北伊豆ニ於ケル大震災ハ、其激甚ナルコトニ於テ關東及ビ奧丹後ノ震災以上デアット私共ハ思フノデアリマス、其免租及ビ輕減、猶豫ニ關スル法律案ガ提案セラレマシタ付テ、此事ニ關聯シテ政府當局ニ質問ヲ致シタイノデアリマス、此質問ハ樞密院、岸君等ヨリ致サルベキデアリマスケレドモ、兩君ハ與黨ノ地位ニ在リマシテ、當局トノ接觸頻繁デアリガ爲メ、御質問ニ及バナイト考ヘマス、小泉及ビ庄司兩代議士ハ共ニ御缺席デアリマシテ、質問ノ機會ヲ得マセヌノデ、私ヨリ代テ御質問致ス次第デアリマス

大震災直後ニ於キマシテ賜ハラレマシタル聖恩ノ優渥ナルコトニ付テハ、震災地一同感泣致シテ居ル所デアリマス、同時ニ又上下各方面ヨリノ救恤、殊ニ本院各位ノ厚キ御見舞ニ對シテハ、震災地地元一同深厚ノ謝意ヲ表シテ居ル所デアリマス、私ハ此法案ヲ見マシテ、是ハ只今政府委員ヨリ説明ノアリマシタ通り、當然爲サルベキコトヲ政府ガ爲サレテ居ルモノデアルト思フノデアリマス、地元民ハ此法案ノ決定セラレベキコトヲ勿論望ミデ居ルコトハ言フマデモアリマセヌケレドモ、地元民ノ要望致シテ居ル所ハ此法案ノ決定其モノデハナイノデアリマス、ヨリ以上進ンデ、政府ハ果シテ關東大震災及ビ奧丹後ノ震災ニ心配シタ通りノ心配ヲ、今度ノ北伊豆ノ震災ニ當テモ爲シテ呉レルモノデアアルカドウカト云フコトニ付テ、地元民ハ多大ノ關心ヲ持ツテ居ルノデアリマス、如何ニ政府ノ國庫窮乏ノ場合デアリマシテモ、所謂非常ノ場合デアリマスカラ、斯ノ如キ際ニハ最モ迅速機敏ナル處置ヲ執ラレテ然ルベキモノデアッタト思フノデアリマス、然ルニ地元民ヨリ幾多ノ請願ヲ致シテ居リマス、其請願ハ關東大震災ニ於ケル、殊ニ奧丹後ニ於ケル政府ノ處置ヲ前例トシテ請願ヲ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、未ダ其一ツモ解決ヲ致スコトガ出來ナイデ居ルノデアリマス、其地元民ノ前例ニ依ルノ如キ天災ニ對スル政府ノ處置トシテ、地元民ノ要望致シテ居ル所ヲ列舉致シマシテ、政府當局ニ於テハ果シテ斯ノ如キコトヲ爲シテ呉レルノデアリカ否カノ明答ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス、ソレハ町村ノ營造物ノ復舊ニ對シテ、果シテ補助ヲ致ス御考ガアルカドウカ、神社及ビ寺院ノ復舊ニ對シテモ是亦政府ニ於テ補助ノ考ガアルカドウカ、土木工事、即チ道路ノ破壞セラレタモノ、橋梁ノ破壞セラレタモノヲ復舊スルニ當テモ、政府ガ補助ヲ致スコトガ出來ルカドウカ、震災ニ依リ破壞セラレタル耕地、荒地ノ復舊ニ付テモ政府ノ方針ハドウデアアルカ、衛生設備ノ復舊等ニ付テノ補助ハドウ致スノデアリマスカ、是等ハ多クハ公ノ事デアリ

マスガ、ヨリ以上ニ個人ニ關シマシテハ、奧丹後ノ際ニハ恰モ同様温泉地域ノ事デアリマシタ爲メ、温泉旅館ノ復舊等ニモ多大ノ便宜ヲ與ヘラレタモノト、前例ニ見エルトデアリマス、即チ特別ノ低利資金ノ融通等ヲ致シテ、温泉地域ノ復舊ヲ圖ラセラレタ、今回ハ此取計モ見受ケマセヌ、又個人ノ住宅資金ニ付テモ未ダ御決定ヲ見テ居リマセヌ、生業資金ニ付テハ勿論何等施サレテ居リマセヌ、斯ノ如キコトハ今日私共ガ要望申サナイデモ、政府ハ其前例ニ依テ當然行ハルベキ管デアッタノデアアル、何故之ヲ今日マデ遷延シテ居ルノカ、地元民ハ免租ニ關スル法律ノ御決定ヲ見、或ハ震災直後ノ深甚ナル各方面ノ御厚意ニ付テハ、多大ノ謝意ヲ表シテ居リマスケレドモ、其謝意モ、感謝ノ辭モ、斯ノ如キ前例アル國家ノ施設ヲ抛擲セラレテ居リマシタ曉ニ於キマシテハ、應デ怨ミノ聲ト變ルノデハナイカト云フコトヲ恐レルノデアリマス、勿論之ヲ爲サラナイトハ私ハ申シマセヌガ、若シ爲サレマスルモノナラバ、一日モ早く此震災ニ苦シメ居ル者ニ安心ヲ與ヘテ戴キタイ、殊ニ御承知ノ通り、今日ハ關東震災及ビ奧丹後當時トハ違テ、非常ナル不況ノ底ニ在リテ、震災民ハ全ク一圓ノ現金ニモ窮シテ居ルト云フ状態デアッテ、相當ノ資金ノ融通ヲ見ナケレバ、其復興ハ到底期スルコトガ出來ナイ今日ノ状態ニアルノデアリマス、故ニ此苦シキ事情ヲ御諒察ニナリマシタナラバ、當議場ニ於テ明答ヲ與ヘテ、今直チニ之ヲ行ハナイデモ、行フ意思ヲ明カニスレバ、地元民ハ安心ヲ致シテ復舊復興ニ手ヲ染メルコトガ出來ルノデアリマスカラ、政府當局者ハ安心ヲ與ヘ爲ニ於テモ、明カナル御答ヲ御願致シタイト思フデアリマス

尙ホ御同致シタイコトハ、此震災ノ爲ニ大破壞ヲ見マシタ静岡縣清水港ノ築港破壞ノ復舊デアリマス、此復舊ニハ震災直後百

萬圓ヲ要スルト傳ヘラレマシタガ、内務省ノ計算スル所ニ依ルト、六十二萬圓ヲ要スルト云フコトデアッタ、六十二萬圓ガ、六十五萬圓カ存ジマセヌガ、此復舊ノ如キモノ一日早ク行ハナケレバ、一日ダケ災害ガ多クナルノデス、折角造リ上ゲタ岸壁ガ崩壞致シテ居ルノデアリマスカラ、崩壞致シタ儘ニ放任致シテ置ケバ、海水ノ出入ノ爲ニ日々其被害ハ甚シクナツテ行キマス、一日モ早く此岸壁ヲ元ノ通りニシナケレバ、折角造リ上ゲテアル岸壁内ノ築港ノ埋立工事ハ、日々破壊セラレテ行クノデアリマス、其他破壊セザル岸壁ニマデモ、岸壁ノ破壞サレタ部分ヲ抛擲シテ置キマス爲メ、多大ナ影響ヲ及ボシテ、震災直後直チニ手ヲ染メラルベキモノデアルト考ヘテ居リマスノニ、未ダ此工事ニ取掛ケテ居ラナイヤウデアリマス、此事モ序ニ政府ヨリ御明答ヲ煩ハシタイト思ヒマス、斯ノ如キコトハ此議場デ申上ゲルノハ最早迂遠ナノデアアル、疾ニ政府ハ豫備金ノ支出デアルトカ、或ハ責任支出ヲ以テ處分セラレベキモノデアアル、吾々ガ陳情ニ參リマシテモ、不幸ニシテ政府ニハ一錢ノ豫備金モ使ヒ果シテ無クナツテ居ル、責任支出ヲシタクモ國庫ハ窮乏シテ居ル、財政上ノ緊急處分ヲ願ヒタクトモ、其方法ヲ執テ下サラナイ、遂ニ此議會ニ臨ンダノデアリマスカラ、此議會中ニ於テ相當ノ處置ヲ執ラレンコトヲ御願スルト共ニ、是等ノ點ニ付テノ御明答ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス

〔政府委員小川郷太郎君登壇〕

○政府委員（小川郷太郎君） 深澤君ニ御答致シマス、只今ノ御質問ハ震災被害者ニ對スル租税ノ減免猶豫等ニ關スル法律案、其物ニハ觸レテ居ラレマセヌデ、寧ろ此震災ニ關聯シタ救済、低利資金、サウ云フコトニ付テ御尋デアッタヤウデアリマス、問題ガ外レテ居ルヤウデアリマスケレドモ、此際一寸簡單ニ御答シテ置キマス、低利資金ノ

事ニ付キマシテハ、既ニ一月二十八日ニ大蔵省預金部資金運用委員會決定シテ居リマス、ソレハ「融通アスルコトニナルト思ヒマスカラ、左様御安心ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ其他ノ色々ノ補助等ニ關シマシテ御話ガアリマシタガ、是ハ追加豫算ヲ出シマス積リデアリマシテ、何レ追加豫算ヲ出シマシタ時分ニ、詳細ニ御話ヲ申上ゲルコトニナルダラウト思ヒマス、大體ノ方針ハサウ云フコトニナツテ居リマスカラ、是モ左様御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○議長(藤澤幾之輔君) 中村嘉壽君

(中村嘉壽君登壇)

○中村嘉壽君 昨ハ大蔵當局ニ國際決濟銀行ニ租税等ヲ課セザルコトニ關スル法律案ニ付テ御伺シタイノデアリマス、先ツ此銀行ニ參加スルコトニ政府ハ御決定ナサツタノデゴザイマセウカ、其結果今急イデ斯様ナコトヲ決メ置カナケレバナラス必要ガアルノカドウカ、既ニ各國ハ此問題ニ付テ決定ヲシタ國々ガアルノデアラウカト云フコトヲ、一ツ御伺シタイノデアリマス

其次ニハ此銀行ノ資本額ハ幾ラニ相成ルノデアルカ、資本ノ額ハ各國如何ナル割合ニ依ツテ出スノデアルカ、ソレカラ此銀行ヲ設立スルニ至ツタ歴史ヲ伺ヒタイノデアリマス、何處ガ一體「ムーチン・パウ」デアリカ、何處ノ國ガ一番率先シテ斯様ナコトヲヤツタノデアルカ、極メテ公平ナ議論ノミニ依ツタノカ、或ハ「セルフ・インテレス」ト云フコトヲ考ヘテヤルヤウナ國々ガチヨイ「アル」左様ナモノニ捲込マレルト云フコトハ、餘程考ヘナケレバナラスコトデアリマスカラ、斯様ナコトヲ伺フノデアリマス

デゴザイマスガ、各國ハ悉ク此租税公課ト云フモノヲ免除スルコトニ實際ナツテ居ルノカドウカ、其進ミ方ダウ云フ工合ニナツテ居ルカ、前ノ説明ト重複スルヤウデアリマスガ、之ヲ御伺シテ置キタイノデアリマス

今一ツハ此銀行ト、今日マデ斯様ナ國際的ノ取引ヲシテ居タ銀行トノ關係ト云フモノハ、如何ナル風ニナリ行クモノデアルカト云フコトヲ御伺シタイノデアリマス

私ガ更ニ御伺致シマスコトハ、斯様ナ機關ガ出來マシタ後ニハ、今ノ世界ノ不景氣ト云フノハ、恐ラク金ノ偏在ニ存スルコトデアルト云フコトハ、各人悉ク之ヲ認メル所デアリマスガ、近頃歐米ノ學者ノ間ニ於キマシテモ、實業家ノ間ニ於キマシテモ、金ノ偏在ヲ防禦スル何等カノ方法ヲ究ムル必要ガアルト云フコトヲ言フテ居リマス、斯様ナ機關ガ出來マシタラバ左様ナコトニマデ及ンデ、例ヘバ北米合衆國ニハ世界ノ金ノ四割ガ偏在シテ居ル、此偏在ヲバ何トカシテ他ニ「デストリビュート」スル考ガアルカ、左様ナコトニマデ仕事ヲスル考ガアルカト云フコトヲ御伺シタイノデアリマス

要スルニ此銀行ノ出來マシタ結果、動モ致シマス今日ノ世界政治ノ上ニ現ハレマスヤウニ亞米利加ガ多ク之ヲ「コンツロー」ル「スルヤウナ結果ニナツテ、サウシテ我ガ日本ノ如キハ詰ラナイ目ニ遭ヒハシナイカト云フコトノ虞ガアルノデアリマス、大蔵當局ニ御伺シマスコトハソレダケデアリマスガ、是ト關聯致シマシテ外務當局ニ御伺致シタイト思ヒマス、動モ致シマス我ガ日本ノ政府ハ、色々ナコトニ歐米各國ノ言フコトデアラナラバ之ニ參加シヨウト云フ様ナコトガアル、何デモ其效果ガ如何様デアラウトモ、御附合ヲシテ居レバ宜シイト云フヤウナ考ヲ以テマシテ、色々ナ國際關係ヲ會議ナシカニ付テ左様ナ好イ加減ニ參加ヲシテ居ルコトガアル、此參加ヲシテ居ル

コトニ於テ日本ノ國費ヲ費スト云フヤウナコトハ勿論ノコト、其以外ニ於テ頗ル迷惑ナ「エンタングルメント」其結合ヒ引懸テ行クコトガアルノデアリマス、米國ノ如キハ常ニ左様ナコトニ氣ヲ付ケテ居リマシテ、苟モ何カノ問題ガアリマシタラバ、左様ナ關係ニ付テハ自分ノ利益ニナル間ダケハ參加スルケレドモ、不利益ニナル場合ニ於キマシテハ、例ヘバ自分ガ提議シタ國際聯盟ト云フヤウナモノニデモ參加ヲシナイト、斯ウ云フ考デ居ル、日本ハ左様ナ考デナシニ、言ハレルト聽イテ居ル、何デモ御附合スルガ宜シイト云フヤウナコトガ總テ現レテ居ル、色々ナ國際關係ノ會議ガアリマス、勞働會議ヲ始めテ致シマシテ、其他色々ナ會議ガアリマスガ、是等ノ會議ニ參加シテ果シテ其效果ヲ舉ゲテ居ルカドウカ、又此效果ヲ舉ゲヨウト云フコトヲ努力ヲシテ居ルカドウカト云フコトヲ、私ハ疑フテ居ルノデアリマス、殊ニ外務當局ニ更ニ其一ツノ例トシテ御伺致シタイト思ヒマスコトハ、先年カラ屢、私ハ議會ニ於テ御伺シタコトデアリマスルガ、歐羅巴ニ小サナ一ツノ國ガアル、「ルーマニヤ」ト云フ國ガアリマスルガ、世界戦争ノ後「ベツサラビヤ」問題ト云フノガアッタ、此「ベツサラビヤ」問題ト云フ問題ニ付キマシテ、英吉利ト佛蘭西ト日本ト伊太利ト、ソレカラ何處デシタカ、五箇國ガ參加ヲシテ居テ、ソコデ私ガ三四年前ニ議會デ幣原大臣ニ御伺シマシタ時ニハ、伊太利ダケガマダ之ニ參加シテ居ナイ、伊太利ト日本ガ參加シテ居ナイダケデアリカ、伊太利ガ參加ヲスルナラバ日本モ「ベツサラビヤ」ラバ「ルーマニヤ」ノ領土ニ許スト云フコトヲ承認スルト云フ御返事ガアッタノデアリマス、然ルニ既ニ伊太利ガ之ニ承認ヲ與ヘテ、唯獨リ日本ダケガ此大キナ問題ヲ背負テ、サウシテ抜キモ差シモナラス關係ニナツテ居ルノデアリマス、伊太利ガ之ニ承認ヲ與ヘマ

シテカラ既ニ年月ガ經テ居リマスケレドモ、其處ニ斯様ナ羽目ニナツテ居ルコトハ、日本ノ政府ニ取リマシテハ頗ル迷惑千萬ナコトデアラウト私ハ思フ「ルーマニヤ」ノ人々ガ之ヲ頗ル怨ミデ居ルコトハ當然ノコトデアリマスガ、一面ニ於キマシテハ之ヲ遠慮ヲシテ云ルト云フコトハ、露西亞ノ方面カラニ對シテノ遠慮ガアルノデアリマセウガ、斯様ナ遠慮ヲ唯其儘ニシテ置イテ、日本ノ國際信義ヲ失フト云フヤウナコトハ、餘程考ヘナケレバナラスコトデヤナイカト思フノデアリマス、之ニ付テ私ハ政府ハドウ云フコトヲ爲サルノカ、是モ御伺致シテ見タイ

ソレカラモウ一ツハヤハリ歐羅巴ノ關係ニ付キマシテ、我ガ日本ハ歐羅巴ノ主ナル國々トハ當然色々ナ關係モアルノデアリマセウケレドモ、多クハ關係ノ薄イ所ガアル、其關係ノ薄イ所ニ大使館ガアリ公使館ガアリマシテ、而モ此機關ガ適當ニ働イテ居ナイノデアリマス、適當ニ働カユナ「スタッフ」ガ置イテナイ、斯様ナコトデハ甚ダ遺憾千萬デアルカラ働カセルト云フノデアリナラバ、適當ナ人ヲ置カガ宜シイ、必要デナイガ唯御附合デアルト云フナラ、是ハ廢メラルガ宜イト常ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ付テ政府ハドウ云フヤウナ御考ヲ御持デアアルカ

ソレカラヤハリ是モ露西亞トノ關係デアリマスルガ、日本ト「ソビエト」政府トノ間ニ色々ナ紛擾ガアリマス中ニ、特ニ漁業問題ト云フノガ中々面倒ナ問題ニナツテ參リマシテ、今現ニ此問題デ當局ハ惱ミデ居ルノデアリマセウ、實業家モ非常ナ惱ミヲシテ居ルノデアリマス、此問題ニ付テハ私共ハ甚ダ遺憾ト思フテ居リマシタコトハ、往年我ガ日本ノ國家ガ莫大ナル金ヲ投ジタミナラズ、精銳ナル我ガ日本ノ軍人ノ鮮血ヲ流シテ取リ得タ所ノ、南樺太ト露領沿海州ノ漁業權ト云フモノハ、相並行シテ行

カナケレバナラスモノデアツタ、所ガ其後ノ協約ニ依リマシテ樺太ノ南半分ト云フコトニ付テハ勿論手ヲ著ケルコトガ出來ナカッタガ、漁業條約ニ於キマシテハ餘程日本ガ讓歩シタ形跡ガアル、此讓歩シタト云フコトガ實ニ今日ノ累ヲ爲ス原因ヲ成シテ居ルノデアリマスガ、斯様ナコトハドウ云フヤウナ御考デ爲サレタノデアアルカ、是モ御伺シタイノデアリマス、今日ハ朝鮮銀行ノ問題ガ世ノ中ニ叫バレテ居リマシテ、朝鮮銀行ノ當局ノミナラズ實業家ハ非常ナ苦ミヲシテ居リマス、年々歳々朝鮮銀行ヲ經テ二千萬留ノ金ヲ融通ヲシテ居、タ漁業家ガ、此朝鮮銀行ノ支店ガ撤廢ヲサレタリ、或ハ玆ニ何等ノ解決ヲ見ナイト云フヤウニ相成リマシテハ、漁期ヲ目ノ前ニ致シマシテ非常ナ迷惑千萬ナコトデゴザイマスルガ、之ニ付テハ何等カノ解決ノ曙光ガ認メラレテ居ルカドウカト云フコトヲ御伺シタイ

モウ一ツ是ハ小サナ問題ノヤウデアアリマスケレドモ、私ガ此頃露西亞ニ廻リマシタ時ニ氣ノ付イタコトデアリマスカラ御伺シテ置キマス、ガ莫斯科ノ大使館ニ朝鮮人デ朴ト云フ人ガ居、此朴ト云フ人ガ日本人ノ案内ヲシタリ、通譯ヲシタリシテ非常ナ便利ヲシテ居、タノデアリマス、勿論朝鮮人デアリマスカラ日本臣民デアリマスガ、此人ガ昨年私ガ行ク一二日前ニ逮捕サレテ殺サレタノカ、「ハービン」ニ送ラレタノカ、ドウナツタカサッパリ分ラナクナツテ居リマス、此事件ニ付テハドウ云フヤウナ處置ガ取ラレテアルカト云フコト、此朴ト云フ朝鮮人ガ捕ハレタト云フコトニ憤慨致シマシテ、日本ノ大使館ノ給仕ヲシテ居、タカ、小使ヲシテ居、タカノ金某ト云フ者ガ憤慨シテ、遺書ヲ殘シテ自殺ヲシテ居リマス、此事件ハドウナツテ居ルカト云フコトモ御伺シタイと思フノデアリマス、今一ツハ露西亞ガ近頃色々ナ物資ニ關シマシテ「ダンピング」ヲ行、テ居ル、殆ド木材ト……

○議長(藤澤幾之輔君) 餘議ニ涉ラナイヤウ……

○中村嘉壽君(續) 是ハ關係ガアル、大ニ關係ガアリマス、此「ダンピング」ニ付キマシテハ、色々ナ物ヲバ「ダンピング」ヲ致シマシテ、各國ガ皆困、テ居ルノデアリマス、今度ノ議員商會會議ニ於キマシテモ、露西亞ノ「ダンピング」ニ對シテ如何ナル方法ヲ取ルベキカト云フコトガ言ハレテ居ルノデアリマスガ、我ガ日本ノ政府ニ於キマシテハ、左様ナコトニ付テハ何カ適當ノ手段ヲ講ジテ居ラレルカドウカ、斯ウ云フコトデアリマス

ソレカラ私ハ今ハ餘議ニ涉、タト云フヤウナ御話ノヤウデアアリマスケレドモ、決シテ餘議ニ涉、タノデアアリマセヌ、私ハ日本ノ外交ノ根本的ノ問題ニ付テ玆ニ御話ヲシタイと思フ、凡ソ今日ノ外交ニ於キマシテハ日本デハ日本ガ中心デアルナラバ、東ノ方ニハ支那ト云フ大キナ國ヲ持、テ居ル、西ノ方ニハ亞米利加ガアル、北ノ方ニハ露西亞ガアル、此三ツノ問題ニ付テ最モ努力スベキデアアルニモ拘ラズ、歐羅巴ノ極メテ關係ノ少イ所ノ國々ニ付テ非常ナ努力ヲシテ居ラレル、而モ其效果タルヤ頗ル稀薄ナモノデアアル、斯様ナコトガ根本的ニ誤、テ居ルノデアリマスカラ、其誤、タ所ガ根源ニナツテ、今日ノ此法律案ナンカニ付テ吾々ガ論議シナケレバナラスヤウナ風ニナツテ居ルノデアアル、餘計ナコトニ關係ヲスルコトハ必要ハナイト云フコトデアアル、而モ餘計ナコトニ相當ナ餘裕ガアツテヤルナラバ宜シイノデアリマスケレドモ、餘裕ナクシテ而シテ自分ノ爲スベキ所ヲ爲サナイ、玆ニ私ハ爲スベキ所ヲ爲サナイト云フ一ツノ例ヲ申上、ゲテ見タイ

最近私ハ米國ニ寄、テ來タノデアリマスガ、日米新聞ト云フノガアリマス、此日米新聞ノ熊野御堂ト云フ人ガ自ラ細君ヲ連レテ米國ニ上陸ヲシタ、良人ハ上陸スルコトガ出來タケレドモ、細君ハ上陸ヲスルコトガ出來ナイヤウニナツテ來タ、ソレハ日米條約ノ解釋ニ付テ、米國政府ハ狹義ニ解釋ヲシテ居ル、又吾々ハ之ヲ廣義ニ解釋シテ「ツレード」ニ從事シテ居ルト云フコトハ、日本ノ新聞ニ從事シテ居ルト云フコトハ、新聞ニ從事シテ居ルノデアアルカ、之ニ從事シテ居ル者ハ自ラ自由ニ渡航スルコトガ出來、自由ニ自ラノ細君ヲ呼ビ寄セルコトガ出來ルヤウニナツテ居ナケレバナラス管デアリマス、然ルニモ拘ラズ米國ノ移民局デハ之ヲ拒絕シテ、非常ナ悲慘ナ問題ガ起、タ、此問題ニ付テ我ガ在留同胞ノ人々ハ非常ニ憤慨致シマシテ、日米新聞社ガ訴訟ヲ起シテ「サンフランシスコ」ノ地方裁判所デハ之ヲ拒否サレタケレドモ、「サーキット・コート」ニ於テハ遂ニ勝訴シタノデアリマス、勝訴シタノデアリマスカラ、此勝訴ヲ稱ニシテ、日本ノ新聞ナリ或ハ商業ニ從事シテ居ル人ノ細君ヲ亞米利加ニドシム、呼ビ寄セルヤウナ交渉ヲ政府ガシテ然ルベキデアルト云フコトヲ、當事者達ガ頻ニ大使館ニ訴ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、之ヲ少シモ顧ミテ居ナイ、其爲ニ在留同胞ハ頗ル憤慨シテ居ルノデアリマスルガ、一面ニ於キマシテ、若シ斯様ナコトガ圓滿ニ行クト云フコトニナリマシタナラバ、北米合衆國中ニ居ル我ガ日本人デアツテ、サウシテ色々ナ「ツレード」ニ從事シテ居ル人々ガアル、此「ツレード」ニ從事シテ居ル人々ノ細君ヲ自由ニ來サセルコトガ出來ルノデアリマス、若シソレガ出來ルトスルナラバ「クオータ」ナ「ナンカ」ニ入、テ百三十名ヤ百四十名ノ者ヲ入レルヨリモ、ヨリ多クノ人々ガハイレルノデアリマス、斯様ナ事柄ガアルニモ拘ラズ、我ガ日本ノ政府ハ何等之ニ關シテ努力ヲシヨウトシタ形跡ガナイ、其一方ニ於テハ斯様ナコトガアル、支那ノ人々モ無論東洋人トシテ排斥ヲ受ケテ居ル、所ガ支那

ノ方ハ中々氣ガ利イテ居ル、當事者モサウデアリマスガ、當局者モ米國政府ニ喰入、テ居リマスガ爲ニ、支那人々ハ毎年五百名位ヅツ亞米利加ニハイ、テ居ルノデアリマス、是ハ外交官ノ腕ノアル結果デアアル、支那人ヲ絕對ニ禁止シテ居ルト云フコトガアルニモ拘ラズ、支那人々ハ實業ニ從事シテ居ルト云フ證明ガアルナラバ、ドシナ人デモハイルコトガ出來ルト云フノデ、五百名ノ人々ガ毎年ハイ、テ居ル、日本人ハ一人モハイ、テ居ナイノデアリマス、此問題ナンカハ在留同胞ノ人々カラ見マスと云フト、非常ニ重大ナ問題デアアル、此重大ナ問題ニ對シテ日本ノ當局ガ一向冷然トシテ之ヲ顧ミテ呉レナイ、是ハ諸君ハ遙ニ日本ニ居、テ御承知ナイノデアリマセウ、或ハ又外務當局ノ人々モ左様ナ報告ガナイトスルナラバ、又役人達ガソレ、冷淡デアルトスルナラバ、斯様ナ報告ハナイノデアリマセウケレドモ、多年ノ間血ト涙ニ依、テ相當ノ財産ヲ築キ上、相當ノ地歩ヲ占メ、而シテ彼等ハ一家ヲ成シテ居ルニモ拘ラズ、自ラノ夫人ヲ呼ブコトモ出來ナイト云フヤウナ、人道上カラ見マシテモ、連モ吾々ガ許スコトガ出來ナイヤウナ氣ノ毒ナ狀態ニ在ル、斯様ナ狀態ヲ顧ミナイデドウスルノカト云フコトヲ私ハ同ヒタイノデアリマス

ソレカラ又私ハ更ニ根本ニ廻、テノコトデアリマスガ、一體外交官ノ養成ト云フヤウナコトニ付キマシテ、是モ屢、幣原外務大臣ニ私ハ御尋シタノデアリマスガ、幣原外務大臣ハ、君ト同意見デアルト言ハレテ居ル、外交官ト云フノハ恐ラク帝國大學ノ優秀ナル者ガハイ、テ來ルデアリマセウガ、室育チニナル結果、或ハ唯儀禮ヲ學ブトカ、事務ヲ學ブト云フコトガ外交ノ總テデアアルカノ如ク心得テ居リマシテ、本當ニ外國ノ人々ト交渉ヲスルヤウナ語學ノ力、實際ノ力、或ハ膽力ヲ持、タナイト云フヤウナ爲ニ、頗ル在留邦人達ト云フモノハ迷惑ヲ蒙、

テ居ル、到ル處ニ於テ——私ハ總テトハ申シマセヌケレドモ、大方ノ在留同胞ト云フモノハソレ等ノ領事トカ公使トカ大使トカ云フモノニ對シテ、大抵反感ヲ持ツテ居ル、彼等ハ在留同胞ノ人々ガ言葉ヲ同ジクシ、頭ノ働キヲ同ジクシ、色々ノ風俗習慣ヲ同ジクシテ居ル所ノ少數ノ同胞ヲスラモ手ナヅケルコトガ出來ズシテ、言葉ニモ通ゼズ、歴史モ通ゼズ、或ハ其國々ニ友達ヲ澤山持タズシテ、何ノ外交ガ出來ルカト私ハ思フ、此外交ノ刷新ト云フコトニ付テハ、人ヲ養成スルコト云フコトガ最モ主ナ事柄デアアル、唯霞ケ關ニ居テ鰻上リ、心太突出シニ、何デモカデモ外交官試験ヲ通ラナケレバ外交官ニナレナイト云フヤウナ風ナコトデハ、遂ニ外交ヲ刷新スルコトハ出來ナイ、而モ何處カ一ト處ニ二年カ三年居ルト云フト、幾ラカ物心モ附イテ來ル、言葉モ分ツテ來ル、友達モ出來テ來ル、何カ是カラ働イテ見ヨウト云フ時ニナルト、直グ他ニ轉任スルカラ、本當ノ效果ト云フモノハ少シモ擧ゲテ來ナイノデアリマス、斯様ナ事ヲ改ムルノ御考ガアルカドウカ、往年幣原外務大臣ハ、君ト同ジヤウナ考ガアルガ、文官任用令ガアルモノデアラカドウニモ出來ナイト云フ御話デアッタノデアリマス、文官任用令ガアルナラバ、之ヲ改正スルナリ何トカ途ガアリサウナモノデアアル、幣原外務大臣ガ若シ私ト同ジヤウナ考ヲ持ツテ居ラル、ナラバ、今日デハ總理ノ臨時代理ヲ勤メテ居ラレルシ、而モ自分ノ思フ事ハ何デモカンデモヤツテ除ケル立場ニ在ルノデアリマス、本當ニ良イト考ヘラレルナラバ之ヲ改正シテ職キタイ、政府ハ左様ナ事ニ向ツテ突進スル考ハナイカドウカ

間南米ノ各國ヲ廻リテ來タノデアリマスガ、南米ノ各國ハ御承知ノ通り「ブラジル」ヲ始メ吾々ト同ジヤウナ色ノ人ガ澤山居ル、同ジヤウナ色ノ人々ガ居リマシテ、サウシテ彼等ハ吾々ヲバ迎ヘテ居ル、迎ヘテ居ルミナラズ、例ヘバ「ボリヴイア」ナント云フ所ハ近頃聞キマスルト、白人入ル可ラズ、是カラ「ボリヴイア」ニ入ルモノハ色ノ著イタ者デナケレバナラス、其目的ハ日本人ヲ澤山入レル考ラシイ、「ブラジル」ヲ如キモ是亦盛ニ日本人ヲ迎ヘタイト云フヤウナ考ヲ持ツテ居ル、或ハ智利ニ致シマシテモ、其他「パラグワイ」ニ致シマシテモ、盛ニ日本人ヲ入レヤウトスル所ガアリマスガ、左様ナ所ニ政府ハ力ヲ盡シテ居ナイ、左様ナ所ニ力ヲ盡シテ居ナイト云フコトハ大使ヲ任命スル、公使ヲ任命スル、其他書記生デモ何デモ南米ニ行クノハ、首前ノ人ガ行クト云フ氣持ヲ政府ハシテ居ル、當人モ左様ナ考ヲ持ツテ居ル、世間ノ人モ亦左様ナ風ナ事ヲ考ヘテ居ルカラ、本當ニ立派ナ人ガ行カナイ、行カナイノミナラズ、行ツテモ左様ナ氣持デ本當ノ働ガ出來ナイト云フヤウナ狀態ニナツテ居ル、斯様ナ狀態ハ私ハ大ニ改メナケレバナラスト思フ、是カラ先キ歐羅巴並ニ北亞米利加諸國ハ學ビニ行ク所デアツテ、吾々ノ得ル事ハ極メテ少ナイノデアリマス、此得ル所ノ最モ多イ「ブラジル」一國ヲ以テ致シマシテモ、尙且ツ日本ノ領土ノ二十倍ヲ有シ、耕作反別カラ申シマスルナラバ六十六倍ノ面積ヲ有シテ居テ、吾々ノ行クノ手ヲ擴ゲテ待ツテ居ルノデアリマス、斯様ナ所ニ任命スル所ノ大使ナリ公使ナリ、其他ノ外交官ヲバ優遇スル考ガアルカナイカヲ御伺シタイノデアリマス

尙ホ後ニ質問スル事ガアルカモ知レマセヌガ、先ツ是ダケヲ御致シマス（拍手）
○政府委員（小川郷太郎君） 中村君ニ御答致シマス、第一ニ斯ノ如キ法律ハ急イデ出サナクテモ宜カラウ、他ノ國ハドウナツテ居ルカト云フコトヲ御尋ニナリマシタガ、他ノ國ハ斯ノ如キ法律ガ段々出來テ居リマス、第一ニ瑞西ハ千九百三十年二月二十六日國際決濟銀行設立條例ヲ發布シマシテ、廣汎ナル免稅規定ヲ設ケテ居リマス、英吉利ハ千九百三十年ノ財政法ニ依リマシテ、ヤハリ免稅規定ヲ設ケテ居リマス、佛蘭西ハ耳義、獨逸等ハ海牙協定ヲ法律ヲ以テ施行シテ居リマスカラ、別段免稅法律ヲ制定スル必要ガナイノデアリマス、伊太利ハ必要アルニ於テハ、海牙協定實施ニ關スル五月五日附緊急勅令ニ基キマシテ、大藏大臣ノ命令ヲ以テ免稅處置ヲ執ルト云フコトニナツテ居リマス、大體外國ノ方ハ既ニ斯ウ云フヤウナ法律ガ出來テ居ルノデアリマス

第二ニ國際決濟銀行ノ資本金ハ幾ラデアアルカト云フ御尋デアリマシタ、是ハ五億瑞西金法——一億弗ナンドデアリマス
ソレカラ第三ニハ、株ヲドウ云フヤウニ割當テカト云フコトデアリマスガ、是ハ二十萬株ニ分チマシテ、英吉利・佛蘭西・獨逸・伊太利・白耳義ノ各中央銀行、日本デハ日本銀行ノ爲ニ行動スル日本興業銀行及ビ米國銀行團、ソレガ均分ニ引受ケルト云フコトニナツテ居リマス、其他ニ小サイ國デハ、和蘭・瑞西・瑞典・埃地利・匈牙利・チエツク・ダンチヒ・丁抹・芬蘭・匈牙利・波蘭・羅馬尼等ノ中央銀行デ、四千株程引受ケルト云フコトニナツテ居リマス
ソレカラ第四ニ、何處ノ國ガ主トナツタカト云フコトデアリマスルガ、是ハ日英佛・獨・白・米ト云フヤウナ國ガ主ニナツテ居リマス、是等ハ條約ヲ拵ヘルコトニ關係シタ主ナルコトニナルノデアリマスカラ、外交問題デアルト思ヒマス
ソレカラ沿革デアリマスガ、沿革ハ「ドーズ」案トカ「ヤング」案トカ、賠償金ニ混ミ入ツタ沿革ガアリマスカラ、委員會デ能ク御話ヲ致シタイト思ヒマス
本社ハ何處ニ在ルカト云フコトデアリマスガ、是ハ瑞西デアリマシテ、所在地ハ「バーゼル」デアリマス、ソレカラ支店ハドウカト云フコトデアリマシタガ、支店ノ計畫ハ今アリマセヌ、ソレカラ國際決濟銀行ト金ノ關係ニ關聯シテ御尋ガアリマシタガ、是ハ國際決濟銀行デアリマスカラシテ、金ノ關係ニ直スト云フヤウナ使命ヲ持ツテ居ルモノデハアリマセヌ、御尋ノコトハ關係ナイモノト考ヘマス

○政府委員（永井柳太郎君） 中村君カラ外交ニ關シテ數箇條ノ御質問ガアリマシタカラ、簡單ニ御答致シタイト存ジマス
第一ニ、日本ハ從來日本ニ直接ノ利害關係ノ少ナイ問題ニ對シテモ、歐米諸國ノ計畫スル事業デアレバ、直チニソレニ追隨スル弊風ガアツタ、國際決濟銀行ノ決定ニ參與シタコトモ、亦サウ云フ精神カラ出タノデハナイカト云フ御質問デアツタト存ジマス、御承知ノ通り今日ノ國際關係ハ非常ニ複雑デアリマシテ、巴爾幹半島ニ起ツタ一小事件デモ、世界ノ騷亂ニナルコトガゴザイマス、又佛蘭西ガ「ルール」ニ兵ヲ入レルト云フヤウナコトカラ、世界各國ノ經濟界ニ重大ナル影響ヲ與フルト云フヤウナ結果ガ起リマス程、國際關係ハ密接デアリマス、日本ト致シテハ、今日世界各國ニ於ケル大小ノ出來事ニ對シマシテ、出來ルダケ注意ヲ拂フノミナラズ、出來ルダケ列國ト協調致シマシテ、世界平和ノ確保、世界經濟ノ進歩ノ爲ニ貢獻スルコト云フコトハ、是ハ當然ノコトデアルト存ジマス（拍手）外國ノ中ニハ自分ノ國ニ直接ノ利益ガアルコトデナケレバ、決シテ關係ヲシナイ國モアルト云フ御話デゴザイマシタガ、自分ノ國ニ利益ガナケレバ、何事ニモ關係ヲシナイト云フ國ガアルカモ知レマセヌ、併シ日本ハ自分ノ國家ノ存立利益ノ爲ニハ、萬全ノ努力ヲ致

シマスと同時に、更ニ世界文化ノ進展ニ對シテモ、人類ノ生活安定ノ爲ニモ貢獻スルト云フ、大イナル抱負ガナケレバナラナハ外交存ジマス(拍手)此精神ニ依テ吾々ハ外交ノ方針ヲ樹テ、居ルノデアリマシテ、此度ノ國際決濟銀行ノ如キハ、是ハ世界金融ノ爲ニモ有意義ナ事業デアリ、又當然獨逸カラ賠償金ヲ取ルベキ權利ヲ有シテ居ル日本ノ利益ノ爲ニモ必要ナ事業デゴザイマシテ、此國際決濟銀行ガ設立サレコトニナリマシテ、此度ノ海牙ノ協定ガ實現スルコトニナリマス、日本ハ來ルベキ三十七箇年ニ互リマシテ、年々一千三百二十萬「ライヒスマルク」ノ金ヲ受取ルト云フコトガ出來ルノデアリマシテ、日本ノ國家ノ利益カラ考ヘマシテモ、亦世界ノ國際金融ノ成長ノ爲メニモ、重大ナル意義ヲ持テ居ルト存ジマス

ソレカラ第二ニ、是ハ國際決濟銀行ニ直接ノ關係ハナイヤウニ存ジマシタガ、日本ガ列國ニ兎角追隨スルト云フコトノ例示トシテ、伊太利デサ(羅馬尼ガ)「ベッサラビヤ」ヲ併合スルコトニ承認ヲ與ヘタノニ、日本ダケガマダ「ベッサラビヤ」問題ニ對シテ列國ト歩調ヲ一ニセナイト言ハレタガ、例ヘバ歐羅巴諸國ガ全部「ベッサラビヤ」問題ニ對シテ同一ノ歩調ヲ取リマシテモ、日本ハ日本獨自ノ立場ガアリマス、ソコヲ考慮シテ、列國ニ追隨シテ居ラヌト云フコトノ、是ハ一ツノ例ニナルノデアリマス、此質問ヲ御出シニナツタコトソレ自體ガ今日ノ政府ノ外交方針ハ、出來ルダケ世界ノ各國ト協調ノ精神ヲ持テ居ルケレドモ、日本獨自ノ存立ニ對シテハ忠實デアルト云フコトヲ明示シテ居ルト存ジマス

ソレカラ第三ニ、政府ガ大使館ヤ公使館ヲ色々ナ場所ニ設置シテ居ルガ、其多クハ御付合ヒデハナイカト云フ意味デアツタカト存ジマス、政府ノ方針ト致シマシテハ、現在經濟的關係ガ密接デアリ、又文化的交渉ノ

親密デアル土地ニ大使館、公使館ヲ設立致シマスルダケデナク、將來經濟的關係ヲ密接ナラシメ、國際的關係ヲ親密ニスル必要ナル所ニモ、出來ルダケハ在外公館ヲ設ケタイト云フ方針デゴザイマス、例ヘバ先年露西亞ト國交ヲ回復致シマシタ當時ノ如キハ、其國交回復ノ基本條約ヲ締結シタ當時ハ、貿易關係モ極メテ微々タルモノデアリマシタガ、其國交回復ノ條約ヲ締結シタ大使館ヲ相互ニ開イタ結果、今日マデ數箇年ノ間ニ於テ、既ニ日露ノ貿易額ハ三倍ノ多キニ達シテ居ル、日本ノ露西亞ニ對スル輸出額ダケデ申シマスレバ、實ニ十倍ニ増加シテ居ルノデアリマス、又土耳其ノ如キ國トモ初メテ全權大使ヲ交換ヲ致シマシタガ、其全權大使ヲ交換致シマシテ、相互ノ關係ヲ密接ニ致シタ結果ハ、今日日本ノ土耳其ニ對スル輸出ハ著シク増加シテ居ルノデアリマス(拍手)現政府ガ大使館、公使館ヲ各所ニ開キマスルノハ、決シテ外國ニ對スル追隨デハナク、日本國民ノ生活權ヲ全世界ニ確立シタイト云フ、其精神カラ出テ居ルノデアリマス(拍手)

ソレカラ第四ニ、北洋漁業ニ關シテ政府ガ露西亞ニ讓歩ヲシタト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、北洋漁業ニ關シテ政府ガ露西亞ニ讓歩ヲシタト云フコトハ、ドウ云フ意味デアリマスカ、其意味ガ明瞭デアリマセヌ、或ハ別ノ機會ニ御尋下サツタ方が能ク御説明スルコトガ出來ルカト存ジマス

ソレカラ第五ニ、莫斯科ノ大使館ニ於テ朝鮮人ガ自殺ヲシタト云フコトノ御話デアリマシタガ、此事實ハ私ハ今詳細ニ記憶シテ居リマセヌ、是ハ取調ベタ後ニ御答ラシタイト思ヒマス

ソレカラ第六ニ、露西亞ノ「ダンピング」ニ對シテ、政府ハ之ヲ放任シテ居ルト云フヤウナ意味ノ御話ガゴザイマシタガ、今日ハ戰後經濟ノ建直シノ必要カラ、各國ニ「ダンピング」ノ危險ガアルノデアリマス、此

「ダンピング」ニ對シテ、日本ノ産業ヲ防禦シテ行クト云フコトハ、極メテ大切ナル仕事デアリマスカラ、政府ト致シマシテハ、四省會議ト云フモノヲ設ケマシテ、海外貿易ニ關係アル四省ノ首腦部ガ集リマシテ、早クカラ此日本ノ産業ヲ確立シテ、殊ニ國際上ニ於ケル競爭ニ對シテ、如何ニ日本ノ産業ヲ防禦スルカト云フコトノ協議ハ致シ、且ツ方針ヲ樹テ、居ルノデアリマスガ、外國ノ「ダンピング」ニ對シテ日本ガ如何ナル方針ヲ執リ、如何ナル手段ニ出ルカト云フヤウナコトハ、此席上デ御報告申上ゲナイコトガ適當デアラウト思ヒマス、唯決シテ之ヲ等閑ニ付シテ居ナイト云フコトハ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス(拍手)

ソレカラ第七ニ、米國ノ熊野御堂ノ夫人ノ入國ニ關スル問題ニ付キマシテ御質問ガアリマシタガ、御承知ノ通りニ政府ノ努力ニ依リマシタガ、曩ニ日本ノ移民ノ中、商業ニ從事スル者ハ其妻ヲ日本國カラ米國ニ迎ヘルコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス、併シ其「ツレド」即チ商業ノ意味ニ付テノ意見ノ相違ガ長ク存在シテ居リマス、其爲ニ日本ノ婦人ガ希望スル如ク多數米國ニ行キ得ナカッタノデアリマス、ソレハ吾々トシテモ頗ル遺憾ニ存ジテ居リタノデアリマスガ、只今中村君ノ御話ノ通り、最近此日本人ノ試訴ハ裁判所ニ於テモ、控訴院ニ於テモ勝訴トナリマシタノデ、其解釋ニ新タナ基礎ヲ與ヘタ譯デゴザイマス、此裁判ノ結果ガ更ニ大審院ニ於テ如何ニナルカト云フコトハ明瞭デアリマセヌケレドモ、兎ニ角今日マデノ判決ハ、日本ノ婦人ガ米國ニ移住スルコトノ上ニ、有利ナル基礎ヲ與ヘテ居ルモノデアリマスノデ、政府ハ此判決ヲ出來ルダケ有效ニ利用スルト云フコトニ付テノ考慮ハ致シテ居リマス

ソレカラ第八ニ、外交官ノ養成ニ對シテ御質問ガゴザイマシタ、外交官ヲ出來ルダケ國民生活ト密接ナ關係ヲ保タセルヤウニ

スルト同時ニ、外國ニ出マシテモ亦其國ノ政府ノ役人ダケデナク、一般ノ大衆ニ接觸サセテ、サウシテ内外ノ實生活ニ精通シタモノトシナケレバナラナイト云フ、此御精神ハ政府ニ於テモ全然同感ニ存ジテ居リマス、現ニ今ノ幣原外務大臣ガ前々内閣ノ當時ニ、財政整理ノ上カラ商務官ニ對シテ節減ノ必要ヲ唱ヘタ者ガアリマシタニ拘ラヌ、新タニ商務參事官ヲ設ケ、商務書記官ヲ設ケテ、民間カラ經濟界ノ實情ニ通ジテ居ル人間ヲ擢用シテ、今日現ニ各地ニ駐在セシメテ居リマスノモ、人材拔擢ノ精神ト、出來ルダケ國民生活ニ精通シタ者ヲ外交ノ衝ニ當ラシメタイト云フ精神カラ出テ居ルノデアリマス、又最近歐米諸國ニ於テハ、或ハ萬國議員會議デアルトカ、國際聯盟會議デアルトカ、色々ナ此列國會議ガゴザイマスガ、是ハ中村君ハ直接日本ニ利害關係ノ少イ所カラ、或ハ御贊成デナイイカモ知リマセヌガ、サウ云フ列國會議者ヲ派遣シマシテモ、出來ルダケ日本ハ代表者ヲ派遣スル方針デアリマス、萬國議員會議ナドニ對シマシテモ、國際聯盟會議ニ對シマシテモ、出來ルダケ國民ノ生活ニ精通シテ居ル人々ヲ派遣シテ、サウシテ日本ノ國民生活、國民理想ノ存スル所ヲ世界ニ知ラシメルト云フヤウナコトニモ努力シ、又列國ノ狀態ニ適應シテ、日本ノ外交方針ヲ樹ツベキ基礎知識ヲ得ルト云フコトニモ努力シテ居ルノデアリマスガ、是モ現政府ガ出來ルダケ外交ヲ國民外交ノ基礎ニ置キタイト云フ精神ノ發露ニ外ナラナイノデアリマス(拍手)

ソレカラ第九ニ、南米ノ事情ヲ御話ニナリマシテ、現政府ガ移民ニ對シテ十分努力シナイト云フ御話ガゴザイマシタ、併シ政府ハ出來ルダケ海外移民ニ對シテハ努力致シテ居リマシテ、現ニ米國ノ如キモ、先程色々御話ガゴザイマシタケレドモ、米國ノ勞働長官ハ數年前マデハ大統領ニ對スル年

年ノ報告書ノ中ニ、依然トシテ日本ノ移民ハ、之ヲ差別待遇スベキモノデアルト云フコトヲ論ジテ居リマシタニ拘ラズ、勞働長官ノ昨年度ノ大統領ニ對スル年報ノ中ニハ、日本ノ移民ニ對スル差別待遇ハ撤廢シテ、日本移民ヲ平等ニ待遇スベキモノデアルト云フコトヲ主張スルニ至リタリト云フ。如何ニ變化シツ、アルカト云フコトハ明瞭デアリマス(拍手)又南米ニ對シテモ政府ハ出來ルダケ日本ノ移民ヲ移スコトニ努力致シマシテ、一昨年度ニ於キマシテハ、日本ノ移民ノ海外ニ出タモノ方合計二万五千人ニ達シマス、一昨々年ノ當時ニ較ブレバ、實ニ數千人ノ増加デゴザイマス、大正九年ノ頃ニ較ブレバ二倍スルニ至リテ居リマス(拍手)政府ハ出來ルダケ此移民ヲ多ク海外ニ出スコトニ努力シテ居リマシテ、今日マデモ内閣組織以來短期間デアリマスガ、相當ノ成績ヲ擧ゲテ居リマスルノデゴザイマス、尙ホ今後益々此海外發展ノ事ニ對シマシテモ努力致シマシテ、中村君ノ御話ニナツヤウナ精神ハ十分徹底致シタイト存ジテ居ルノデアリマス、是ダケデアッタト思ヒマス(拍手)

〔中村嘉謨君登壇〕

○中村嘉謨君 先程小川政務次官カラ、各國ハ均分ニ資本ヲ負擔スルト云フ御話デアリマシタガ、其均分トハドウ云フ程度ノコトカ御伺シタイ、其均分ニヤルコトガ、私共ハ世界各國ニ關係ノ少ナイ所ニ引摺ラレルノデハナイカト斯ウ思フノデアリマス、均分ニ若シ此負擔ヲスルナラバ、均分ノ恩典ニ與カルコトガ出來ルカドウカ(拍手)之ヲスルニハ努力ヲ拂ハナケレバナラヌ、其努力ヲスル覺悟ガアルカドウカト云フコトヲ御伺シタイ、是ハ寧ロ人ガ仕事ヲスル場合ニ於テ、其覺悟ハアリマセウケレドモ、準備ト人ガナケレバ之ヲ爲シ得ナイ、今一ツハ、西班牙ガ會テ非常ナ窮乏シタ場

合ニ於テ、此機關ニ救済ヲ求メタ事實ガアルデハナイカ、ドウカモ御伺シタイト思フ、ソレカラ永井外務次官ニ御話シテ置キタイト思ヒマスコトハ「ベッサラビヤ」事件ニ關シテ各國ガ承認ヲシタニモ拘ラズ、日本ハ贊成シナイト云フコトハ、日本ノ追隨外交ノ反對ヲ行フテ居ルノデハナイカ、本當ニ日本ノ爲ニナルコトデアッタナラバ、假令此各國ノ相手トシテモ、吾々ハ之ニ追隨シナイデヤナイカト云フヤウナ、御自慢ノ御話デアリマシタガ、實ハ此問題ニ付テ、私ハ先年幣原外相ニ問ヒマシタ時ニ、私ニ御答ニナツタノハ、若シ伊太利ガ之ヲ承認スル場合ニナツタナラバ、日本モ承認セザルヲ得ナイノデアルト、斯ウ云フコトデアッタノデアリマスガ、ソレヲ爲シ得ナイト云フコトハ、是ハ外ニ理由ガアルノデハナイカ、私ハ今此處デ永井君ヲ追窮シヤウト云フコトハ勿論考ヘテ居リマセマスガ、是ハ少シ見當違デハナイカ、露西亞ノ方面カラ壓迫ヲ受ケテ居ル結果、之ヲ爲シ得ナイノデナイカ、之ヲ私ハ一言申上ゲテ置キマス

ソレカラ歐羅巴ノ各國ニ大公使ヲ置クト云フコトハ、私ハ決シテ反對スル者デハアリマセヌ、先キノ話ニ於テモ明瞭ニ致シテ置キマシタヤウニ、各國ニ置クトハ或ハ必要ナコトガアルカモ知レヌガ、此機關ガ適當ニ働ケヤウナ風ノ組織ニシテ置カナケレバナラヌ、其用意ナクシテ徒ニ僅ノ人ヲ派遣シテ、唯「フィギユア・ヘッド」ヲ拵ヘテ置ク、日本ハ斯様ナ事ヲシテ、ホシノ飾ノヤウナ難題ヲ拵ヘテ置クト云フコトハ、日本ノ今日ノ事情デハ許サヌデハナイカ、アチラコチラニ大公使館ヲ拵ヘルノハ宜シイガ、其處ニ適當ニ人ヲ配シテ、彼等ニ十分ニ力ヲ發揮スルヤウニ爲サルノガ必要ダト思ヒマス、ソレカラ漁業ノ問題ニ付テハ、日本ハ讓歩シタ形デアリマシタソレハドノ點カト云フ御話デアリマシタガ、是ハ今御話シマシテモ込入テ參リマスカラ、是ハ他日ニ讓ルコトニ致シマス

ソレカラ又熊野御堂事件ニ關シテハ、少シ思違ヒガアルヤウデアリマス、是ハ「サーキット・コート」即チ巡迴裁判ノ控訴院デ勝ツタメアル、亞米利加ノ移民局ハ之ヲ上告シナカッタノデアリマス、上告ヲスルト云フ積リデ延期ヲシテ居リマシタケレドモ、延期ノ期限ガ來テモ遂ニ之ヲ上告シマセヌデシタ、上告シナカッタト云フコトハ、詰リ大審院ニ行クナラバ米國ノ政府ガ負ケルデアラウ、負ケテ斯様ナ先例ヲ作ルヨリモ、此儘デ置イテ、一ツ「テスト・ケース」ヲ起サセタイト云フ腹デ、米國ハヤッテ居ルノデアリマス、是ヲ「ストプリム・エイト」ニ持テ行クナイ所ガ、彼等ノ狡イ所デ、私ハ米國ニ對シマシテ決シテ惡語ヲ費スノデヤナイ、米國ノ友人デアアルコトニ於テ、日本ノ誰ヨリモ最モ私ハ親シイ友人ト思ッテ居リマスケレドモ、米國ノ人々ト雖モ、或ハ其外人々ト雖モ、追隨スルコトヲ以テ決シテ宜イコト、ハ思フテ居ナイ、追隨外交ヲヤッタラ、或ハ幣原サンハ米國デハ非常ニ評判ガ好イデアリマセウガ、評判ガ好イノハ何故好イカト云フト、米國ノ言フコトヲ聞ケバ喜ブノデアッテ、日本ノ利害ヲ保護スルト云フコトデアッタナラバ、忠實ニ之ヲ保護シタナラバ、米國或ハ其他ノ各國ガ嫌フカモ知レヌガ、米國ノ言フナリニナツタラ米國ノ人ガ喜ブノデアリマス、ソレガ喜ブカラト云フテ、世間ノ評判ガ好イカラト云フテ、決シテ日本ノ外交ガ目ク行ッテ居ルト云フ裏書ニハナラヌノデアリマス(拍手)

ソレカラ此問題ヲ今「サーキット・コート」マデ行ッテ居リマスカラ、外交手段ニ訴ヘテ、我ガ同胞ヲバ何等ノ支障ナクシテ入レル方法ヲ拵ヘテ戴キタイ、是ハ議論スルノデヤナイ、本當ニ亞米利加デ非常ニ困ッテ居ル人ガ居リマスカラ、此人々ヲ寛ガセテ貰ヒタイ、時々色々ナ事件ガ起リマシテ、實ニ哀レナ人々ガ澤山アル、人ノ夫人ガ外務省自身ガ發給シタ旅券デ以テ米國ニ行キマシテ、二月モ三月モ淋シイ牢獄ノ中ニ打込マレルト云フヤウナコトガアル、斯ウ云フ者ヲ寛ガシメル爲ニ、外交官ニ働イテ貰ハナケレバナラヌノデアリマス、是ハ働ケバ働キ得ルコトハ、先程私ガ支那ノ例ヲ申上ゲタヤウニ、支那ニ於キマシテハ、五年前デアリマシタガ、斯様ナ事件ガアッテ、遂ニ確定シテ、毎年全然禁セラレテ居ル支那カラ五百名ノ人々ハ行ッテ居ルノニ、日本カラハ一人モ適當ニ入り得ナイト、斯ウ云フコトニナツテ居ル、是ハ日本ノ人々ハ、亞米利加ニ參リマス時ハ移民デ入ッタ者デモ、今日デハ立派ナ國際的或ハ内國的ニ會社ヲ拵ヘテ、立派ナ「ツレード」ニ從事シテ居ル人々ガ澤山居ル、是等ノ人々ガ此解釋ヲ廣義ニシテ、廣義ニスルト云フコトハ、米國ノ控訴院ガ認メタヤウニシテ行キマスト云フト、是カラハ何百人ト云フ、日本ノ婦人モ男モドシ／＼入ルコトガ出來ル、其事ヲ考ヘルナラバ、日本ノ政府ガモット積極的ニ此例ヲ捉ヘテ交渉ヲ致シマシタナラバ、交渉ノ出來ナイ筈ハナイノデアリマス、唯政府ノ一部ノ人ノ話デアリマスガ、少クトモ在米大使ハ斯様ナコトヲ言ッテ居ル、今米國ノ人心ト云フモノハ、日本ノ移民問題ニ對シテハ餘程緩和シツ、アルカラ、此緩和シタ時機ニ於テ一緒コタニ議論サセタ方宜シイ、斯ウ云フ御話デアアル、所ガ是ハトンデモナイ考デアリマシテ、左様ナ機運ハ生ジテ居ルケレドモ、此機運ハ決シテ外務省ガ作ッタルモノデハナイト私ハ思フ、民間ノ色々ナ人々ガ、有エル手段方法ニ依ッテ努力ヲシタ結果、米國民間ノ人々ガ段々日本ヲ理解スルヤウニナツテ來テ、日本ノ人々ヲ差別待遇シタト云フコトハ、洵ニ吾々ガ濟マナカッタト云フ氣分ガ、非常ニ濃厚ニナツテ來テ居ルノデアリマス、アノアルバート・ジョンソン」ト云フ人ガ、ドウ云フ

コトヲ言フタカト云フト、是カラ日本ノ移民ハドシ、來ラレルヤウニ、少クトモ「クオーターシステム」ノ中ニ入レルト云フコトヲ言フテ居ルヲ思ヒマス、然ルニ勞働黨ノ連中カラドシ、攻撃サレルト、俺ノ言ウタコトハサウ云フ意味デハナカッタ云フコトヲ言フテ居ル、之ヲ頼ミニシテ、若シ何カモト好イ解決ガ出來ルト御考ニナレバ、是ハトシテモナイ間達デアリマ、是ハ待テ食フ問題デアアルノデアリマス、ノミナラズ斯様ナ訴訟事件ト云フモノハ、米國ノ人々ノ頭ニハ頗ル妙ニ響クノデアッテ、一方ニ問題ガアツテモ、ソナコトハ考ヘナイ、日本人ハ遠慮ヲスル、好イ兒ニナルト云フヤウナ考デアアルカ知ラヌガ、彼等ハ左様ナ考ハ持タヌ、考方ガ餘程違フ、吾々ガ親指カラ勘定スルト、彼等ハ小指カラ勘定スル、吾々ガ人ヲ招クニ斯ウスル、彼等ハ斯ウスル、ソレ程考方ガ違フテ居ルノニ、日本ノ考デ、東洋道徳デ唯遠慮ヲシテ居ルト云フコトハ、決シテ宜イコトデハナイ、彼等ニ惡イコトガアルナラバ、向テ腹ヲ立テル方宜シイ、其處デ初メテ彼等ガ尊敬ヲスルノデアアルカラ、今ノヤウナ問題ハドシ、解決ヲシテ戴キタイと思フノデアリマス

ソレカラモウ一ツハ、今ノ萬國議員會議ニ付テハ、中村君ハ反對カ知ラヌト、斯ウ云フヤウナ御話デシタガ、私ハ決シテ反對デヤナイ、私ハ二回モ行ッテ居ル、今度商事會議ニ行ッテ、三回モ行ッテ居ル、須ラク外交ハ斯ノ如ク民間ニ移ラナケレバナラス、議員達始メ國民全體ガ總動員ヲヤッテ、外交ヲ刷新シナケレバナラスト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、情テ之ヲ爲スニ付テハ準備ヲヤッテ居ルカ、或ハ眞面目ニ何カノ効果ヲ齎ラスヤウニヤッテ居ルカドウカト云フコトヲ、私ハ御伺シタイノデアリマス、是ハ決シテ私ハ反對スル者デハナイガ、斯様ナ貧乏ナ國カラ色々ナ仕事ニ參加

スルニ付テハ、相當ナ效果ガ學ルヤウニヤッテ戴キタイト云フコトヲ御願致シマス
ソレカラ移民ノ問題ニ付テハ、政府ハ毎年何人カヅ、送ッテ居ルト云フ御話デアリマスケレドモ、今送ッテ居ラレルヤウニ、一年ニ一萬ヤ二萬ノ者デ、日本ノ人口問題或ハ食糧問題ト云フモノガ解決出來ルモノデハナイ、左様ナ生温イコトデハ逆モ駄目ナノデアアル、唯一ツ何カ拓務省ヲ作ッテカラ、是デ吾々ハ移民ノ問題ニ付テ努力ヲシテ居ルト云フヤウナコトハ、決シテ言ハレナイノデアアル、今、日本ノ人口ハ年々歳々百萬ニ近イモノガ殖エツ、アルノデアリマス、是ダケノ人口ガドシ、殖エテ行クノニ對シテ、一萬ヤ二萬ヅ、海外ニ出シタト云フテモ、全ク二階カラ目藥ノヤウナモノデア

ル……

○議長(藤澤幾之輔君) 簡潔ニ願ヒマス

○中村嘉壽君(總) 斯様ナ大キナ問題ニ對シテハ、根本的ニ大努力ヲシテ戴キタイ、私共ハ少クトモ今毎年百萬ヅ、殖エテ行クモノトシテ、五十年、六十年ノ後ニハ、日本ノ過剩人口ガナクナル位ノ、乾坤一擲ノ大政策ヲ樹テ、戴キタイ、内ニ色々ナ今、日本ノ思想ノ惡化トカ、或ハ政治ノ墮落トカ、色々ナ事ガ唱ヘラレテ居リマスケレドモ、斯様ナ問題ハ何ニ依ッテ解決ヲスルノデアアルカト云フナラバ、外ニ注意ヲ惹クト云フコトデナケレバナラス、外ニ注意ヲ惹クコトニ依ッテ、吾ガ日本國民ノ精神ト云フモノガ作興サレタコトハ、過去ノ歴史ガ示シテ居ル、十年ニ一回ヅツ戦争ガアツタ時分ニハ、我ガ日本ノ人心ト云フモノハ作興サレテ居リマシタケレドモ、近頃ハ内ニ争ガ多クナツテ、外ニ何モ努力ヲシナイ、其結果ガ精神ノ作興ヲ破壊シツ、アルモノデアリマスカラ、私ハ戦争ヲ欲スルノデハナイガ、戦争ト同ジ程ノ精神ヲ籠メテ、同ジ程ノ金ヲ使ッテサウシテ今外ニ吾々ガ行クダケノ努力ヲシナケレバナラスと思

フ、私ハ更ニ斯ウ云フコトヲ附加ヘテ止メマスガ、今殊ニ北米合衆國ノ如キハ、日本ガ今後行クベキ途ハドウ云フコトデアアルカト云フナラバ、日本ハ必ズ南米ニ突進スルデアラウ、南米移民ト云フコトガ、日本ノ今後ノ政界ノ最モ主ナル問題デアルト云フコトヲ彼等ハ考ヘテ居ル、ソレヲ考ヘテ居リマスガ爲ニ、若シ日本ガ南米ニ進出ヲシタナラバ、亞米利加ノ「モンロー」主義トカ、汎亞米利加「ニズム」ガ破レテ行ク、之ヲ防禦スルニハドウスレバ宜イカト云フコトヲ考ヘテ、有ユルコトヲヤッテ居ル、我ガ日本ニ於テハ之ヲ考ヘテ大キナ政策ヲ樹テ、戴キタイ、私ハ決シテ之ヲ現内閣ノミニ頼ムノデハナイ、私ハ日本ノ政治家ハ勿論ノコト、國家總動員ヲ以テ此大キナ問題ヲ解決ヲシナケレバ、今ノヤウナ横ニナツタモノヲ縦ニ直スト云フヤウナ生温イ、サウシテ一升袋ニ二升入レルヤウナ政策デハ、決シテ日本ノ人心ハ革マラスと思ヒマス

○政府委員(小川郷太郎君登壇)

○政府委員(小川郷太郎君) 中村君ノ再度ノ御質問ニ簡單ニ御答致シマス、株ノ引受ノ均分ノコトニ付テ御尋デアリマシタカラ、チヨット補足シテ置キマス、日・英・佛・獨・伊・白・米、此七箇國ハ均分デ引受ケテ居リマスガ、其他ノ國ハ違ッテ引受額デアリマス、其處ハ二段ニナツテ居ルノデアリマス、總テノ關係ガ均分ト云フ譯デアリマセ、此七箇國ハ一萬六千株ヅツ、同ジヤウニ引受ケルノデアリマス、其他ノ國ハ七千株ヅツ引受ケルノデアリマス、ソレデ均分ニシマシテ、損ヲシテ利益ハナイト云フ御話デアリマスケレドモ、權利ノ方モヤハリ七箇國ハ同ジヤウニナツテ居リマス、總會ニ於キマシテ其代表權及ビ表決權ト云フモノハ、株數ニ比例シテ居リマスカラ、七箇國ハ少クトモ同ジヤウニ權利ヲ行使スルコトニナリマス、又理事會ニ於テモ七箇國ハ同ジヤウニ權利ヲ持ッテ、理事ニ指名セラレル

數、其他皆同ジノヤウデアリマス、ソレデアリマスカラ中村君ノ御話ノヤウナ心配ハナイノデアリマス
○議長(藤澤幾之輔君) 日程第三、右各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第三 右各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○作田高太郎君 各案ヲ一括、議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(藤澤幾之輔君) 作田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

郵便車ノ使用料金ハ其ノ供給スル容積ニ應シ當該鐵道運送業者ノ定メタル最低等級旅客一キロメートル運賃ノ左ノ割合ニ依ル

八立方メートル迄

一キロメートル毎ニ 十割以内

十四立方メートル迄

一キロメートル毎ニ 二十割以内

二十立方メートル迄

一キロメートル毎ニ 三十割以内

二十八立方メートル迄

一キロメートル毎ニ 五十割以内

二十立方メートルヲ超過シタルトキハ全容積ニ對シ三立方メートル迄ニ付一キロメートル毎ニ六割以内

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣小泉又次郎君登壇〕

○國務大臣(小泉又次郎君) 只今議題トナリマシテ郵便法中改正法律案提出ノ理由ヲ簡單ニ説明致シマス、大正十年四月法律第七十一號ハ、從來ノ尺貫法ニ變ヘマスルニ「メートル」法度量衡ヲ以テスルコト、相成タノデアリマス、其法律ハ同十三年七月一日ヨリ既ニ實施セラレテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り此法律ハ一般ニ對シマシテハ施行後二十年間、官公署ニ對シマシテハ施行後十年間、即チ昭和九年六月マデ猶豫期間ガ認メラレテ居ルノデアリマスガ、成ベク速ニ之ヲ實施致シマシテ、改正度量衡法ノ趣旨ヲ明カニ貫徹セネバナラヌト云フコトハ申サマデモナイノデアリマス、而シテ之ガ爲ニハ國民全般ニ廣ク利用セラレテ居リマスル郵便「メートル」法ヲ實施スルコトガ、一般社會ニ向テ「メートル」法ニ關スル知識ヲ普及セシムル上ニ於テ非常ニ效果アルコト、考ヘマシテ、我が逓信省ト致シマシテハ郵便物受付用ノ秤量其他ノ準備モ既ニ完了致シタコトデモアリ、此際之ヲ實行致シタイト考ヘマシテ、本案ヲ提出シ

タ次第デアリマス

尙ホ附加ヘテ申上ゲテ置キマス、本案ノ内容ハ在來ノ重量ノ單位「メートル」法ノ「グラム」單位ニ換算シタノニ過ギナイ、極メテ簡單ナルモノデアリマシテ、郵便料金等公衆ニ及ボス影響ノ如キハ殆ド皆無ト申シテ宜シイト存ズルノデアリマス、仍テ何卒御審議ノ上速ニ御協賛アラントラ切望致シマス(拍手)

次ニ鐵道船舶郵便法中改正法律案ニ付テ提案ノ理由ヲ説明致シマス、大正十三年七月現行度量衡法ガ實施セラレタノデアリマスルガ、鐵道船舶郵便法ノ適用ヲ受クベキ地方鐵道ハ、既ニ昨年ノ四月國有鐵道ト同時ニ此「メートル」法ヲ採用致シテ、距離ニ付テハ從來ノ哩計算ヲ「キロ」計算ト致シ、又容積ニ付テハ從來ノ立方呎ヲ立方「メートル」ニ改メタノデアリマス、隨テ郵便車使用料ノ計算上、哩及ビ立方呎ヲ基礎ト致シマシテ規定シテアリマスル現行鐵道船舶郵便法ハ、鐵道營業ノ實狀ニ副ハザルコトトナリマスルカラ、之ヲ「メートル」法ニ準據シテ改訂スルノ必要ヲ生ジタノデアリマス、之ガ本改正案ヲ提出スル理由デアリマス

更ニ附加ヘテ申上ゲテ置キマス、本改正案ハ單ニ從來ノ運賃ノ哩單位ヲ「キロ」單位ト致シ、又從來ノ容積ノ立方呎ヲ立方「メートル」ニ換算致シタノニ過ギナイノデアリマシテ、鐵道業者ニ對シ不利ヲ與フルトカ、又ハ現在ノ郵便車使用料金ヲ増加セシムルト云フヤウナ結果ヲ生ジナイヤウニ立案致シタモノデアリマス、仍テ是亦何卒御審議ノ上速ニ御協賛アラントラ望ミマス(拍手)

○議長(藤澤幾之輔君) 質疑ヲ許シマス——松山常次郎君

〔松山常次郎君登壇〕

○松山常次郎君 從來逓信省ニ於テ爲セルコトニ對シ、國民ノ間ニ大ナル疑惑ノ存スルモノガゴザイマス、今度郵便ニ關スル法律改正案ヲ政府ガ出サレマシタニ付テ、其審議ニ入ル前提ト致シマシテ、此疑惑ヲ解イテ貰フ必要ガアルノデゴザイマス、故ニ私ハ之ニ付テ今カラ質問ヲ致シタイト思ヒマスルガ、ドウカ政府ニ於テハ明瞭率直ニ御答下サラントラ希望致シテ置キマス

初メニ御尋致シタイト思ヒマス、所謂電信電話ノ民營案ニ付テハゴザイマス、官營事業ノ或ルモノヲ民營ニ移スト云フコトニ付テハ、私共モ同感デゴザイマス、所ガ傳ヘ聞ク所ニ依レバ、今度政府ガ爲サレントスル所謂民營案ナルモノハ、電信電話ノ民營デハナクテ、ソレニ關スル工事ノ——架設及ビ敷設ヲ民營ニスルト云フコトデアル、或ハ特命ノ株式會社ヲ拵ヘテ、一般ノ競争ニ付セベキ請負工事ヲ或ル特殊ノ會社ニ獨占サセルト云フ案デアル(議長問題外デス)ト呼フ者アリ(是ハ此種ノ事業ニ經驗ノアル者ニハ直チニ頭ニ來ル問題デアリマシテ、非常ナ弊害ノ生ジ來ルモノデアルト云フコトハ直チニ感ズルノデゴザイマス、果然此問題ニ付テ大ナル疑問ガ國民ノ間ニ起タノデゴザイマス、ソレハ此事業案ノ背後ニハ、或ル特殊ノ資本家ガ介在シテ、政府ノ大官ト協力シテ(ヒヤ／＼)謂ハバ結託シテ、サウシテ其株ノ配當割當マデモ政府ノ某大官ガ之ニ干與シテ、世間モ相當ニ之ニ付テハ疑惑ヲ挾ムベキモノガアルト云フコトガ世間ニ傳ハタ、ソレデ政府ガ狼狽シテ、ソレデ此案ヲ引込メタ、其結果ガ、中野君ガ政務次官ヲ罷メタ眞ノ原因デアルト云フコトガ、國民ノ一部ニ傳ヘラレテ居ル所デアリマス、モウ一ツ露骨ニハキリト説明スレバ、今度ノ議會デ尾ヲ抑ヘラレテ廣ガアルカラ、中野君ガ逃出シタノデアルト云フコトヲ國民ノ一部ニ信ゼラレテ居ルノアル、此事ニ付テサウ云フ事實ガ果シテアルカ……

○議長(藤澤幾之輔君) 松山君——松山君——問題外ニ涉ラヌヤウニ……〔議長干涉スルナ〕問題外ダト呼ビ其他發言スル者アリ

君——問題外ニ涉ラヌヤウニ……

○松山常次郎君(續) 果シテ斯ノ如キ事實ガアルカナイカ、果シテ斯ノ如キ事實ガアルカナイカ、ナイトスルナラバ此事ニ付テ國民ガ納得スルヤウナ御説明ヲ願ヒタイ、特ニ御願致シテ置キマス、此民營案ヲドウスル積リデアルカ、ヤル積リデアルカ、或ハモウ引込メル積リデアルカ、或ハ變ヘタモノヲ出スカ、其事ニ付テハ、ハッキリ御答ヲ願ヒタイと思フノデアリマス

次ニ質問致シタイト思ヒマスコトハ、政府ガ今度郵便葉書ヲ新ニ御出シニナタノデアリマス、其郵便葉書ハ……

〔ソレガドウシタ〕黙テロト呼ビ其他發言スル者多シ

○議長(藤澤幾之輔君) 靜肅ニ——三井君靜肅ニナサイ、質問ガ聽エマセス

○松山常次郎君(續) 洵ニ粗製ナモノデゴザイマシテ、政府ガ歳入缺陷ノ爲ニ非常ニ苦シデ居ルコトガ、即チ此ノ中ニ現ハレテ居ルノデゴザイマスガ、サウ云フコトハ……

〔簡單ト呼ビ其他發言スル者多シ〕

○議長(藤澤幾之輔君) 靜肅ニ

○松山常次郎君(續) 差置キマシテ、特ニ私共ガ打棄テ置キ難イ一ツノコトガアルノデゴザイマス、ソレハ此「メートル」ノ中ニ「日本郵便」ト云フコトガ書イテアル、以前ノ葉書モ持ッテ居ルノデアリマスガ、以前ノ葉書ニハ「大日本帝國郵便」ト書イテアッタノデス、ソレガ今度「日本郵便」ト書キ改メラレテ居ルノデアリマス、是ハドウ云フ譯デアリマスカ、私共ガ古イ書物ヲ見マスルノニ、日本ノ國名ニ付キマシテハ、古來葦原中津國ダトカ、豐葦原瑞穗國ダトカ、大八洲トカ、大日本トカ云フヤウナ言葉ガアリマス、大日本ト書イテ「オオヤマト」ト云フ言葉デ讀ンデ居リマス、嚴格ナ意味デ讀メ

パスウ云フ名前デゴザイマス、故ニ帝國憲法ニハ大日本帝國ト云フコトニ其名稱ガハッキリメラレテ居ルノデアリマス、第一條ニ「大日本帝國ハ萬世一系ノ天皇之ヲ統治ス」ト云フコトニ其言葉ガハッキリ明瞭ニ記サレテ居ルノデゴザイマス、國民ノ思想ニ非常ニ關係ノアル所ノ此「マーク」例ハバ外國デ申シマスルナラバ米國ノ如キモ最モ愛國者ダト謂ハレテ居ル「ワシントン」トカ、或ハ「リンコン」ノ肖像ヲ「マーク」ニ掲ゲテ、日常國民ノ接觸スル所ノ此「マーク」ニ非常ニ注意スルコト云フコトハ、何處ノ國モ皆致シテ居ル所デアリマス、其「マーク」ニ「大日本帝國郵便」トアツタモノヲ、「日本郵便」ト改メタノハドウ云フ譯デアルカ、此事ニ付キマシテ政府ノハッキリシタ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

次ニソレニ付テ私ハ希望ヲ申上ゲルノデアリマスガ、若シ政府ノ御都合ガ之ヲ許スナラバ、私ノ質問ニ對シテハ中村政務次官ヨリ御答辯願ヒタイノデアリマス、日本ト云フ言葉デゴザイマスガ、元來ハ日本人ガ稱ヘタ言葉デハナイノデアリマス、是ハ朝鮮ニ於テ稱ヘラレタ言葉デゴザイマス、朝鮮カラ見レバ東方ノ國、日ノ出ヅル所ノ國デアルト云フ意味ニ於テ日本ト云フ言葉ガ古カラ朝鮮ニ於テ用ヒラレテ居ル、餘程後世ニナツテ日本モ對外的ノ意味ニ於テダケ日本國ト云フ言葉ヲ使ヒ出シタノデアリマス、ソレガ段々日本國民ノ間ニ用ヒラレコトニナリマシテ、平安朝時代ニナツテハ日本、或ハ日ノ本——其文字カラ讀ミマシテ日ノ本ト云フ言葉ハ用ヒラレマシタケレドモ、是ハ文藻上ノ用語デアアル、歌ノ大和ト云フヤウナ枕言葉トシテ、文藻上ノ用語トシテ用ヒラレタノデアアッテ、本當ノ國語デハナカタノデアリマス、サウ云フ性質ヲ持ツテ居ル此日本ト云フ言葉デアアル、是ハ古イ書物ヲ見マス、例ヘバ大日本、豐秋津洲、大和、日本、斯ウ云フ言葉ハ今日普通

通ニ地理ニ書カレテ居リマス所ノ日本本土ダケニ元來用ヒラレタ言葉デアアル、本州・九州・四國ト云フモノニ對シテ日本ト云フ言葉ガ用ヒラレタノデアアル、ソレガ段々日本ノ國全體ニ對スル言葉ニナツテ來タ、是ハ其意味ニ於テモ用ヒラレルヤウニナツテ來タ、今日私共ノ言フ詰リ大日本、大東、大東京ト云フ意味ニ於テ此日本國全體、今日ノ新シイ意味ニ於ケル日本ト云フ言葉ハ大日本帝國ト云フコトデ、帝國憲法ニ是ガハッキリト言ヒ現ハサレテ居ルノデアリマス、是ハ英國ノ例ヲ引イテ説明スルコトガ好都合デアルト考ヘルノデアリマスガ、茲ニ「ブリテイッシュ・エンパイヤ」大英帝國ト云フ言葉ガアル、此「ブリテイッシュ・エンパイヤ」カラ「エンパイヤ」ト云フ言葉ヲ取ツタラドウナル、帝國ト云フ言葉ヲ取ツタラドウナル意味ニナリマス、此大英帝國ノ中ニハ南阿・加奈陀・愛蘭ガ含マレテ居ル、併シ此帝國ト云フ言葉ヲ取ツテシマヘバ、是等ノモノハ無クナツテシマフノデアリマス、是ハ英國ニ取ツテハ此帝國ト云フ一ツノ言葉ニ皆ハイリ、「エンパイヤ」ト云フ言葉ニ大ナル意義ガアルノデゴザイマス、次ニ大英帝國ノ「大」ト云フ字ノ意味デアリマス、「グレート・ブリテン」是ハ所謂「ユーナイテッド・キングダム」、愛蘭モ蘇格蘭モ英蘭モ之ヲ合セタモノガ即チ大英帝國デアアル、此「大」ト云フ字ヲ取ツテシマヘバ英國ハ英國ダケニナツテシマフ、故ニ此「大」ト云フ字、帝國ト云フ字ニハ——大英帝國ト云フモノニハ重大ナル意義ガアルノデゴザイマシテ、之ヲ取ツテハ到底英國ニ於テハ實際ノ用ヲ爲サナイ、國民ガ又之ヲ承知スルモノデハナイト私ハ確信致スノデアリマス

諸君日本ノ場合デアリマスガ、大日本帝國ノ此「大」ト云フ字、帝國ト云フ字ヲ取ツタノハドウ云フ譯デアルカ、朝鮮ニ於キマシテハ朝鮮ト日本トノ關係上、朝鮮人ニモ成ベク内地ト云フ言葉ヲ使ハセルヤウニト云フノデ、内地ト云フ言葉ヲ日本人ハ使ヒマス、是ハ官廳始メ日本人ハ努メテ其言葉ヲ使ヒマス、併シ朝鮮人ハ我が日本人ヲ憚リテ日本人ノ前デハ内地ト云フ言葉ヲ使ヒマスガ、朝鮮人ハ之ヲ承認シナイ、朝鮮人ハ内地ノコトヲ日本ト言フテ内地ト云フ言葉ヲ使ハナイ、彼等ノ頭ニハ朝鮮ト云フモノト日本ト云フモノハ、ハッキリト區別セラレテ居ル、是ガ大日本帝國ト云フコトニナレバ其區別ハアリマセヌ、併シ朝鮮人ノ頭ニハ日本ト朝鮮ノ區別ガハッキリシテ居ル、先刻申シマシタ英國ニ於ケル場合ノ如ク、小ニシテハ日本ト云フコトハ日本本土ダケヲ意味スル、稍大ニシテハ舊日本ヲ意味スル、而モ通常日本帝國ノ意味ニ於テ使ヒマス、是ハ例ヘバ東洋殖産株式會社ト云フコトヲ東拓ト言ヒ、又勸業銀行ト云フコトヲ勸銀ト言フヤウナ意味ニ於テ、通常ニ於テハ日本ト云フ言葉ヲ使ヒマスケレドモ、嚴格ナル意味ニ於ケル政府ノ出ス公文書ニ於テハ、大日本帝國ト云フ言葉ヲ使フノガ當然ノ事デアルト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテ此日本國民ノ思想ニ非常ニ關係ノアル郵便「マーク」ニ、日本ト云フ言葉ヲ如何ナル譯デア使ツタノデアアルカ、會テ中村君ハ「インザ・ネーム・オブ・ビープルス」——「國民ノ名ニ於テ」ト云フ言葉ハ日本ノ憲法ノ精神ニ違反スル、日本ノ國體ニ對シテ害ガアリ、皇室ニ對シテ敬意ヲ失スルモノデアルト云フコトヲ叫ンデ、非常ニ手柄ヲ著シタト云フコトヲ自らモ信ジテ居ラレト思フノデアリマス、國體ノ事ニ付テスノ如キハハッキリシタ考ヲ持ツテ居ラレト所ノ中村政務次官ハ、此大日本帝國ト云フ言葉カラ特ニ「大」ト云フ字ヲ取り、「帝國」ト云フ文字ヲ取ツタ意味ハドウ云フ譯デアアルカ、其文字ヲ取ツタト云フコトガ憲法ノ精神ニ違反シナイカ、日本ノ國家ニ對シテ、日本帝國ニ對シテ、皇室ニ對シテ不敬問題ヲ構成スル性質ノモノデナイト考

ヘルノデアリマスガ、若シサウデナイト言ハレルナラバ、私共國民ガハッキリト之ヲ承認スルダケノ説明ヲ能ク分ルヤウニ願ヒタイノデアリマス

（國務大臣小泉又次郎君登壇）

○國務大臣（小泉又次郎君） 只今ノ松山君ノ御質問ニ對シテ御答致シマス、御質問ノ要旨ハ議題トナツテ居リマス、郵便法ニハ何等ノ關係ガナイト思ヒマスガ、御質問ノアリマシタ以上ハ責任ヲ以テ御答スル義務ガアルト信ジマスカラ、御答ヲ致シマス

松山君ハ前提ト致シテ國民ノ間ニ非常ナ大キナ疑惑ヲ生ズル點ガアルカラ質問ヲスルノデアアル、斯ウ云フ前提デアツタノデアリマスガ、ドウ云フ御疑惑カト思ツテ、御質問ノ内容ヲ伺ツタノデアリマスガ、何等疑惑ノ生ズル點ハ一點モナイト云フ結論カラ申上ゲテ置キマス（拍手）電信電話民營事業案ハ、御尋ノ通り我ガ逡巡省ニ於テハ多年ノ懸案デアリマスカラ、慎重ニ調査研究致シマシテ、今大藏省ト計數ノ上デ折衝中デアリマシタ時ニ詳シク御説明ヲ致シタイト思フ、此場合特ニソレニ付テ御答シテ置クコトハ、此電話民營事業ノ背後ニ、何カ「ブルジョア」トカ實業家トカ云フ言葉ハ聽キ漏シマシタガ、意味ハ確ニ同様ナ意味デアルト思ヒマスガ、左様ナ者ニ依ツテ操ラレテ居ル、ソレガ爲ニ此民營案ヲ出スノデアリカト云フヤウナ御疑念ト承ツタノデアリマスガ、ソレハ大ナル誤解デアリマス、ソレニ付テハ電話民營案ヲ調査研究致シマシタル理由ヲ簡單ニ申上ゲマシタナラバ、御諒解ガ出來ルコトト存ジマス、御承知ノ通り今日電話ヲ架設致シマスルノニハ、一千圓以上ノ多額ノ金ヲ出サナケレバ電話ガ引イテ貰ヘナイト云フノデアリマス（八百圓デモ六百圓デモ引ケルデハナイカト呼フ者アリ）御質問デアリマスカラアナタガサウ云フコトヲ仰シヤルト御答致シ

マセス——千圓以上ノ工費ヲ納メナケレバ電話ガ引ケスト云フコトハ、皆サンノ御承知ノ通りデアリマス、逓信省ノ案ガ其通りニナッテ居リマス、前内閣ノ時ニ於キマシテモ、現内閣ノ時ニ於キマシテモ、同ジ計數デアアルデアリマスカラ、ドンナニ之ヲ御批評ナサレテモ其根柢ハ動キマセヌ（拍手）而シテ今日マデ何十年ノ間公衆カラ電話ノ引込ヲ依頼シテ、唯其依頼ニ應ジテ金ヲ收受致シテ居リテ、實現出來ナイ數ハ十八万ト云フ多數ニ達シテ居ルデアリマス、此十八万ニ達スル申込者ニ對シ、將來如何ニセバ漸次此堆積シタル依頼者ノ電話架設ガ出來ルカ、同時ニ今日ヨリ以上ニ低廉ニシテ而モ多數ニ、迅速ニ電話ヲ架設スルコトハドナタモ御異議ガナイ筈デアアル、之ヲスルニハドウシテスレバ宜イカト云フ結論ガ、此民營案ニ達シタノデアリマス、此趣意ニ依ッテ私ハ電信電話ノ民營ヲ、ドウシテモ此場合大衆ノ爲メ、公衆ノ爲メニシナケレバナラヌト確信シテ、案ヲ作ッタノデアリマス、其背後ニ何等カノ疾シキ關係ガアルガ如クノ御質問デアリマシタガ、苟且ニモ私が逓信大臣ノ席ヲ汚シテ居リマスル以上ハ、斷ジテ左様ナ事ハナイト云フコトヲ申上ゲテ置ク（拍手）中野君ノ退職ニ付テモ、一言私ハ友人トシテ之ヲ辯明スル義務ガアルト信ズルノデアリマス、中野君ノ退職致シマシタノハ、何等御質問ノ趣意ニハ觸レデ居リマセヌ、此事ダケハ明瞭ニ申上ゲテ置キマス、次ニ郵便葉書ガ粗製ニナッタルコトデアリマスガ、ソレハ確ニ認メマス、是ハ整理緊縮ノ結果葉書ニ改良ヲ加ヘテ、紙質ニ於テハ多少粗惡ニナッタコトハ認メテ居リマス

（「マートク」デヤナイ）ト呼ビ其他發言スル者多シ）松山サンハ確ニ「マートク」ト仰シヤイマシタ

（「サウデヤナイ」ト呼ビ其他發言スル者多シ）

○議長（藤澤幾之輔君） 靜肅ニ願ヒマス

○國務大臣（小泉又次郎君）（續） 今日マデ郵便葉書及ビ切手類等、逓信省カラ發行シタ即チ公文書トマデ仰セラレマシタガ、ソレハドナタモ宜シイ、其葉書印紙ニハ「大日本帝國」ト認メテアッタノ、今度發行シタル葉書ニハ「日本郵便」トシテアルガ、是ハドウ云フ譯ダ、國民思想ニ影響ヲ及ボスノ憂ナキカト云フ御質問ノ趣意デアッタヤウデアリマス、之ヲ「日本郵便」ト書キマシテモ、何等國民思想ニハ影響ヲ來サナイト云フ事ヲ確信ヲ以テ斷言致シテ置キマス（拍手）此度私ノ時代ニナッテ發行致シマシタル此葉書ハ、確ニ「日本郵便」ト認メテアリマス、是ハ圖案ト意匠ノ關係ニ依リマシテ、御覽ノ通り、幾多クモ御紋章ヲ上位ニ奉ッテ、其左右ニ文字ヲ書クト云フノ圖案カラ是ハ出發シテ居ルデアリマス、割書キヲ致シマスノ「大日本帝國郵便」ト書キマス、非常ニ意匠ガ惡クナルデアリマス、圖案上都合ガ惡イノデアリマス、是ニ於テ御紋章……

（發言スル者多シ）

○議長（藤澤幾之輔君） 靜肅ニ願ヒマス

○國務大臣（小泉又次郎君）（續） 御紋章ヲ上ニ戴イテ、其左右ニ「日本郵便」ト認メタルコトハ、何等國民思想ニハ關係ガナイノデアリマス

殊ニ一言私が申シテ置カナケレバナラヌコトハ、此「日本郵便」ト改メマシタルコトヲ、私ノ時代ニ於テ初メテ左様ナ事ヲシタデハナイカト云フノ御質問デアリマスガ、逓信省ノ歴史ヲ調べマスト、今日マデ「大日本帝國郵便」ト書イタモノモアリマス、又「日本郵便」ト書イタモノモアリマス、

歷代ノ大臣ノ迭ル度毎ニ、ソレハ決シテ思慮カラ割出シタニ非ズシテ、其時ノ圖案意匠ノ結果カラ斯様ニ出來上ッテ居ルデアリマスルカラ、何等國民ノ思想ニハ關係ガナイノデアリマス（拍手）

又最後ニ色々御質問ガアッテ、ソレハ中村次官ニ答辯ヲセヨト云フコトデアリマスカラ、私ハ是ダケヲ以テ御答辯ト致シマス、後ハ中村次官カラ御答辯アルト信ジマス（拍手）

（政府委員中村啓次郎君登壇）

○政府委員（中村啓次郎君） 松山君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、御答ハ逓信大臣ノ只今ノ答辯ニ依ッテ盡キテ居ルト思フノデアリマスガ、併シ只今ノ御答辯以外ニ、何カ質問者ニ御參考ニナル新シイ事實ヲ申上ゲルコトモ、亦徒爾ナラズト考ヘマスカラ、御紹介致シマス

ソレハ此郵便切手若クハ葉書ノ「マートク」ノ意匠ハ大正四年ニ端ヲ發シテ居ルデアリマス、大正四年ノ大禮記念ノ郵便切手ヲ捺ヘマス時分ニ、逓信次官ノ湯川元臣君ヲ委員長トシマシテ、正木美術學校長、或ハ下村宏君、政友會ニ多少ノ御關係ノアル田邊治通君、是等ノ權威ガ多數ノ寄リマシテ、此委員會ノ手ニ依リマシテ出來マシタノガ「日本郵便」ト云フコトニ相成ッタノデアリマス、「大日本帝國郵便切手」ト云フヤウナコトデナシニ、只今逓信大臣カラ申サユウニ、是ハ體裁ノ好イ圖案ヲ捺ヘナケレバナラヌト云フ意味ヲ以テ、ソレ等ノ委員ガ出來マシテ、サウシテ眞中ニ十六ノ菊ノ御紋章ヲ置キマシテ、兩方ニ分ケルニハヤハリサウ云フ偶數ニシタ方ガ宜イト云フ考ヲ以チマシテデアリマセウ、「日本郵便」ト云フコトニ相成ッタデアリマス、ソレヨリ以前ノ收入印紙ニ於キマシテ「大日本」ノ「大」ノ字ガナクナッテ居ルノデアリマス

ソレカラ猶ホアナタノ御參考ニナラウト思フノハ、犬養逓信大臣ノ時分ニ出來マシタ葉書モヤハリ「日本郵便」トナッテ居ルデアリマス（拍手）其後「帝國郵便」ト致シマシタリ、「大日本」ノ文字ヲ用ヒマシタリ、或ハ「日本郵便」ト致シマシタリ、幾多サウ云フヤウナ事柄ガアルデアリマシテ、此一事ニ依リマシテ君國ニ對スル忠誠ニ關係ガアルサド、云フヤウナコトハ毛頭考ヘテ居ラナイノデアリマス、學問上ノ議論ナドハ關ハス必要ハナイノデアリマスカラ、以上ノ事實ヲ申上ゲテアナタノ御參考ニ供スル次第デアリマス（拍手）

○議長（藤澤幾之輔君） 大石倫治君

（大石倫治君登壇）

（「大石確リヤレ」落付デヤレ）ト呼フ者アリ）

○大石倫治君 處女質問ダカラ少々寛大ニ取扱ッテ下サイ、私ハ逓信大臣ニ御尋テ致シタイト思フノデアリマス、只今議論トナッテ居リマスル郵便法中改正案ハ、第十八條中ノ量目ヲ改正スルダケデアルト云フ御話デゴザイマシタガ、郵便法ノ第十八條ニハ、第一種乃至第五種マデノ郵便物ノ量目ダケガ規定サレテ居リマスルケレドモ、更ニ省令ノ郵便規則ノ第三條ニ參リマスレバ、省令ガ規定セラレテ居ルノデゴザイマス、第一種乃至第五種郵便物、更ニ特殊郵便物タル小包郵便物モ亦容積量目ガ規定セラレテ居ルデアリマス、斯ク致シマスレバ單ニ量目ダケノ改正ニ止ラズ、容積ニ於キマシテモ亦第一種乃至第五種ノ郵便物ニ止ラズ、特殊郵便物モ改正セラレルト云フコトニナラネバナラヌノデアリマス、尺貫法ノ改正ハ大正十三年ヨリ實施セラレマシテ、官公衙ノ實施猶豫期間ハ十箇年、即チ昭和九年六月マデノ猶豫期間ガゴザイマシテ、尙ホ滿三箇年以上ノ日月ヲ餘シテ居ルノデアリマス、然ルニ政府ガ今日之ヲ改正セラレントスルノハ、果シテ時宜ヲ得テ居ルカドウカ、私ハ疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマス、何故ナレバ、「メートル」法ノ實施ニ

（發言スル者多シ）

○議長（藤澤幾之輔君） 靜肅ニ願ヒマス

○國務大臣（小泉又次郎君）（續） 御紋章ヲ上ニ戴イテ、其左右ニ「日本郵便」ト認メタルコトハ、何等國民思想ニハ關係ガナイノデアリマス

殊ニ一言私が申シテ置カナケレバナラヌコトハ、此「日本郵便」ト改メマシタルコトヲ、私ノ時代ニ於テ初メテ左様ナ事ヲシタデハナイカト云フノ御質問デアリマスガ、逓信省ノ歴史ヲ調べマスト、今日マデ「大日本帝國郵便」ト書イタモノモアリマス、又「日本郵便」ト書イタモノモアリマス、

歷代ノ大臣ノ迭ル度毎ニ、ソレハ決シテ思慮カラ割出シタニ非ズシテ、其時ノ圖案意匠ノ結果カラ斯様ニ出來上ッテ居ルデアリマスルカラ、何等國民ノ思想ニハ關係ガナイノデアリマス（拍手）

又最後ニ色々御質問ガアッテ、ソレハ中村次官ニ答辯ヲセヨト云フコトデアリマスカラ、私ハ是ダケヲ以テ御答辯ト致シマス、後ハ中村次官カラ御答辯アルト信ジマス（拍手）

（政府委員中村啓次郎君登壇）

○政府委員（中村啓次郎君） 松山君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、御答ハ逓信大臣ノ只今ノ答辯ニ依ッテ盡キテ居ルト思フノデアリマスガ、併シ只今ノ御答辯以外ニ、何カ質問者ニ御參考ニナル新シイ事實ヲ申上ゲルコトモ、亦徒爾ナラズト考ヘマスカラ、御紹介致シマス

ソレハ此郵便切手若クハ葉書ノ「マートク」ノ意匠ハ大正四年ニ端ヲ發シテ居ルデアリマス、大正四年ノ大禮記念ノ郵便切手ヲ捺ヘマス時分ニ、逓信次官ノ湯川元臣君ヲ委員長トシマシテ、正木美術學校長、或ハ下村宏君、政友會ニ多少ノ御關係ノアル田邊治通君、是等ノ權威ガ多數ノ寄リマシテ、此委員會ノ手ニ依リマシテ出來マシタノガ「日本郵便」ト云フコトニ相成ッタノデアリマス、「大日本帝國郵便切手」ト云フヤウナコトデナシニ、只今逓信大臣カラ申サユウニ、是ハ體裁ノ好イ圖案ヲ捺ヘナケレバナラヌト云フ意味ヲ以テ、ソレ等ノ委員ガ出來マシテ、サウシテ眞中ニ十六ノ菊ノ御紋章ヲ置キマシテ、兩方ニ分ケルニハヤハリサウ云フ偶數ニシタ方ガ宜イト云フ考ヲ以チマシテデアリマセウ、「日本郵便」ト云フコトニ相成ッタデアリマス、ソレヨリ以前ノ收入印紙ニ於キマシテ「大日本」ノ「大」ノ字ガナクナッテ居ルノデアリマス

ソレカラ猶ホアナタノ御參考ニナラウト思フノハ、犬養逓信大臣ノ時分ニ出來マシタ葉書モヤハリ「日本郵便」トナッテ居ルデアリマス（拍手）其後「帝國郵便」ト致シマシタリ、「大日本」ノ文字ヲ用ヒマシタリ、或ハ「日本郵便」ト致シマシタリ、幾多サウ云フヤウナ事柄ガアルデアリマシテ、此一事ニ依リマシテ君國ニ對スル忠誠ニ關係ガアルサド、云フヤウナコトハ毛頭考ヘテ居ラナイノデアリマス、學問上ノ議論ナドハ關ハス必要ハナイノデアリマスカラ、以上ノ事實ヲ申上ゲテアナタノ御參考ニ供スル次第デアリマス（拍手）

○議長（藤澤幾之輔君） 大石倫治君

（大石倫治君登壇）

（「大石確リヤレ」落付デヤレ）ト呼フ者アリ）

○大石倫治君 處女質問ダカラ少々寛大ニ取扱ッテ下サイ、私ハ逓信大臣ニ御尋テ致シタイト思フノデアリマス、只今議論トナッテ居リマスル郵便法中改正案ハ、第十八條中ノ量目ヲ改正スルダケデアルト云フ御話デゴザイマシタガ、郵便法ノ第十八條ニハ、第一種乃至第五種マデノ郵便物ノ量目ダケガ規定サレテ居リマスルケレドモ、更ニ省令ノ郵便規則ノ第三條ニ參リマスレバ、省令ガ規定セラレテ居ルノデゴザイマス、第一種乃至第五種郵便物、更ニ特殊郵便物タル小包郵便物モ亦容積量目ガ規定セラレテ居ルデアリマス、斯ク致シマスレバ單ニ量目ダケノ改正ニ止ラズ、容積ニ於キマシテモ亦第一種乃至第五種ノ郵便物ニ止ラズ、特殊郵便物モ改正セラレルト云フコトニナラネバナラヌノデアリマス、尺貫法ノ改正ハ大正十三年ヨリ實施セラレマシテ、官公衙ノ實施猶豫期間ハ十箇年、即チ昭和九年六月マデノ猶豫期間ガゴザイマシテ、尙ホ滿三箇年以上ノ日月ヲ餘シテ居ルノデアリマス、然ルニ政府ガ今日之ヲ改正セラレントスルノハ、果シテ時宜ヲ得テ居ルカドウカ、私ハ疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマス、何故ナレバ、「メートル」法ノ實施ニ

（發言スル者多シ）

○議長（藤澤幾之輔君） 靜肅ニ願ヒマス

○國務大臣（小泉又次郎君）（續） 御紋章ヲ上ニ戴イテ、其左右ニ「日本郵便」ト認メタルコトハ、何等國民思想ニハ關係ガナイノデアリマス

殊ニ一言私が申シテ置カナケレバナラヌコトハ、此「日本郵便」ト改メマシタルコトヲ、私ノ時代ニ於テ初メテ左様ナ事ヲシタデハナイカト云フノ御質問デアリマスガ、逓信省ノ歴史ヲ調べマスト、今日マデ「大日本帝國郵便」ト書イタモノモアリマス、又「日本郵便」ト書イタモノモアリマス、

歷代ノ大臣ノ迭ル度毎ニ、ソレハ決シテ思慮カラ割出シタニ非ズシテ、其時ノ圖案意匠ノ結果カラ斯様ニ出來上ッテ居ルデアリマスルカラ、何等國民ノ思想ニハ關係ガナイノデアリマス（拍手）

又最後ニ色々御質問ガアッテ、ソレハ中村次官ニ答辯ヲセヨト云フコトデアリマスカラ、私ハ是ダケヲ以テ御答辯ト致シマス、後ハ中村次官カラ御答辯アルト信ジマス（拍手）

付キマシテ、國民ノ「メートル」觀念ト云フモノ、「メートル」知識ト云フモノハ、未ダ普及ヲ致シテ居ラヌト云フコトハ、今更申上テルマデモナイコトゴザイマス、單リ國民ノ間ニ是ガ知識ノ普及シテ居ラヌバカリデハナイ、現ニ遞信事業ニ從事致シテ居ル所ノ現業員、即チ郵便物ヲ取扱フ局員、又集配等ニ從事ヲ致シテ居ル所ノ傭員、斯様ナ者ノ「メートル」ニ對スル所ノ知識觀念ト云フモノハ、未ダ十分ニ養成セラレテ居ラヌコトハ明カデアルノデアリマス、斯ノ如キ時ニ當リマシテ、直チニ猶豫期間ヲ短縮シテ「メーメル」法ヲ實施シタナラバ、必ズ色々ナル所ノ煩雜、色々ナル所ノ誤リヲ生ズルデハナカラウカト云フ疑念ヲ持ツ者デアリマス、小泉大臣ハ國民ニ「メートル」法ノ普及ヲ圖ランガ爲ニ、遞信省ハ殊更ニ猶豫期間ヲ短縮シテ實施スル思召デアルヤウデアリマスガ、從業員ガ既ニ「メートル」法ノ知識ノナイ場合ニ於キマシテ、猶豫期間ヲ殊更ニ短縮セバナラヌト云フコトハ、ドウ云フ關係デアルカモウ一度御伺シタイノデアリマス

次ニ此機會ニ於テ御尋致シテ見タイコトゴザイマス、ソレハ昨年ノ十月一日ヨリ實施セラレマシタ郵便貯金ノ利子引下ニ關スルコトデアリマス、從來ノ郵便貯金ノ利子ヨリ總テ六厘ヲ引下ゲマシテ實施セラレタノデアリマスガ、此郵便貯金ノ總額ヲ見マスルト、昨年ノ六月現在ニ於テ二十二億五千圓デアリマシテ、其貯金ヲ致シテ居ル所ノ總人員ハ三千八百四十七萬四千四百四十三人、殆ど四千萬人ニ近イ、即チ國民ノ半數ニ垂ントスル多數ニ上テ居ルノデアリマス、現內閣ガ成立ヲ致シマシテ以來、彼ノ極端ナル緊縮消費節約ノ爲ニ、多數國民ノ收入ガ激減ヲ致シマシテ、總テ生活ノ困難ヲ遇ヘテ居ル時ニ當リマシテ、而モ斯ノ如ク多數ノ國民ヨリ零細ノ金ヲ集メテ此巨額ニ達スル、郵便貯金ノ利子ヲ引下ゲル

ト云フコトハ、是ハ決シテ正シキ政治デモナケレバ、明ルイ政治デモナイヤウナ感ガ致スノデアリマス、殊ニ小泉遞信大臣ハ即チ野人大臣ト言ハレル程、民衆ノ味方デアリカノ如ク吾々ハ信ジテ居タル「メーメル」法ノ如ク、此大臣ノ治下ニ於テ此貯金利子ノ引下ガ行ハレタト云フコトハ、洵ニ遺憾千萬ノコトデアアルト存ズルノデアリマス、今同ノ此利子ノ引下ハ、ドウ云フ所ニ目的ヲ置イテアルカハ能ク分ラヌノデアリマス、併ナガラ世人ハ貯金利子ヲ引下ゲルコトハ、即チ經營ニ困難ヲ感ジテ居ル所ノ、中ノ貯金銀行ヲ救済スルノ目的ヲ以テシタモノデアアルト云フヤウナ、想像ヲ致スノデアリマス、然ルニ昨年ノ十月一日此貯金ノ利子ヲ引下ゲマシテ以來、果シテ中小貯金銀行ノ預金ガ増加シ、此中小銀行ガ救済セラレテ居ルカドウカハ甚ダ疑問トスル所デアリマス、六厘ノ値下ヲ致シマスレバ、貯金ノ總額ヨリシテ一年ニ一千三百二十萬圓ト云フ利幅ガ生ズルノデアリマス、而シテ郵便貯金ノ利子引下ヲ致シマシタニ拘ラズ、既ニ貸下ゲマシタ所ノ總テノ低利資金ニ對シテハ、未ダニ其引下ヲ爲サナイノデアアル、否原則ト致シテ引下ヲシナイト云フ方針ニナッテ居ルノデアリマス、而シテ利子ヲ引下ゲマスレバ、其次ニ低利資金ノ貸出開始ヲ致シマスマデハ、數箇月間ノ期間ガアル、斯様ニシテ計算致シマスレバ、其期間ニ於テ政府ハ不當ナル此利率ノ幅ヲ利益シテ居ルノデハナカラウカト考ヘルノデアアル、昨年ノ統計ニ依ッテ見マス、郵便貯金總額十二億五千萬圓ノ中、地方ニ貸付ケテ居ル金額ハ六億三千八百萬圓デアリ、興業債券四千八百萬圓、勸業債券二億八千九百萬圓、地方債證券四億七千九百萬圓、合計十四億五千四百萬圓デアリマシテ、差引約八億圓ト云フ貯金ガ尙ホ殘テ居ルノデアリマス、此八億圓ニ對スル年六厘ヲ計算致シマスレバ、四千八百萬圓ト云フ金ガ儲カルコトニ

ナルノデアアル(ソレデハ六厘カ「六分デハナイカ」單位ガ違フ其他發言スル者多シ)四百八十萬圓デアリマス、是ハ少シ單位ガ違ヒマシタガ、此四百八十萬圓ト云フ金ヲ、政府ハ利益スルコトニ相成ルノデアリマス、斯ノ如キ零細ノ資金ヲ集メテ、多數ノ國民ニ貯蓄ヲ獎勵シテ居リナガラ、一面ニ於キマシテ此零細ナル貯金者ニ不利益ヲ與ヘ、一億圓以上ノ不利益ヲ與ヘルト云フ事柄ハ殆ど了解ニ苦シムノデアリマス(一億圓デハナイ、單位ガ違フト呼フ者アリ)千三百萬圓ニシテモ宜シイ、併シ斯ノ如キ金ヲ以テ政府ハドウ云フ工合ニ利用セラレルノデアアルカ、聞ク所ニ依リマス、政府ハ預金部ノ金ヲ以テ外國爲替ニ依ッテ外貨ヲ購入シテ、七百六十萬圓ノ損失ヲ被ッテ居ルト云フコトハ公知ノ事實デゴザイマス、此七百六十萬圓ノ損失ハ、昨年ノ特別議會ニ於キマシテ、其補填方法ヲ質問セラレタ時ニ當ッテ、大藏大臣ハ外國ノ公債ヲ買ッテ、之ヲ埋合セヤウト云フコトヲ申シテ居リマスガ、今ヤ在外正貨ハ全クナクナリマシタ今日ニ於テ、此七百六十萬圓ノ補填ガ今尙ホ付カナイデ、現ニ正金銀行外國支店ニ、預金ノ形ニ依ッテ決濟未了ニナッテ居リマスガ、或ハソレ等ノ方面ニ此特別ノ利益ヲ向ケルノデハナイカト云フ疑ヲ以テ見テ居ルノデアリマス、是等ニ付テ遞信大臣ノ明瞭ナル御答辯ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス

更ニ郵便切手、收入印紙手数料ノ一分減ヲ實行セラレルサウデアリマスガ、現在ノ手数料ガ適當デアルトハ吾々ハ認メナイノデアアル、此手数料ヲ各賣捌所ニ當メテ見マス、ドレ程ノ手数料ニナッテ居ルカ、一賣捌所ノ一年間ノ切手、印紙賣捌高ガドノ位デアアルカト云フ、僅カ十圓ノ所モアリ、百圓ノ所モアリ、二三圓ノ所モアリマスクレドモ、其手数料ハ僅カ五分位ノモノデアリマス、然ルニ斯ノ如キ手数料掛ケテ置キナガラ、僅カノ手数料ヲ減ジテ、此收入ノ缺陷ヲ補ハントスルガ如キハ、餘リニ吝臭イデハナイカト思フノデアリマス

次ニ郵便、電信、電話ガ近時著シク遲著ヲ免レナクナリマシタ、我が遞信事業ハ明治時代ヨリ大正時代ニ改惡セラレ、大正時代ヨリ昭和時代ニ一層改惡セラレタルノ感ガアリマス、明治時代ニ於キマシテハ、市ト稱スル處ハ、集配ノ度數ガ一日六回乃至八回ニナッテ居リ、町ニ於キマシテモ四回乃至二回ノ集配度數ニ相成ッテ居タルデアリマス、然ルニ近來ハ市ニ於キマシテモ集配ハ四回ニ減ラサレ、町ニ於キマシテハ二回トナリ、村ニ於キマシテハ二回ノ集配ガ一回ニ減セラレマシタガ爲ニ、近時郵便ノ配達ガ非常ニ遅レルバカリデナク、電信ノ配達モ亦非常ニ遅レルマシテ、急用ノ間ニ合ハヌト云フコトハ現在ノ實情デアリマス、之ニ對シテ政府ハ如何ナル考ヲ持ッテ居ラレルカ、之ヲ改正スルノ意見ガアルカナイカ伺ヒタイノデアリマス

次ニ三等局制度ニ關シテ御同致シタイ、三等局制度、即チ請負制度ト云フモノハ、明治初年驛遞局時代ノ遺物デアリマシテ、今日尙ホ遞信省ニ於キマシテハ之ヲ用ヒテ居ルノデアリマス、故ニ三等局長ノ選任ニ當リマシテ、非常ナ弊害ヲ醸シテ居ルノデアリマス、三等局長ハ地方有力家ヲ銓衡スルコトニ相成ッテ居リマス、其結果一種ノ獵官運動ガ激シクナリマシテ、現ニ民政黨ノ內閣ニナリマシテ、遞信省ニ於テ局長ノ任命ニ行儀シテ居ルモノガアル管デアアル、是ハ即チ色々ナル所ノ勢力扶植ノ具ニ供セラレ、ガ爲ニ、今日ニナリマシテハ或ハ政黨化セントシ、或ハ化シタルノ權ヲ持ッテ居ルモノデアリマス、故ニ此最モ尊重スベキ所ノ通信ノ秘密、或ハ公正ヲ保タネバナラヌ通信ノ取扱上ニ、色々ナル弊害ヲ醸シテ居ルノミナラズ、局長任命ノ爲ニハ實ニ恐ルベキ、實ニ御話出來ナイ程ノ激甚ナル貌

争ガ行ハレテ居リマスガ、此制度ヲ何故ニ今日改メナイノデアルカ、此制度ハ即チ經濟本位ノ制度デアリマシテ、決シテ今日ノ文化ニ適スル制度デハナイト云フコトハ明カデアリマス、之ニ對スル政府ノ所見ハ如何デアリマスカ最後ニ三等局員ノ待遇ニ付テ御尋ヲシタイノデアル、所謂三等局員ノ請負制度ト云フモノニ胚胎致シマシテ、三等局員ハ非常ナル薄遇ニ苦ンテ居ルノデアリマス、先年三等局員ヲ判任待遇ニ用フルコトノ制度ヲ開カレマシテ、幾分カ待遇ハ改善セラレタノデアリマスケレドモ、實際ニ於キマシテハ全ク役場員ヨリモ酷イ待遇ヲ受ケマシテ、而モ日々執ル所ノ事務ハ頗ル多岐多端デアリマシテ、過激デアアルノデアリマス、此待遇方法ガ改善セラレアルメセガ爲ニ、三等局員ノ生活ト云フモノハ非常ニ窮迫ヲ致シテ、其結果色々ナル犯罪行爲、色々ナル違反ト云フモノガ續出致シテ居ルノデアリマス、故ニ此請負制度ノ改善ト同時ニ、若クハ現在ノ儘ニ於キマシテモ、三等局員ノ待遇ヲ成ベク速ニ改善セネバナラヌモノト考ヘルノデアリマスガ、政府ノ所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

(國務大臣小泉又次郎君登壇)

○國務大臣(小泉又次郎君) 郵便法中改正法律案ノ「メー」法ヲ今急ニ實行スルノニハ、多數ノ現業員ガ未ダ慣レナイカラ、時期ガ早クハナイカト云フ、御質問ノ御趣意ト承リマシタガ、逡信者ニ於キマシテハ、既ニ此事ハ眼前ニ横ッテ居リマスカラ、一年以前カラ致シマシテ、各郵便局ニハ其改メマスル度量衡ノ器械ヲ送りマシテ、既ニ一年有餘試練ヲ經テ居リマスカラ、今日之ヲ實行致シマシテモ、多少ノ不便ハアリマセウケレドモ、大體ニ於テ何等ノ支障ガナイト信ジテ居ル次第デアリマス、ソレカラ後ノ細カイ數字ノコトノ御尋ガアツタヤウデアリマスガ、ソレハ私デ分リマセヌカラ、政府委員カラ御説明サセルコトニ致シマ

ス 其次ハ郵便貯金ノ利下ノ問題ニ付テノ御尋デアッタノデアリマス、仰セノ通り昨年ノ十月一日カラ四分六厘ノ利子ヲ四分二厘ニ引下ゲタノデアリマス、其利下ヲ致シマシタル理由ハ、目下ノ經濟狀態ニ顧ミマシテ、一般金融界ノ緩和ヲ圖リ、中小商工業者ノ利便ヲ圖ルヲ目的ト致シマシテ、利下ヲ決行致シタ次第デアリマス、ソレト同時ニ、御承知ノ通り地方ニ還元致シマスル低利資金ハ、隨テ利率ヲ下ゲタダケ、ソレダケ低利ニナルノデアリマスカラ、郵便貯金ノ利子ヲ引下ゲマシテ同時ニ、地方ノ公共團體、自治體、其他一般ノ公共團體等ニ於キマシテモ、非常ナ低利ノ金ガ融通ガ付ク、又今日マデ借りテ居リマス、以前ニ廻リマシテモ、多少ノ低減ヲスル、斯様ナ考ヲ以テ郵便貯金ノ利下ヲ斷行致シタノデアリマス、殊ニ附加ヘテ申上ゲテ置キタイコトハ、御承知ノ通り、郵便貯金ハ國民ガ單ニ利殖ノミヲ以テ貯金ヲスルニ非ズシテ、信用ヲ第一義ト致シテ、國民ガ郵便貯金ヲ致スノデアラウト信ジテ居リマス、但シ如何ナル場合ニ於キマシテモ、一般民衆ニ非常ナ損害ヲ與ヘマス所ノ利下ヲスルト云フコトハ、決シテ本意デハナイト云フコトハ申スマデモナイノデアリマスガ、斯様ナ經濟困難ニ處スル時ニ於キマシテハ、國民ハ上下共ニ多少タリトモ犠牲ヲ拂ッテ、此國難打開ニ努メルコトハ國民ノ義務デアアル、斯様ナコトモ考ヘマシテ、甚ダ貯金者ニ對シテハ氣ノ毒ニハ感ジマス、同情ハ致シマスケレドモ、只今ノ趣意ニ依ッテ之ヲ斷行致シタ次第デアリマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

次ニ郵便貯金ノ利下ヲシタカラ、大變ニ預金者モ減ッテ、金額モ減ッテハナイカト云フヤウナ御尋ノヤウニ聽取リマシタ、今手許ニアリマス統計ニ依リマシタ云フト、昨年ノ十一月末日、人員ニ於テハ御質問ノ通り、九万四千四十一人ノ減少ハ見テ居リマスケレドモ、金額ニ於キマシテハ、却テ九百三十六万六千八百四十八圓ノ増加ヲ來シテ居リマスカラ、利下ヲ致シマシテモ左程ノ心配ハナイト信ジテ居ルノデアリマス

次ニ郵便電信等ノ運行ガ非常ニ惡クナッタ、郵便配達等ノ度數ノコトニ付テモ御尋ガアツタノデアリマスガ、財政ノ都合上整理緊縮ヲ行ヒマス結果、多少ノ變更ハ致シマシタガ、但シ其運行上ニ於キマシテハ、左程減退ヲ致シマセズ、從來ト同ジヤウニ公衆ニ不便ヲ來サナイト云フ覺悟ヲ以テ、今日努メテソレニ從事シテ居リマスカラ、其點モ御諒承願ヒタイノデアリマス

三等郵便局長ノ制度ハ請負制度デアアル、此制度ヲ廢止スルノ意思ガアルカナイカ、同時ニ三等局員ノ待遇ノ改善モスルカドウカ、御尤ノ御質問デアアルノデアリマス、三等郵便局ノ制度ハ色々ノ弊害モ生ズルデアリマセウ、但シ此制度ヲ只今急ニ改善ヲ致シマスストルノデアリマスカラ、當局ニ於日時モ要スルノデアリマス、當局ニ於キマシテモ目下直チニ此制度ヲ改正スルト云フノ意思ヲ持ッテ居リマセヌ、但シ三等局ノ局員ノ待遇ニ付キマシテハ、今日マデ色ト研究ヲ致シテ居リマスノゾ、不日其待遇案ヲ具體化スルヤウナ運ビニ至ルコト、考ヘテ居リマス、是亦左様御諒承願ヒタイノデアリマス

次ニ郵便切手、收入印紙ノ歩合ヲ減ラシタノハドウデアアルカ、其爲ニ事務上ノ差支ヲ生ジヤシナイカト云フ御尋デアリマス、是ハ豫算委員會ニ於テモ、政友會ノ御方カラ御質問ガアツタノデアリマスガ、御質問ノ通り此度切手類、收入印紙ノ歩合ノ割引ハ致シマシタ、但シ此割引ヲ致シマシタ郵便切手其他ノ割合方法ハ、多分明治三十一年ノ私ノ記憶ガ違フカモ知レマセヌガ、間違ヒマシタラ又重ネテ申上ゲマスガ、私ノ記憶致ス所ニ依リマスルト、明治三十一年、四

十二年ニ其歩合ガカリマシテ、依然トシテ今日マデ來テ居ルノデアリマス、又其當時ノコトヲ概計シテ申上ゲマシタ云フト、一ツノ三等郵便局ノ持前ハ五里四方ニテ事務ノ運行ヲ致シタト思ヒマスル、今日ハ殆ド二里四方ニ詰メラレテ居リマス、而シテ又其實上代金モ其當時今日ト比較致シマスルト、何倍ト云フ多額ニ上ッテ居ルノデアリマス、此比較カラ致シマシテ多少ノ歩合ヲ割引致シマスルコトハ、最モ適當デアルト信ジマシタノゾ、是亦國民中ノ一部ニ犠牲ヲ拂ハセル積リデアアル、斯様ナ考ヲ以テ割引ヲ致シタノデアリマス(拍手)

○議長(藤澤幾之輔君) 大石君、マダアリマスカ——大石君

(大石倫治君登壇)

○大石倫治君 私人質問ニ對シテ貯金利子ノ引下ハ已ムヲ得ナイモノデアアル、詰リ中小商工業家ノ利便ヲ圖ランガ爲メデアアルト云フ御答デアリマシタ、是ハ私ノ非常ニ見解ヲ異ニスル點デアリマス、貯金利子ト申シマシテモ、普通貯金ト据置貯金ト二ツニ分レテ居リマスルガ、此普通貯金ト据置貯金ト併セテ利下ヲ致シマシテ、据置貯金ノ拂込ノ前後ヲ問ハズ、一齊ニ一括シテ利下セラレタト云フコトハ、聊カ不合理ノ感ガアルノデアリマス、而シテ貯金ノ利下ヲ致シマシタガ爲ニ、中小商工業家ニドレ程ノ利便利益ガアルカト云フコトハ、殆ド解釋ニ苦シムノデアリマス、何故ナレバ一體此貯金者ハドウ云フ階級ノ人ガ多イカト云フト、職業別ニ見マシテモ、農業者ガ一番多イノデアリマス、即チ三千八百万人ノ中ニ、農業者ノ貯金者ハ三千五百七十七万人、其金額ハ七億三千二百八十三萬圓、更ニ商業家ハ四百二十万人、其金額ハ三億三千二百八十二萬圓、工業家ハ八百八十六萬人、其金額一億二千三百三十七萬圓、其他色々ゴザイマスガ、此金額ノ一人平均ヲ見マスレバ、農業者ノ一人當リハ五十三圓九十九

錢、商業家ノ一人當リハ八十二圓八十八錢、工業家ハ六十六圓二十四錢アリマス、大體日本ノ一人當リノ總計ハ、最高二百三十圓ト致シマシテ、最低ガ二十二圓、平均ハ五十圓ニ相成テ居ルノデアリマス、日本人ガ一人デ五十圓ノ貯金ヲ持ッテ居ルト云フコトハ、餘リ多イ金額デハナイノデアアル、此一人當リノ金額ヲ見マシテモ、零細ノ資金デアリ、多數國民ノ是ハ虎ノ子同様に致シテ居ル所ノモノデアリマシテ、其利子ヲ引下グルト云フコトハ、中小商工業家ノ一部ノ利便ヲ圖ル爲ニ、多數國民ニ損害ヲ與ヘルト云フ結果ニ相成ルト存ズルノデアリマス、又據置貯金ノ如キハ、是ハ其拂込ノ前後ニ依リマシテ、當然此値下ノ中ニ特例ヲ設ケネバナラヌ筈デアリニ拘ラズ、是ハ無理ニ押付ケマシテ、若シ不服ノ者ハ自由拂戻ヲスル、年限ニ拘ラズ拂戻ヲスルト云フヤウナコトデアリマシテ、餘リニモ是ハ横暴ナルヤリ方デアルト私ハ思フノデアリマス、現逓信大臣ハ常ニ民衆ヲ味方トシテ立ッテ居ルト言ハレナガラモ、此ヤリ方ハ全ク民政黨式ノヤリ方デアルト申サネバナラヌノデアリマス、逓信大臣ハ此據置貯金ヲ併セ、殊ニ農業者ノ多イ貯金ノ利子引下ラシタト云フコトハ、只今御話ニナリマシタ中小商工業者ノ利便ヲ圖ルト云フコトニ對シテハ、聊カ矛盾ヲシテ居ルト思ヒマスカラ、再答ヲ御願致シタイノデアリマス

〔國務大臣小泉又次郎君登壇〕
○國務大臣(小泉又次郎君) 御答致シマス、據置貯金ハ御承知ノ通り一定ノ年限ヲ定メテ預ルノデアリマス、其一定ノ年限中ハ、途中ニ於テ勝手ニ之ヲ引出スコトノ出來ナイ制度ニ相成テ居、タノデアリマス、左様ナコトハ、如何ニモ此財界、商業界ノ現狀ニ鑑ミマシテ、適當ナ按配ヲスル必要アリト認メマシタニ依リマシテ、本人ノ希望ニ依レバ何時デモソレヲ引出サセル、斯様ナ條項ヲ新ニ特例トシテ設ケタノデアリマス

マスカラ、壓迫ヲ致シテドウノ斯ウノト云フ理由ハ少シモ無イノデアリマス、ドウゾ左様ニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス(拍手)

只今私ガ中小商工業者ト申シタ中ニ、農漁トナカッタノヲ私洵ニ遺憾ト致シマス、實ハ自分ノ意思ハ其處ニアッタノデアリマスガ、言葉ガツヒ足ラナカッタノデアリマス、但シ農家ニ一番貯金ノ多イト云フコトハ、大石君ノ御話ノアツタ通りデアリマス、其實ハ其通りデアリマス、併ナガラ仰セノ如ク唯一部ノ商工、農、漁者ノ利益ヲ圖ツタノデアリマセス、私此前ニ附加ヘテ申上ゲテ置イタノデアリマスガ、ソレノミデハナク、地方ニ還元ヲ致シマスル所ノ其資金ガ、低利ノ資金ガ融通ガ付クト斯ウナリマスルト云フト、御承知ノ通り各地方ニ於テハ、貯金ノ在リ高ノ比例ニ應ジテ、其他方ニ還元ヲシテ、低利デ貸付ケルト云フコトハ、大石君ノ御承知ノ通りデアリマス、多クノ貯金ノアル地方ニ多クハ、低利資金ガ還元ヲサレルト云フ制度ニナッテ居ルノデアリマスルカラ、個人ト致シテハ、貯金ノ利子ガ多少下リマシテモ、其各ノ團體ヲ成シテ居ル所ノ自治體ガ、經濟上ニ於テモ、教育上ニ於テモ、其他工業ニ於テモ、團體デ事業ヲ始メルニハ、其資金ヲ借リル時ニハ、低利ノ資金ヲ借リルヤウニナリマスカラ、間接ニ其利益ハ受クルト云フ結論ニ相成ルノデアリマスカラ、當ニ一部ノ國民ノミデハナイト云フコトヲ、私ハ此處デ御説明申上ゲテ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○議長(藤澤幾之輔君) 日程第六、右各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス
第六 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○作田高太郎君 各案ヲ一括シテ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

ス
○議長(藤澤幾之輔君) 作田君ノ動議ニ御異議ガアリマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ
○作田高太郎君 殘餘ノ日程ヲ延期シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス
○議長(藤澤幾之輔君) 作田君ノ動議ニ御異議ガアリマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ハ可決セラレマシタ、次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日は是ニテ散會致シマス
午後五時六分散會

